

皇居の蛾類モニタリング調査 (2000–2005)

大和田守¹⁾・有田 豊²⁾・神保宇嗣^{1, 3)}・岸田泰則⁴⁾・中島秀雄⁵⁾・
池田真澄[†]・平野長男⁶⁾

Mamoru Owada¹⁾, Yutaka Arita²⁾, Utsugi Jinbo^{1, 3)}, Yasunori Kishida⁴⁾, Hideo Nakajima⁵⁾,
Masumi Ikeda[†] and Nagao Hirano⁶⁾:

Monitoring Survey (2000–2005) of Moths (Insecta, Lepidoptera) in the
Garden of the Imperial Palace, Tokyo, Central Japan

はじめに

2000年から2005年にかけて皇居の蛾類相を継続的に調査する機会を得たので、ここに報告する。本調査は、1996年から2000年6月に行った皇居の蛾類調査(大和田ほか, 2000)(以下、皇居2000とする)をつなげるかたちで、蛾類相の経年的な変化をとらえようと企画したもので、1996年から2005年の10年間の蛾類相の経時的变化を、ある程度把握することができたと思う。

10年間の皇居での調査のかたわら、同様の調査を1998年9月から2000年10月に港区の自然教育園(大和田ほか, 2001)で、2002年4月から2004年7月に港区の赤坂御用地(大和田ほか, 2005a)(以下、赤坂御用地2004とする)で行ったほか、渋谷区の常盤松御用邸で2002年5月から2004年7月にマレーズトラップと昼間の採集を中心に行っている(大和田ほか, 2005b)。この一連の調査は、東京の都心部に孤立しているが、良好な植生が保持されている3カ所の大型緑地と、それらをつなぐようにしてある比較的小型の緑地の蛾類相を、同時代に同程度の精度で調査したものである。そこでこの機会に、これら緑地に出現した蛾類の総目録を作り、そのなかで今回のモニタリング調査で確認した蛾類の採集データを示し、1996年から行った10年間の東京都区部にある大型緑地の蛾類調査を総括したい。

調査方法と調査地点

灯火採集: 大型の白幕の前に100 Wの水銀灯を3個、15 Wと20 Wブラックライト蛍光灯を2個ずつ点灯し、日没から2時間程度、飛来した蛾を採集した。このライトトラップは赤坂御用地2004で

-
- 1) 国立科学博物館動物研究部 東京都新宿区百人町3-23-1
Department of Zoology, National Science Museum, Hyakunincho 3-23-1, Shinjuku, Tokyo, 169-0073 Japan
E-mail: owada@kahaku.go.jp
 - 2) 名城大学農学部動物学研究室
Faculty of Agriculture, Meijo University, Nagoya
 - 3) 現在の所属: 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系
Present address: Graduate School of Science, Tokyo University
 - 4) 宝仙学園高等学校
Hosen-gakuen High School, Tokyo
 - 5) 鶴見女学園中学・高等学校
Tsurumi-jogakuen High School, Yokohama
 - 6) 長野県波田町
Hada, Nagano

使用したものと同一である。トラップの設置場所は皇居 2000 で調査した上道灌濠（2000-2001 年，2003 年）と吹上御苑果樹園（2002 年）のほか，吹上御苑覆馬場跡（2004 年）と下道灌濠（2005 年）で行った。これに加えて，適宜灯火採集地点の周辺を 4 W の蛍光灯をつけて巡回し，飛び出す蛾を採集している。

糖蜜採集とフユシヤクガ類の調査：冬期，12 月から 3 月にかけて，黒砂糖をビールや酒類に溶かしたものを脱脂綿に浸して日没頃に樹幹につけ，夜間にヤガ科のキリガ類を誘引した。調査は 2 時間ほど吹上御苑で行ったが，2005 年の 12 月は下道灌濠でも行っている。また，調査中はサザンカやツバキ，キブシなどの花に来ている蛾も注意して採集した。同時に，フユシヤクガ類の採集も行ったが，吹上御苑内を広く巡回して蛾類を探索した。

昼間の採集：生物学御研究所の脇にある桑畑とその周囲，下道灌濠，吹上御苑内を巡回しながら飛び出す成虫を採集するとともに，幼虫を探索し，飼育して成虫を羽化させた。とくに，2005 年は潜葉性小蛾類を平野が綿密に探索した。また，大和田はトンボ類の調査に参加した際，昼間飛び出す蛾類を適宜採集しているが，本調査の日程には含めていない。

調査日と調査員

調査は通常，午後 1 時頃より昼間の幼虫と成虫の採集調査を行い，日没頃から（夜）で示した地点で灯火採集を行った。また，昼間の採集を行ったが，降雨などにより灯火採集を行わなかったときは（昼）としてある。

2000 年

8 月 17 日：吹上御苑（昼）；大和田守，神保宇嗣，土畑重人

8 月 31 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，池田真澄

10 月 6 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，池田真澄

2001 年

2 月 21 日：吹上御苑（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣

3 月 2 日：吹上御苑（昼，夜）；有田 豊，大和田守，神保宇嗣，池田真澄

3 月 16 日：吹上御苑（昼，夜）；有田 豊，大和田守，岸田泰則，池田真澄，神保宇嗣

4 月 6 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，池田真澄

5 月 25 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣

6 月 27 日：御生研，道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣

7 月 11 日：上道灌濠（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，齊藤洋一

8 月 15 日：御生研，道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，齊藤洋一

9 月 14 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；有田豊，大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，池田真澄，齊藤洋一

10 月 25 日：道灌濠，吹上御苑，上道灌濠（夜）；有田 豊，池田真澄，齊藤洋一

11 月 16 日：上道灌濠（夜）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，齊藤洋一

12 月 6 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣

12 月 18 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，神保宇嗣，大谷江里

12 月 27 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，岸田泰則，神保宇嗣

2002 年

1 月 8 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，神保宇嗣

1 月 17 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，神保宇嗣

1 月 28 日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ），大和田守，神保宇嗣，樋口満里，山崎芳江

- 2月 7日: 吹上御苑 (夜, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 中島秀雄
- 2月 21日: 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 神保宇嗣, 中島秀雄, 白波瀬亜由実
- 3月 4日: 半蔵濠, 道灌新道 (昼飛性フユシヤクガ), 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ), 大和田守, 中島秀雄
- 3月 14日: 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 神保宇嗣
- 3月 22日: 道灌濠, 吹上御苑 (昼飛性蛾類, 幼虫調査), 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 有田 豊, 大和田守, 中島秀雄, 池田真澄
- 4月 18日: 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄
- 5月 15日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 大和田守, 斉藤洋一
- 6月 6日: 御生研, 吹上御苑 (夜); 岸田泰則, 神保宇嗣, 斉藤洋一
- 7月 11日: 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄
- 8月 7日: 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄
- 9月 10日: 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄
- 10月 10日: 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄
- 11月 12日: 吹上御苑 (夜); 大和田守, 神保宇嗣
- 12月 10日: 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 岸田泰則, 神保宇嗣, 池田真澄, 中島秀雄
- 2003年
- 1月 14日: 吹上御苑 (夜, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 岸田泰則, 新津修平
- 2月 12日: 吹上御苑 (夜, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 神保宇嗣
- 3月 3日: 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 有田豊, 大和田守, 神保宇嗣, 岸田泰則
- 4月 7日: 道灌濠, 吹上御苑, 上道灌濠 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣
- 5月 6日: 上道灌濠 (夜); 岸田泰則, 神保宇嗣
- 6月 17日: 上道灌濠 (夜); 大和田守
- 7月 15日: 道灌濠, 吹上御苑, 上道灌濠 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣
- 8月 12日: 道灌濠, 吹上御苑, 上道灌濠 (夜); 有田 豊, 大和田守, 篠永 哲
- 9月 10日: 道灌濠, 吹上御苑, 上道灌濠 (夜); 有田 豊, 大和田守, 池田真澄
- 10月 14日: 道灌濠, 吹上御苑, 上道灌濠 (夜); 有田 豊, 大和田守
- 11月 18日: 上道灌濠 (夜); 大和田守
- 12月 10日: 吹上御苑 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 岸田泰則, 中島秀雄, 慶野志保子
- 2004年
- 1月 13日: 吹上御苑 (夜, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 慶野志保子
- 1月 27日: 吹上御苑 (夜, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 慶野志保子
- 2月 25日: 下道灌濠 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 大和田守, 慶野志保子
- 3月 17日: 吹上御苑, 覆馬場跡 (夜, 灯火, 糖蜜・フユシヤクガ); 有田 豊, 大和田守, 中島秀雄
- 4月 8日: 吹上御苑 (昼・夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則
- 6月 3日: 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守
- 6月 17日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 岸田泰則, 神保宇嗣, 篠永 哲
- 7月 15日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守, 神保宇嗣
- 8月 26日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守
- 9月 16日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 大和田守
- 10月 14日: 御生研, 道灌濠, 吹上御苑 (夜); 有田 豊, 神保宇嗣

11月10日：吹上御苑（夜）；大和田守

12月10日：吹上御苑（夜，灯火，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守

12月20日：（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守

2005年

1月5日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，岸田泰則，中島秀雄，佐藤真理子

1月18日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守

2月1日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守

2月15日：吹上御苑（夜，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，岸田泰則

3月1日：吹上御苑（夜，灯火，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守

3月17日：吹上御苑（夜，灯火，糖蜜・フユシヤクガ）；有田 豊，大和田守，岸田泰則

4月12日：下道灌濠（夜）；大和田守

4月27日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守

5月25日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，平野長男

6月22日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，神保宇嗣，平野長男

6月28日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（昼）；大和田守，平野長男

7月21日：御生研，吹上御苑，下道灌濠；大和田守，平野長男

8月3日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，神保宇嗣

8月24日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，神保宇嗣，平野長男，齊藤洋一

9月14日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，神保宇嗣，篠永 哲

10月27日：御生研，吹上御苑，下道灌濠（夜）；有田 豊，大和田守，岸田泰則，神保宇嗣，平野長男

11月16日：下道灌濠（夜）；大和田守

11月30日：下道灌濠（夜）；大和田守

12月14日：下道灌濠（夜，灯火，糖蜜），吹上御苑（サザンカの花）；大和田守，渡辺芳美

12月27日：吹上御苑（夜，灯火，糖蜜・フユシヤクガ）；大和田守，三田敏治

皇居モニタリング調査（2000–2005）とこれまでの都区内緑地の蛾類目録

1996年から開始した都区内の緑地，皇居，自然教育園，赤坂御用地および常盤松御用邸で出現した蛾類のすべてをこの目録に搭載した。各科の種についた番号は，全体の種についての通し番号，カッコ内の番号は，今回の皇居のモニタリング調査で出現した種の通し番号となる。これまでの調査は，皇居（調査期間：1996–2000）（大和田ほか，2000）を皇居 2000，自然教育園（調査期間：1998–2000）（大和田ほか，2001）を自然教育園 2000，赤坂御用地（調査期間：2002–2004）（大和田ほか，2005a）を赤坂御用地 2004，常盤松御用邸（調査期間：2002–2004）（大和田ほか，2005b）を常盤松 2004 として示してある。また，これまでの報告にもれた標本を追加記録し，誤同定などの訂正も行い，その報告のリストにない種には*を付け，10年間におよぶ都区内緑地の蛾類調査記録の総まとめとした。

コウモリガ科 Hepialidae

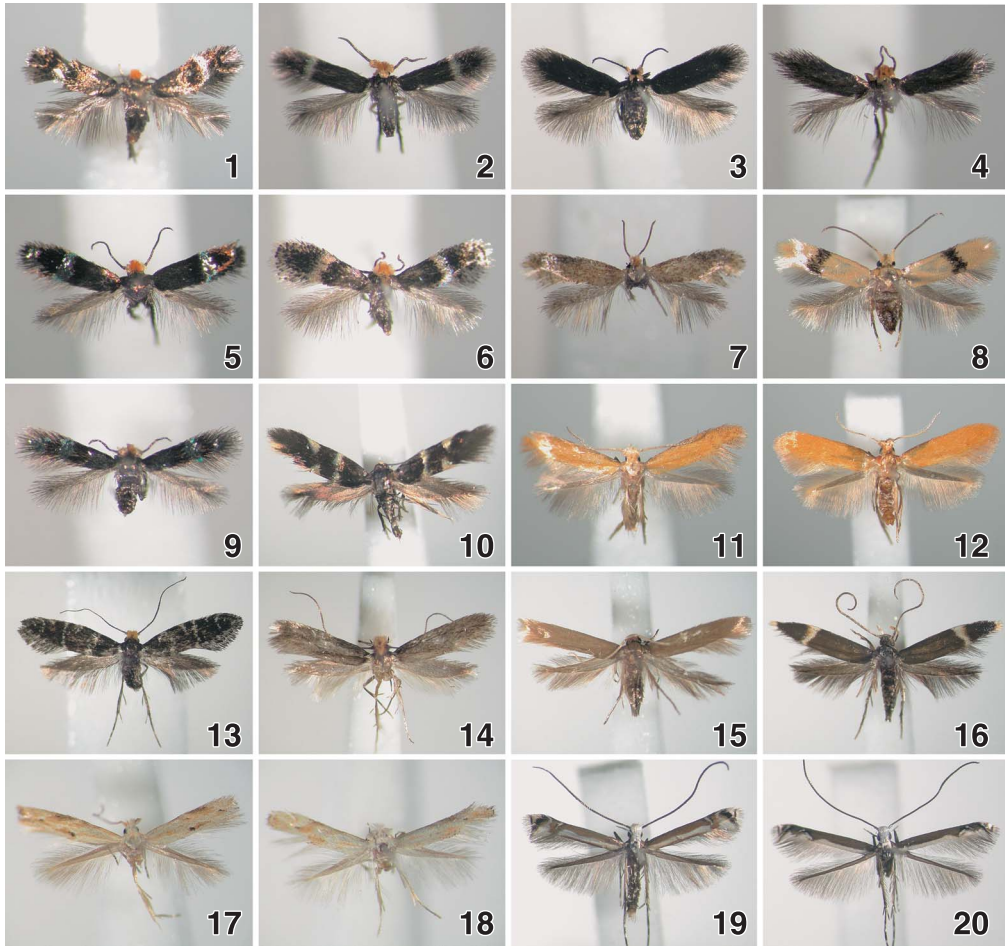
1. コウモリガ *Endoclita excrescens* (Butler)

皇居 2000，自然教育園 2000.

モグリチビガ科 Nepticulidae

1(1). シイモグリチビガ *Stigmella castanopsiella* (Kuroko) (Fig. 1)

- 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 2♀.
- 2(2). チヂミザサモグリチビガ *Stigmella oplismeniella* Kemperman et Wilkinson (Fig. 2)
 皇居 2005; 吹上御苑, em. 2. VIII. 2005, 1♂, ex *Oplismenus undulatifolius* チヂミザサ. 道灌濠, em. 31. VII. 2005, 2♂1♀, ex *Oplismenus undulatifolius* チヂミザサ.
 Kemperman & Wilkinson (1985) により彦山の標本に基づき記載された種で, その他の産地は知られていなかった. 皇居において幼虫は 2005 年 7 月 21 日, 10 月 27 日, 11 月 16 日に採集している.
- 3(3). ズグロモグリチビガ (新称) *Stigmella fumida* Kemperman et Wilkinson (Fig. 3)
 皇居 2005: 吹上御苑, em. 11-17. VI. 2005, 2♀, ex *Quercus acutissima* クヌギ.
 前種と同じく Kemperman et Wilkinson (1985) により対馬の標本で記載された. 皇居において幼虫は 2005 年 5 月 25 日, 10 月 27 日に採集している. 本州各地に産すると思われる.
- 4(4). クリクロモグリチビガ (新称) *Stigmella* sp. 1 (Fig. 4)
 皇居 2005: 吹上御苑, em. 16. VI. 2005, 1♀, ex *Castanea crenata* クリ.
Ruficapitella species-group に属し, 新種と思われる.
- 5(5). キンミズヒキホソモグリチビガ (新称) *Stigmella* sp. 2 (Fig. 5)
 皇居 2005: 吹上御苑, em. 12. VII. 2005, 1♀, ex *Agrimonia pilosa* var. *japonica* キンミズヒキ.
 キンミズヒキの葉に細い線状に潜る. *Stigmella aurella* species-group に属し, ヨーロッパの *S. auromarginella* (Richardson) に斑紋, 雌交尾器は似ているが, 所見標本は 1 個体なので種名の確定は保留する. Mine は吹上御苑で 2005 年 6 月 28 日, 10 月 27 日に多数見られた.
- 6(6). クサイチゴモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 1 (Fig. 6)
 皇居 2005: 吹上御苑, em. 26. VII. 2005, 1♀, ex *Rubus hirsutus* クサイチゴ.
 はじめは線状, のち斑状に潜る. 吹上御苑で 2005 年 10 月 27 日, 11 月 16 日に多数の幼虫を確認, その一部を採集した.
- 7(7). サクラモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 2
 皇居 2005: 上道灌濠, 14. X. 2004, 4 larvae.
 上道灌濠のサクラで多数の mine を確認でき, 幼虫も採集できたが, 羽化に至っていない. 飼育では羽化率の低い種である.
- 8(8). クヌギゴマフモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 3 (Figs. 7, 41)
 皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1 leaf with mine; 27. X. 2005, 3 larvae. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.
 平野は長野県で同種成虫を羽化させている.
- 9(9). *Ectoedemia* sp. 4
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
10. *Ectoedemia* sp. 5
 自然教育園 2000.
 自然教育園 2000 でシイモグリチビガとして記録した個体だが誤同定. 種名は確定しない.
- 11(10). キイロモグリチビガ *Etainia peterseni* Puplesis (Fig. 8)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀.
 皇居 2000 および自然教育園 2000 でモグリチビガ科 Gen. et sp. として記録された種. モグリチビガとしては大きい種で日本各地に産する (平野, 未発表).
- 12(11). ミズヒキモグリチビガ (新称) *Enteucha* sp. (Fig. 9)



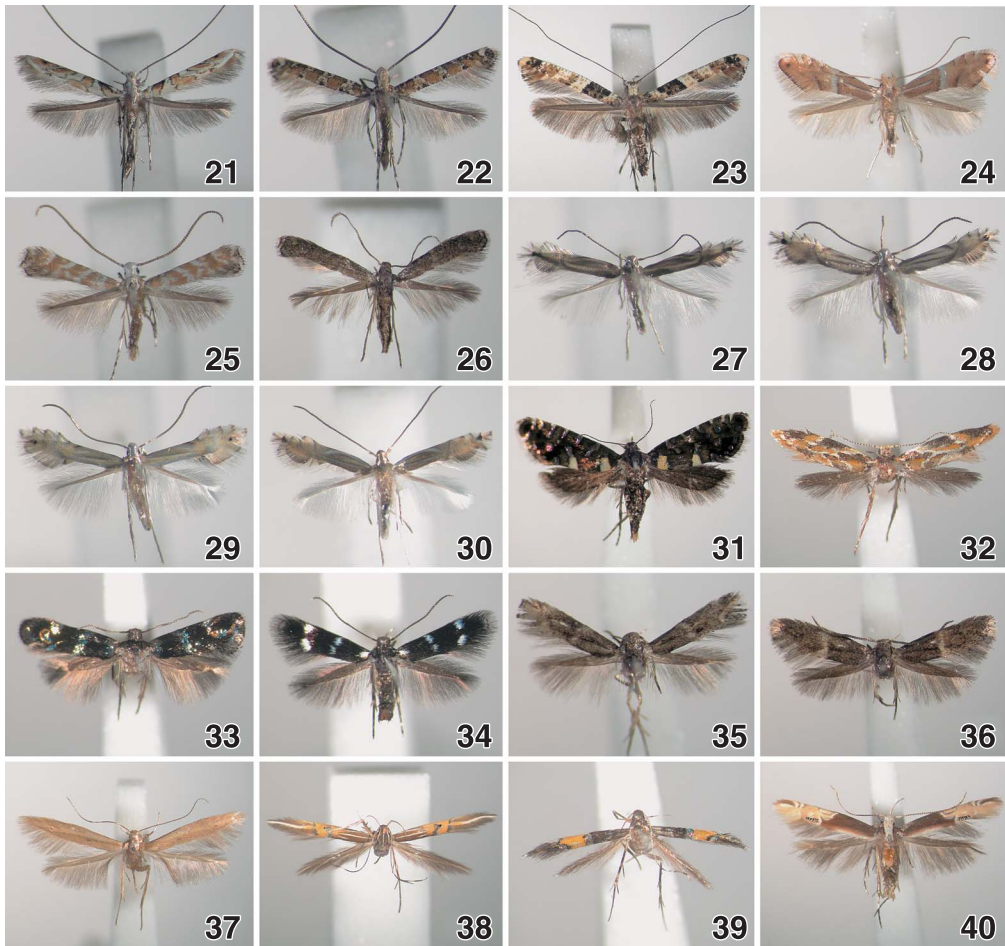
Figs. 1–20. 皇居の蛾. 1, シイモグリチビガ *Stigmella castanopsiella* (皇居, 1999); 2, チデミザサモグリチビガ *Stigmella oplismeniella*; 3, ズグロモグリチビガ (新称) *Stigmella fumida*; 4, クリクロモグリチビガ (新称) *Stigmella* sp. 1; 5, キンミズヒキホソモグリチビガ (新称) *Stigmella* sp. 2; 6, クサイチゴモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 1; 7, クヌギゴマフモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 3; 8, キイロモグリチビガ *Etainia peterseni*; 9, ミズヒキモグリチビガ (新称) *Enteucha* sp.; 10, キンモンツヤコガ *Antispila hikosana*; 11, *Tischeria naraensis* Sato; 12, ニセクヌギキハモグリガ *Tischeria decidua* Wocke; 13, *Eudarcia* sp.; 14, *Monopis* sp.; 15, *Phaeoses* sp. 1; 16, *Phaeoses* sp. 2; 17, アオギリチビガ *Bucculatrix firmianella*; 18, *Bucculatrix* sp. 2; 19, ニガキギンホソガ *Eteoryctis picrasmae*; 20, *Psydrocercops* sp.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 7. VIII. 2005, 1♀, em. 4–10. X. 2005, 1♂1♀, ex *Persicaria filiformis* ミズヒキ; em. 7–9. IX. 2005, 2♂1♀, ex *Persicaria thunbergii* ミゾソバ.

タデ科の葉に潜る本種は, Nieuwerkerken (1986) により九州産の雄交尾器を図示して *Enteucha* sp. として記録されている.

13(12). ムラサキシキブモグリチビガ (新称) *Acalyptis* sp. (Fig. 42)

皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1 larva; 21. VII. 2005, 1 larva; 27. X. 2005, 1 larva.

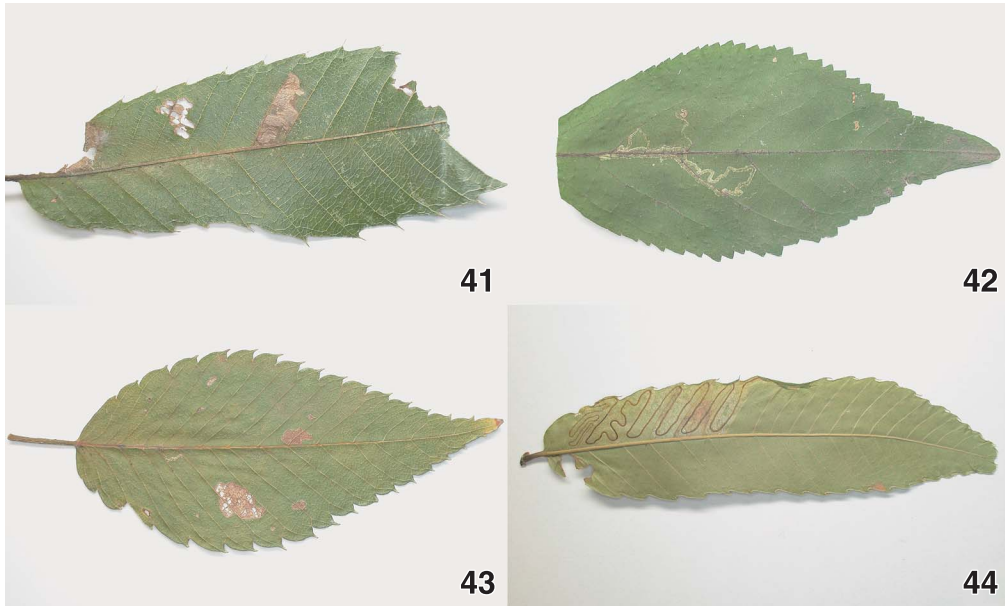


Figs. 21–40. 皇居および都区内緑地の蛾. 21, シイクロテンホソガ (新称) *Acrocercops melanoplecta*; 22, ヤブニッケイホソガ (新称) *Gibbovalva civica*; 23, *Gracillariinae* Gen. et sp.; 24, *Phyllonorycter* sp.; 25, イヌツゲオビギンホソガ *Eumetriochoera miyatai*; 26, ネズミモチクロホソガ (新称) *Metriochoera fraxinella* Kumata; 27, ブドウコハモグリ *Phyllocnistis toparcha*; 28, ヒイラギコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 1; 29, フタリシズカコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 2; 30, ヤブニッケイコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 3; 31, トウキョウホソハマキモドキ *Glyphipterix mikadonis*; 32, *Promalactis* sp.; 33, *Elachista nitensella* (赤坂御用地); 34, チヂミザサクサモグリガ *Elachista kurokoi*; 35, ニッポンクサモグリガ *Elachista nipponicella*; 36, *Elachista cingillella*; 37, キスジホソキバガ *Batrachedra flavilineata*; 38, *Cosmopterix setariella*; 39, *Cosmopterix laetificoides*; 40, オオツマキトガリホソガ *Labdia bicolorella*.

平野は長野県で同種成虫を羽化させている。

ヒゲナガガ科 Adelidae

- 1(1). ウスキヒゲナガ *Nematopogon distincta* Yasuda
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.



Figs. 41-44. 潜葉性小蛾類幼虫の mine. 41, クヌギゴマフモグリチビガ (新称) *Ectoedemia* sp. 3; 42, ムラサキシキブモグリチビガ (新称) *Acalyptis* sp.; 43, ケヤキチビガ (新称) *Bucculatrix* sp. 1; 44, クヌギゴハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 4.

皇居 2005: 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂; 7. IV. 2003, 1♂.

- 2(2). キオビクロヒゲナガ *Nemophora umbripennis* Stringer
皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 8. IV. 2004, 2♂.

- 3(3). ホソオビヒゲナガ *Nemophora aurifera* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂; 18. IV. 2002, 2♂1♀; 24. V. 2002, 1♂; 18. VI. 2003, 1♂ (斉藤); 3. VI. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 2♂. 上道灌濠, 6. V. 2003, 6♂2♀. 下道灌濠, 18. V. 2005, 1♂.

皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 3♂2♀.

ツヤコガ科 Heliozelidae

- 1(1). キンモンツヤコガ *Antispila hikosana* Kuroko (Fig. 10)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂1♀.

赤坂 2004 では食害された葉のみが確認されていた。2005 年に吹上御苑で食餌植物のミズキの前で採集を行ったところ、灯火に複数の個体が飛来した。ほかにツヤコガ科の未同定種が確認されている。

- 2(2). サカキツヤコガ *Antispila cleyerella* Lee

赤坂御用地 2004*.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 22-24. IV. 2003, 5♀, ex *Cleyera japonica* サカキ.

赤坂御用地 2004: em. 5-9. V. 2003, 4♀, em. 27. IV.-1. V. 2004, 2♀, ex *Cleyera japonica* サカキ.
 Lee et al. (2006) によって記載された種で, 幼虫はサカキの葉にもぐる. 皇居吹上御苑で採集した幼虫を飼育し羽化した雌がホロタイプに, 同所および赤坂御用地の飼育個体がパラタイプに指定されている. 春, サカキの葉に潜孔が見られるが個体数は少ない. ほかに愛知県六所山, 三重県伊賀神戸に産する. 170 頭のタイプシリーズはすべて雌で, 本種が単為生殖をしている可能性が示唆されている.

ムモンハモグリガ科 Tischeriidae

1(1). *Tischeria naraensis* Sato (Fig. 11)

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♂; em. 16-22. VII. 2002, 2♂, ex *Quercus acutissima* クヌギ.
 Sato (1984) により奈良から記載された種で, クヌギおよびアベマキにつく. 東京からは初記録と思われる.

2(2). ニセクヌギキハモグリガ *Tischeria decidua* Wocke (Fig. 12)

皇居 2005: 吹上御苑, em. 14. VI. 2005, 1♂, ex *Quercus acutissima* クヌギ.
 前種同様 Sato (1984) が日本から記録した種で, 日本では本土に広く記録があり, 広汎な *Quercus* につく. 東京初記録と思われる. これら 2 種にクヌギキハモグリガ *Tischeria quercifolia* を加えた 3 種は長い間混同されており, 既報の再検討が必要であろう.

3. バラクロハモグリガ *Emmetia angusticollella* (Duponchel)

赤坂御用地 2004.

4. *Coptotriche japoniella* Puplesis et Diskus

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2000 で *Tischeria* sp., 自然教育園 2000 でムモンハモグリガ科 Gen. et sp. として記録されている.

ミノガ科 Psychidae

1. チャミノガ *Eumeta minuscula* Butler

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

2. ニトベミノガ *Mahasena aurea* (Butler)

皇居 2000.

3(1). クロツヤミノガ *Bambalina* sp.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 20. IV. 2001, 1♂, em. 17. V. 2001, 1♂, ミノ.
 このほか, *Eumasia* 属の未同定種を皇居などで採集している.

ヒロズコガ科 Tineidae

オオヒロズコガ亜科 Scardiinae

1(1). ウスマダラオオヒロズコガ *Morphaga fasciculata* Robinson

自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♀; em. 7-28. XI. 2002, 33♂31♀, ex *Trichaptum elongatum* シロカワラタケ.

自然教育園 2000: 6. VII. 2000, 2♀.

コクガ亜科 Nemapogoninae

1. *Nemapogon* sp.

自然教育園 2000.

フサクチヒロズコガ亜科 Myrmecozelinae

- 3(2). マダラマルハヒロズコガ *Gaphara conspersa* (Matsumura)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 2♂; 15. VII. 2004, 5♂. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 2♂; 15. VII. 2003, 2♂2♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♀. 御所, 29. VIII. 2003, 1 larval case (紀宮様).
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 2♀.
- 4(3). ハチノスヒロズコガ *Cephimallota chasanica* (Zagulajev)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 3♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.

ヒメヒロズコガ亜科 Meessiinae

- 5(4). *Eudarcia* sp. (Fig. 13)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004*.
 皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂6♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.
 赤坂御用地 2004: 23. V. 2002, 2♂; 27. V. 2004, 1♀.
 皇居 2000 では現在上記の属のシノニムとされる *Meessia* sp. として, 自然教育園 2000 では *Eudarchia* (誤記) sp. として記録された.

ヒロズコガ亜科 Tineinae

- 6(5). コガタスカシモンヒロズコガ *Crypsithyris saigusai* Gaedike
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 4♂.
- 7(6). クロモンチビヒロズコガ *Crypsithyris crococomma* Meyrick
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂1♀; 15. VII. 2004, 1♂1♀.
- 8(7). イガ *Tinea translucens* Meyrick
 皇居 2000.
 皇居 2005: 皇居, 3. VI. 2004, 1♂ (Y. Arita & M. Okamoto).
9. マエモンクロヒロズコガ *Monopis pavlovskii* (Zagulajev)
 皇居 2000*, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2000: 皇居, 24. V. 1988, 2♀.
- 10(8). アトキヒロズコガ *Monopis flavidorsalis* (Matsumura)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♂; 6. V. 2003, 1♀.
- 11(9). *Monopis* sp. (Fig. 14)
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀.

ツマオレガ亜科 Erechthiinae

- 12(10). クロスジツマオレガ *Erechthias atririvis* (Meyrick)
 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂.

13. ウスモンツマオレガ *Erechthias sphenoschista* (Meyrick)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 14(11). マダラシロツマオレガ *Comodica contributa* (Meyrick)
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.

メンコガ亜科 Hieroxestinae

- 15(12). アトボシメンコガ *Wegneria cerodelta* (Meyrick)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.
- 16(13). モトキメンコガ *Opogona thidelpha* Meyrick
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂; 15. VII. 2004, 1♀; 21. VII. 2005, 2♀. 道灌濠, 21. VII. 2005, 1♀. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 3♂1♀.
17. *Opogona* sp.
赤坂御用地 2004.
18. *Phaeoses* sp. 1 (Fig. 15)
皇居 2000*.
皇居 2000: 上道灌濠, 14. X. 1998, 1♀; 7. X. 1999, 1♀.
- 19(14). *Phaeoses* sp. 2 (Fig. 16)
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 1♂. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 2♀.

チビガ科 Bucculatricidae

- 1(1). アオギリチビガ *Bucculatrix firmianella* Kuroko (Fig. 17)
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.
- 2(2). ケヤキチビガ (新称) *Bucculatrix* sp. 1 (Fig. 43)
皇居 2005: 上道灌濠, 14. X. 2004, 1 cocoon.
- 3(3). *Bucculatrix* sp. 2 (Fig. 18)
皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂.
4. *Bucculatrix* sp. 3
自然教育園 2000*.
自然教育園 2000: 13. IV. 2000, 1♀.
5. *Bucculatrix* sp. 4
自然教育園 2000*.
自然教育園 2000: 1. IX. 2000, 1♀.

ハモグリガ科 Lyonetiidae

Bedelliinae

1. ヒルガオハモグリガ *Bedellia somnulentella* (Zeller)
赤坂御用地 2004.

Lyonetiinae

2. ヒサカキハモグリガ *Lyonetia euryella* Kuroko

赤坂御用地 2004.

3. シャリンバイハモグリガ *Lyonetia anthemopa* Meyrick
常盤松御用邸 2004.
4. モモハモグリガ *Lyonetia clerkella* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

Leucopteriinae

5. ツルウメモドキシロハモグリ *Proleucoptera celastrella* Kuroko
赤坂御用地 2004.

ホソガ科 Gracillariidae

ホソガ亜科 Gracillariinae

- 1(1). ホシボシホソガ *Parornix multimaculata* (Matsumura)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.
- 2(2). チャノハマキホソガ *Caloptilia theivora* (Walsingham)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 5♂1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂; 27. VI. 2001, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♂.
- 3(3). モミジハマキホソガ *Caloptilia acericola* Kumata
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♀; 11. VII. 2002, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂; 17. VI. 2004, 1♀; em. 12. VI. 2002, 1♀, em. 20. VIII. 2002, 1♂1♀, ex *Acer palmatum* イロハモミジ.
4. ホシヌルデハマキホソガ *Caloptilia rhois* Kumata
赤坂御用地 2004.
- 5(4). ツツジハマキホソガ *Caloptilia azaleella* (Brants)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 24. III. 2003, 1♂, ex *Rhododendron* × *pulchrum* 'Speciosum' オオムラサキ. 内堀通り, em. 29. III. 2001, 1♀, ex *Rhododendron* × *pulchrum* 'Speciosum' オオムラサキ.
- 6(5). エノキハマキホソガ *Caloptilia celtidis* Kumata
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂. em. 24. VII.-17. VIII. 2002, 2♀, em. 26-30. X. 2002, 4♀, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ.
自然教育園 2000 で *Caloptilia* sp. して記録されたのは本種.
- 7(6). クスギハマキホソガ *Caloptilia sapporella* (Matsumura)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♂.
- 8(7). クスノハマキホソガ (新称) *Caloptilia camphorae* Kumata
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 2. VIII.-25. IX. 2002, 2♂2♀, ex *Cinnamomum camphora* クスノキ.
- 9(8). タデキボシホソガ *Calybites phasianipennella* (Hübner)
皇居 2005: 吹上御苑, 27. X. 2005, 1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂.

- 10(9). クズマダラホソガ *Liocrobyla lobata* Kuroko
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 4. II.-11. III. 2002, 14♂8♀, ex *Pueraria lobata* クズ.
- 11(10). ヌスビトハギマダラホソガ *Liocrobyla desmodiella* Kuroko
皇居 2005: 吹上御苑, em. 4-8. VIII. 2005, 4♂, ex *Desmodium podocarpum* ヌスビトハギ.
12. カキアシブサホソガ *Cuphodes diospyrosella* (Issiki)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 13(11). マテバシイホソガ *Cryptolectica pasaniae* Kumata et Kuroko
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. X. 2005, 2♀. em. 12. XI. 2001, 2♂, ex *Lithocarpus edulis* マテバシイ.
- 14(12). ニガキギンホソガ *Eteoryctis picrasmae* Kumata et Kuroko (Fig. 19)
皇居 2005: 吹上御苑, em. 10-12. VII. 2005, 5♂1♀, em. 4-7. IX. 2005, 1♂1♀, ex *Picrasma quassioides* ニガキ.
Kumata et al. (1988a) によって北海道および本州(岩手県)で得られた標本をもとに記載された種.
- 15(13). *Psydrocercops* sp. (Fig. 20)
皇居 2005: 吹上御苑, em. 2. VIII. 2005, 1♂, em. 5. IX. 2005, 1♀, ex *Aphananthe aspera* ムクノキ.
P. wisteriae フジホソガに成虫斑紋および雌雄交尾器に差異が見られないが, 所見標本が少ないので種名は保留する.
- 16(14). シイクロテンホソガ(新称) *Acrocercops melanoplecta* Meyrick (Fig. 21)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. X. 2005, 1♂; em. 9. IX. 2005, 1♂, em. 28. IX. 2005, 1♂, ex *Castanopsis sieboldii* スダジイ.
自然教育園 2000 で *Gracillariinae* Gen. et sp. 1 として記録された. 日本(静岡以西)・南西諸島・台湾・ネパール・インドから知られる種(Kumata et al., 1988a). 少ない種ではないが文献上では関東から記録がないと思われる.
- 17(15). シイホソガ *Acrocercops mantica* Meyrick
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. X. 2005, 1♂1♀.
18. クルミホソガ *Acrocercops transecta* Meyrick
皇居 2000.
- 19(16). ヤブニッケイホソガ(新称) *Gibbovalva civica* Meyrick (Fig. 22)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; em. 3-8. IX. 2005, 7♂11♀, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ.
自然教育園 2000 で *Acrocercops* sp. として記録された. インドから記載された種で, 日本では和歌山県以西の記録がある(Kumata et al., 1988b). ヤブニッケイに多く mine が見られたが, 関東からの記録はないと思われる.
- 20(17). イチジクホソガ *Melanocercops ficuvorella* (Yazaki)
皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀.
- 21(18). ツタホソガ *Spulerina parthenocissi* Kumata et Kuroko
赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 御局, em. 18. VIII.-10. IX. 2003, 3♂2♀, ex *Parthenocissus tricuspidata* ツタ.

22(19). Gen. et sp. (Fig. 23)

皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♀.

平野は千葉県で採集された同種の標本を見ているが種名は不明.

キンモンホソガ亜科 Lithocolletinae

23(20). ミツオビツヤホソガ *Neolithocolletis hikomonticola* Kumata

皇居 2005: 吹上御苑, em. 20. II. 2002, 1♀, ex *Pueraria lobata* クズ.

24(21). クヌギキンモンホソガ *Phyllonorycter nipponicella* (Issiki)

皇居 2000*.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♀; em. 25. IV. 2005, 1♀, ex *Quercus acutissima* クヌギ.

皇居 2000: 吹上御苑, em. 15. VI. 2000, 1♂, ex *Quercus acutissima* クヌギ.

25(22). ニセクヌギキンモンホソガ *Phyllonorycter acutissimae* (Kumata)

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♀; 27. IV. 2005, 1♀; em. 17. VII. 2004, 1♀, ex *Castanea crenata* クリ; em. 14. VII. 2002, 1♀, em. 22-23. VII. 2003, 2♂1♀, em. 21. IV. 2005, 1♂, ex *Quercus acutissima* クヌギ.

26(23). カミジョウキンモンホソガ *Phyllonorycter kamijoi* (Kumata)

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂2♀; em. 12. VII.-8. VIII. 2002, 3♀, em. 17-22. VII. 2003, 4♂6♀, ex *Quercus acutissima* クヌギ.

27. ハンノキンモンホソガ *Phyllonorycter hancola* (Kumata)

自然教育園 2000.

28. マダラキンモンホソガ *Phyllonorycter pastorella* (Zeller)

皇居 2000.

29. キンモンホソガ *Phyllonorycter ringoniella* (Matsumura)

常盤松御用邸 2004.

30(24). ミツオビキンモンホソガ *Phyllonorycter tritorrhecta* (Meyrick)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, em. 21. X.-8. XI. 2004, 3♂1♀, ex *Zelkova serrata* ケヤキ. 大道庭園, em. 9. VI. 2005, 1♂, ex *Zelkova serrata* ケヤキ.

31(25). エノキンモンホソガ *Phyllonorycter celtidis* (Kumata)

皇居 2005: 吹上御苑, em. 12. IX. 2002, 1♀, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ.

321(26). *Phyllonorycter* sp. (Fig. 24)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 13-18. IV. 2001, 3♂2♀, ex *Quercus phillyraeoides* ウバメガシ.

皇居 2000: 吹上御苑, em. 7-28. VI. 2000, 3♂1♀, ex *Quercus phillyraeoides* ウバメガシ.

皇居 2000 で *Phyllonorycter* sp. として記録された種. 未記載種と思われる.

オビギンホソガ亜科 Oecophyllembiinae

33. キヅタオビギンホソガ (新称) *Eumetriochroa hederæ* Kumata

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004*.

赤坂御用地 2004: em. 6-9. V. 2003, 3♂, ex *Hedera rhombea* キヅタ.

34(27). イヌツゲオビギンホソガ *Eumetriochroa miyatai* Kumata (Fig. 25)

皇居 2005: 吹上御苑, em. 30. VI.-9. VII. 2005, 4♂1♀, ex *Ilex latifolia* タラヨウ.

Kumata (1998) が記載した種で、北海道から九州に至る本土域から記録がある。皇居では、吹上御苑に点在するタラヨウで *mine* が確認された。

35(28). ネズミモチクロホソガ (新称) *Metriochroa fraxinella* Kumata (Fig. 26)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 21. V. 2003, 1♂2♀, ex *Leigustrum japonicum* ネズミモチ; em. 3. III. 2005, 1♀, ex *Ligustrum lucidum* トウネズミモチ.

Kumata (1998) が本州, 九州および小笠原諸島の標本をもとに記載した種. 本種の *mine* はネズミモチおよびトウネズミモチの葉にしばしば見られた.

コハモグリガ科 Phyllocnistidae

1. ミカンコハモグリ *Phyllocnistis citrella* Stainton

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

2. ヤナギコハモグリ *Phyllocnistis saligna* (Zeller)

赤坂御用地 2004.

3(1). ブドウコハモグリ *Phyllocnistis toparcha* Meyrick (Fig. 27)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 4. XI. 2004, 1♀, ex *Cayratia japonica* ヤブカラシ; em. 23. VII. 2004, 1♀, ex *Vitis ficifolia* エビヅル.

吹上御苑ではヤブカラシに非常に多くの *mine* が見られた.

4(2). ヒイラギコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 1 (Fig. 28)

皇居 2005: 吹上御苑, 27. VII. 2005, 5 exs.

幼虫はヒイラギの葉裏に潜る.

5(3). フタリシズカコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 2 (Fig. 29)

皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, mines, cocoons, 21. VII. 2005, mines, cocoons, em. 25. VIII. 2005, 3 exs.

幼虫はフタリシズカの葉表に潜り, 老熟すると葉裏に移り蛹室を作り蛹化する. ヒトリシズカに潜る種は同属の別種.

6(4). ヤブニッケイコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 3 (Fig. 30)

皇居 2005: 吹上御苑, em. 29. VIII. 2005, 1 ex., 4. IX. 2005, 6 exs., ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ.

幼虫はヤブニッケイの新葉の葉裏に潜る. 葉表に潜るヤブニッケイホソガと混生していた.

7(5). クヌギコハモグリ (新称) *Phyllocnistis* sp. 4 (Fig. 44)

皇居 2005: 吹上御苑, 2 larvae, 14. IX. 2005 ex *Quercus acutissima* クヌギ.

クヌギの葉に特徴的な *mine* を作る.

アトヒゲコガ科 Acrolepiidae

1(1). チビカザリコガ *Digitivalva hemiglypha* Diakonoff et Arita

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♀; 14. IX. 2001, 2♂2♀. 下道灌漑, 14. IX. 2005, 1♀.

2(2). ネギコガ *Acrolepiopsis sapporensis* (Matsumura)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 5♂1♀; 10. X. 2002, 3♂; 17. III. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 6♂

1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 8♂; 7. IV. 2003, 2♂2♀; 6. V. 2003, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♂.

スガ科 Yponomeutidae

クチブサガ亜科 Plutellinae

1(1). コナガ *Plutella xylostella* (Linnaeus)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 7. II. 2002, 1♂; 18. IV. 2002, 2♂2♀; 6. VI. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; 3. VI. 2004, 1♀; 15. VII. 2004, 1♂; 17. III. 2005, 3♂; 27. IV. 2005, 1♂. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂3♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♂1♀.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♂1♀.

2(2). ヒロバコナガ *Leuroperna sera* (Meyrick)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂. 道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂; 25. V. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♂.

3(3). スイカズラクチブサガ *Bhadrocosma lonicerae* Moriuti

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂. em. 28. IV. 7. V. 2001, 4♂1♀, em. 10-11. IV. 2002, 2♂2♀, em. 23. V. 2005, 1♀; ex *Lonicera japonica* スイカズラ.

ニセスガ亜科 Praydinae

4. ムモンニセスガ *Prays kappa* Moriuti

皇居 2000.

5. サンゴジュニセスガ *Prays lambda* Moriuti

自然教育園 2000*.

自然教育園 2000: 11. VI. 1999, 1♀.

スガ亜科 Yponomeutinae

6(4). マルギンバネスガ *Thecobathra anas* (Stringer)

自然教育園 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂; 17. VI. 2004, 1♂.

7(5). ホソバコスガ *Xyrosaris lichneuta* Meyrick

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; em. 24-28. VII. 2003, 8♂4♀, ex *Euonymus sieboldianus* マユミ.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♀.

8. アカマツハモグリシガ *Ocnerostoma friesei* Svensson

赤坂御用地 2004.

メムシガ科 Argyresthiidae

1. ヒノキハモグリガ *Argyresthia chamaecypariae* Moriuti

赤坂御用地 2004.

ホソハマキモドキガ科 Glyphipterigidae

1(1). ナミホソハマキモドキ *Glyphipterix semiflavana* Issiki

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂1♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 1♂.

皇居 2000: 吹上御苑, 25. V. 2000, 1♂1♀.

2. コホソハマキモドキ *Glyphipterix alpha* Moriuti et Saito

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

3(2). カラカネホソハマキモドキ *Glyphipterix gamma* Moriuti et Saito

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♀.

4. シロズホソハマキモドキ *Glyphipterix forsterella* (Fabricius)

自然教育園 2000*.

自然教育園 2000 でナミホソハマキモドキとして記録されたのは本種の誤同定.

5(3). ヘリグロホソハマキモドキ *Glyphipterix nigromarginata* Issiki

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 8. IV. 2004, 4♂. 生物学御研究所, 7. IV. 2003, 7♂5♀.

6(4). アトフタモンホソハマキモドキ *Glyphipterix euleucotoma* Diakonoff et Arita

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♀. 下道灌漑, 24. VIII. 2005, 1♂.

7(5). トウキョウホソハマキモドキ *Glyphipterix mikadonis* Arita et Owada (Fig. 31)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 5♂2♀, 1♂ (paratype), 5♂1♀ (paratype); 24. V. 2002, 15♂7♀, 17♂8♀ (1♂, holotype; 16♂8♀, paratype); 6. VI. 2002, 3♀, 1♂2♀ (paratype); 3. VI. 2004, 2♂, 2♂ (paratype); 25. V. 2005, 3♂.

皇居 2000 および赤坂御用地 2004 で *Glyphipterix* sp. とされた種. 皇居吹上御苑と赤坂御用地で採集された個体をもとに新種記載された (Arita & Owada, 2006). 上記個体のほか, 皇居 2000, 赤坂御用地 2004 で記録された個体もパラタイプに指定されている. 林縁部や草地で昼間飛翔し, 生息地では個体数は少なくないが, 現在のところほかの地域からは知られていない.

8(6). ツマキホソハマキモドキ *Lepidotarphius perornatella* (Walker)

皇居 2000.

皇居 2005: 下道灌漑, 30. V. 2001, 1♂1♀; 14. IX. 2005, 1♀.

マダラガ科 Zygaenidae

ホタルガ亜科 Chalcosiinae

1(1). ホタルガ *Pidorus atratus* Butler

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♂1♀; 17. VI. 2003, 1♂; 10. IX. 2003, 1♂.

クロバガ亜科 Procridinae

2(2). ウメスカシクロバ *Illiberis rotundata* Jordan (Fig. 45)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂. 皇居, 13. VI. 2005, 1♀ (南部).

吹上御苑の果樹園わきの梅林で発生しており, 幼虫も確認しているが少ない.

3(3). タケノホソクロバ *Artona martini* Efetov

常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂.

マダラガ亜科 Zygaeninae

4(4). ミノウスバ *Pryeria sinica* Moore (Fig. 46)

皇居 2005: 道灌新道, 18. IV. 2002, 幼虫多数; 13. XI. 2002, 3♀. 吹上御苑, 27. IV. 2005, 幼虫少数.

かつて東京の市街地でもマサキの垣根に発生していたが、最近では都心部でその姿を見かけることはなくなった。皇居ではマユミに発生しており、2002年に道灌新道の大きい木で幼虫がかなり発生し、成虫を採集することができたが、この木は2003年の下道灌濠の改修で伐採された。しかし、2005年に吹上御苑のマユミでも幼虫が少数であるが発生しているのを確認している。本種は日当たりの良いマユミを好むようで、吹上御苑のなかに多数あるマユミの中で、大滝流れの北側にある草地に接したマユミでしか発生していなかった。このような発生状況が本種の自然な姿であって、マサキの生垣に大発生する住宅地の状況は、人間が作り出した環境に本種の生態がうまく適合したことによるものと思われる。

セミヤドリガ科 Epiptropidae

1. セミヤドリガ *Epipomponia nawai* (Dyar)

赤坂御用地 2004.

イラガ科 Limacodidae

1(1). マダライラガ *Kitanola uncula* (Staudinger)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.

2(2). ヒメクロイラガ *Scopelodes contracta* Walker (Fig. 47)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 16. XI. 2005, larvae on *Diospyros* sp. カキ類 (篠永).

吹上御苑の果樹園にあるカキ類によく幼虫が発生している。

3(3). イラガ *Monema flavescens* Walker

皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀.

東京付近では最近減少しているようである。皇居では2004年に1個体を採集したが、南部(2006)が指摘しているように、植木の持込みによる発生の可能性が高い。

4(4). テングイラガ *Microleon longipalpis* Butler

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 15. V. 2002, 2♂; 11. VII. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♂; 17. VI. 2004, 1♀; 15. VII. 2004, 2♂1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀; 27. VI. 2001, 3♂; 15. VIII. 2001, 1♂1♀; 14. IX. 2001, 1♂.

5. クロシタアオイラガ *Parasa sinica* Moore

赤坂御用地 2004.

スカシバガ科 Sesiidae

1. コシアカスカシバ *Scasiba scribai* (Bartel)

赤坂御用地 2004.

2(1). シタキモモブトスカシバ *Melittia inouei* Arita et Yata

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. VII. 2002, 1♀ (南部). 皇居, 17. VII. 2001, 1♂ (南部).

3(2). オオモボトスカシバ *Melittia sangaica* Moore

赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. VII. 2002, 1♀ (南部); em. 4-17. VI. 2003, 3♂3♀ (cocoon), ex *Trichosanthes kirilowii* var. *japonica* キカラスウリ.

4. モボトスカシバ *Macroscelesia japona* (Hampson)

皇居 2000, 自然教育園 2000.

5(3). コスカシバ *Synanthedon hector* (Butler)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. VII. 2001, 1♂ (斉藤); 20. VII. 2005, 1♂ (斉藤). 下道灌漑, 13. VII. 2005, 1♂. 皇居, 31. VIII. 2000, 2♂.

皇居 2000: 中道灌漑, 20. VII. 1994, 1♂ (御生研職員). 皇居, 5. IX. 1997, 1♂ (斉藤明子).

赤坂御用地 2004: 24. IX. 2003, 1♂.

ハマキモドキガ科 Choreutidae

1. コウゾハマキモドキ *Choreutis hyligenes* (Butler)

自然教育園 2000.

2(1). イヌビワハマキモドキ *Choreutis japonica* (Zeller)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♂1♀; em. 28. VI. 2004, 1♂3♀, ex *Ficus erecta* イヌビワ. 下道灌漑, 4. X. 2005, 1♀.

南方系の種で、赤坂御用地の記録が東京からの最初の記録であったが、皇居は、その前年から採集されており、イヌビワで幼虫も得られた。皇居と赤坂御用地で本種は定着しているものと考えられる。

3(2). ゴボウハマキモドキ *Tebenna micalis* (Mann)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♂. 下道灌漑, 25. V. 2005, 2♂.

4(3). オドリハマキモドキ *Litobrenthia japonica* (Issiki)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 18-22. VIII. 2002, 1♂1♀, ex *Castanea crenata* クリ; em. 16-19. VIII. 2002, 2♂10♀, ex *Quercus acutissima* クヌギ.

ネムスガ科 Galacticidae

1(1). ネムスガ *Homadaula anisocentra* Meyrick

皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♀. 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♀. 下道灌漑, 24. VIII. 2005, 1♂.

マルハキバガ科 Oecophoridae

ヒラタマルハキバガ亜科 Depressariinae

1. *Agonopterix* sp. 1

皇居 2000.

皇居 2000 で *Agonopterix* sp. として記録された。

2. *Agonopterix* sp. 2

自然教育園 2000.

自然教育園 2000 で *Agonopterix* sp. として記録された.

3(1). キマダラヒラタマルハキバガ *Eutorna insidiosa* Meyrick

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♀; 24. V. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂;
3. VI. 2004, 2♀; 17. VI. 2004, 1♀. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♀; 11. VII. 2001, 1♂1♀. 下道灌漑, 14.
IX. 2005, 1♀.

4. *Eutorna* sp.

皇居 2000.

5(2). ネズミエグリヒラタマルハキバガ *Acria ceramitis* Meyrick

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; 17. VI. 2004, 2♂;
26. VIII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌漑, 12. VIII. 2003, 1♂.

6. *Acria* sp.

皇居 2000, 自然教育園 2000.

マルハキバガ亜科 Oecophorinae

7(3). クロモンベニマルハキバガ *Schiffermuelleria imogena* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 2♂.

8(4). ホソオビキマルハキバガ *Cryptolechia malacobyrsa* Meyrick

皇居 2000, 自然教育園 2000.

皇居 2005: 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♀.

9(5). カレハヒメマルハキバガ *Pseudodoxia achlyphanes* (Meyrick)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 11. VII. 2002, 14♂4♀; 15. VII. 2003, 2♂; 21. VII. 2005,
1♀. 上道灌漑, 11. VII. 2001, 2♂1♀.

10(6). ウスオビヒメマルハキバガ *Periacma* sp.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 2♀. 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♀.

11(7). *Periacma* sp.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.

12(8). ツマグロヒメマルハキバガ *Petalostomella* sp.

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 3♂5♀.

皇居 2000 では *Autosticha* sp. として記録されている.

13. フジサワベニマルハキバガ *Promalactis ermolenkoi* Lvovsky

赤坂御用地 2004.

14(9). シロスジベニマルハキバガ *Promalactis enopisema* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂2♀; 17. VI. 2004, 1♀; 25. V. 2005, 1♀. 上道灌漑, 25. V.
2001, 1♂1♀; 27. VI. 2001, 2♀; 15. V. 2002, 1♀; 17. VI. 2003, 1♂. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 2♀.

皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 2♀.

15. ヒメシロスジカバマルハキバガ *Promalactis autoclina* Meyrick
 自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004.
 自然教育園 2000: 16. VII. 1999, 1♀.
- 16(10). シロスジカバマルハキバガ *Promalactis suzukiella* (Matsumura)
 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 14. IX. 2001, 1♀.
17. *Promalactis* sp. (Fig. 32)
 皇居 2000*.
 皇居 2000: 吹上御苑, 11. VIII. 1999, 1♀.
 藤沢 (2002) による日本産本属の総説には未掲載の種類.
- 18(11). カレハチビマルハキバガ *Tyrolimnas anthraconesa* Meyrick
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀.

メスコバネマルハキバガ亜科 Chimabachinae

- 19(12). メスコバネマルハキバガ *Diurnea cupreifer* (Butler)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. III. 2004, 3♂; 17. III. 2005, 2♂.

Oecophoridae incertae sedis

20. ヨツモンホソマルハキバガ *Macrobathra* sp.
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2000 で *Cosmopterigidae* sp. とされた個体のうち次の個体が本種であった。上道灌漑, 31. VIII. 1997, 1♀; 5. VIII. 1996, 1♂2♀.

ホシマルハキバガ亜科 Autostichinae

- 21(13). ミツボシキバガ *Autosticha modicella* (Christoph)
 皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 6. VI. 2002, 1♂1♀; 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 2♀. 下道灌漑, 14. IX. 2005, 1♂.
22. クロボシキバガ *Autosticha pachysticta* (Meyrick)
 皇居 2000.
- 23(14). ヒマラヤスギキバガ *Autosticha kyotensis* (Matsumura)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 31. VIII. 2000, 3♀; 27. VI. 2001, 1♀; 11. VII. 2002, 2♂; 15. VII. 2003, 2♂. 上道灌漑, 11. VII. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; 12. VIII. 2003, 1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 2♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♂.
24. *Autosticha* sp.
 赤坂御用地 2004.

ニセマイコガ科 Stathmopodidae

- 1(1). オビマイコガ *Stathmopoda opticaspis* Meyrick

- 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂⁷; 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 3♂⁷3♀; 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♂⁷.
- 2(2). キイロマイコガ *Stathmopoda auriferella* (Walker)
 皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 2♀.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♀.
- 3(3). カタアカマイコガ *Stathmopoda haematosema* Meyrick
 皇居 2000*, 自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂⁷; 17. VI. 2004, 1♂⁷. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂⁷.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♀.
 自然教育園 2000: 6. VII. 2000, 1♀.
 赤坂御用地 2004: 22. VII. 2004, 1♀.
- 4(4). モトキマイコガ *Stathmopoda moriutiella* Kasy
 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂⁷; 3. VI. 2004, 3♂⁷; 17. VI. 2004, 1♀; 21. VII. 2005, 1♀.
 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.
5. *Stathmopoda* sp. 1
 皇居 2000.
 皇居 2000 で *Stathmopoda* sp. 1 として記録された.
- 6(5). *Stathmopoda* sp. 2
 皇居 2005: 吹上御苑, 22. VI. 2005, 1♀.
7. Gen. et sp.
 赤坂御用地 2004*.
 赤坂御用地 2004: 23. V. 2002, 1♂⁷.
- 8(6). シロテックロマイコガ *Atrijuglans hetaohei* Yang
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 6♂⁷5♀.
- 9(7). *Calicotis* sp. 1
 皇居 2000, 自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004*.
 皇居 2005: 下道灌濠, 25. V. 2005, 5♂⁷.
 自然教育園 2000: 6. VII. 2000, 1♀.
 赤坂御用地 2004: 12. V. 2003, 2♀.
 皇居 2000 で *Stathmopoda* sp. 2 として記録された種は本種に含まれる.
10. *Calicotis* sp. 2
 自然教育園 2000*.
 自然教育園 2000: 28. V. 1999, 1♀.

ヒロバキバガ科 Xyloryctidae

- 1(1). ツガヒロバキバガ *Metathrinca tsugensis* (Kearfott)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀; 15. VII. 2004, 1♀.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♂⁷.

クサモグリガ科 Elachistidae

1. *Elachista nitensella* Sinev et Sruoga (Fig. 33)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

自然教育園 2000: 28. V. 1999, 1♂.

ロシア極東から記載された種で, 最近 Sugisima (2005b) によって日本(北海道, 本, ・九州)から記録された. 自然教育園 2000 および赤坂御用地 2004 で *Elachista* sp. として記録されたのは本種. 参考のため赤坂御用地の個体を図示する.

2(1). チヂミザサクサモグリガ *Elachista kurokoi* Parenti (Fig. 34)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 3♂; 21. VII. 2005, 1♂; em. 16–25. V. 2005, 2♂, ex *Oplismenus undulatifolius* チヂミザサ. 道灌濠, 25. V. 2005, 2♂.

彦山から記載された種だが, その後, 本州から沖縄本島にいたる広い地域から記録された (Sugisima, 2005a). 本種の mine は吹上御苑などでチヂミザサによく見られる.

3. ヒラズササノクサモグリガ *Elachista planicara* Kaila

皇居 2000.

4(2). ニッポンクサモグリガ *Elachista nipponicella* Sugisima (Fig. 35)

皇居 2000*.

皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂ (Paratype)

皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♂ (Holotype).

Sugisima (2006a) が北海道から九州までの本土と対馬の標本をもとに記載した種で, 上道灌濠の個体がホロタイプに, 吹上御苑の個体がパラタイプに指定されている. 幼虫はイネ科のエノコログサなどの葉に潜る.

5. *Elachista cingillella* (Herrich-Schäffer) (Fig. 36)

皇居 2000*.

皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♂.

ヨーロッパから極東ロシアまで広く記録があったが, 最近, 北海道, 本州, 九州から記録された (Sugisima, 2005c).

ホソキバガ科 Batrachedridae

ホソキバガ亜科 Batrachedrinae

1(1). コウスチャホソキバガ *Batrachedra albicapitella* Sinev

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♀.

日本では奥 (2003) により岩手県から記録された種で, その後, 杉島 (2005) は本州各地から記録した. 皇居 2000 で *Batrachedra* sp. として記録された個体のうち次のものが本種である. 道灌濠, 26. VI. 1997, 2♀; 上道灌濠, 5. VIII. 1996, 1♂; 31. VII. 1997, 1♀.

2(2). キスジホソキバガ *Batrachedra flavilineata* Sugisima (Fig. 37)

皇居 2000*.

皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂ (Paratype); 14. IX. 2001, 1♀ (Paratype).

皇居 2000: 上道灌濠, 7. X. 1999, 1♀ (Holotype).

本誌で Sugisima (2006b) によって記載された種で, 上道灌濠の個体がホロタイプに指定されている. 東京から三重県に至る東海地方と九州に分布する.

3(3). ヤシノホソキバガ (改称) *Batrachedra* sp.

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 26. VIII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 2♂.

皇居 2000: 上道灌濠. 2. VII. 1998, 1♀.

これまで *Batrachedra arenosella* ヤシトガリホソガとして本州および南西諸島から記録されている (杉島, 2005) が, 現状では種名は確定していない. 科名にあわせて語尾を改めた (杉島, 私信). 皇居 2000 で *Batrachedra* sp. として記録された個体のうち次のものが本種である. 上道灌濠, 7. X. 1999, 1♀.

4(4). ヤブミョウガスゴモリキバガ *Idioglossa polliacola* Sugisima

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 22. VI. 2005, 1♂.

ツツミノガ科 Coleophoridae

1. アオビユツツミノガ *Coleophora versurella* (Zeller)

赤坂御用地 2004.

2(1). キクツツミノガ *Coleophora kurokoi* Oku

皇居 2000, 自然教育園 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 18-22. IX. 2000, 1♂3♀, ex *Chrysanthemum makinoi* リュウノウギク.

3(2). *Coleophora* sp. 1

皇居 2005: 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂.

4(3). *Coleophora* sp. 2

皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂.

本種と前種は日本からの既知種と交尾器形態が一致しない.

ネマルハキバガ科 Blastobasidae

1(1). ウスイロネマルハキバガ *Neoblastobasis spiniharpella* Kuznetsov et Sinev

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 2♀; 7. VIII. 2002, 4♂; 3. VI. 2004, 5♂; 26. VIII. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♂1♀; 3. VIII. 2005, 1♂.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 2♂.

2(2). *Neoblastobasis brevicornis* Moriuti

皇居 2000*.

皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 3♀; 3. VI. 2004, 2♂1♀; 17. VI. 2004, 1♂1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂1♀; 17. VI. 2003, 2♀.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 2♂2♀.

3. *Neoblastobasis* sp.

赤坂御用地 2004.

カザリバガ科 Cosmopterigidae

マイコモドキ亜科 Antequerinae

1. ベニモンマイコモドキ *Pancalia hexachrysa* (Meyrick)

赤坂御用地 2004.

カザリバガ亜科 *Cosmopteriginae*

- 2(1). ススキキオビカザリバ *Cosmopterix sublaetifica* Kuroko
皇居 2005: 吹上御苑, 24. VIII. 2005, 1 pupal case.
- 3(2). カラムシカザリバ *Cosmopterix zieglerella* (Hübner)
皇居 2005: 吹上御苑, em. 8. VI. 2005, 1♀, ex *Humulus scandens* カナムグラ. 道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀; 21. VII. 2005, 1♀; em. 17-18. VII. 2005, 1♂1♀, ex *Humulus scandens* カナムグラ.
4. ホソカザリバ *Cosmopterix attenuatella* (Walker)
赤坂御用地 2004.
- 5(3). カザリバ *Cosmopterix fulminella* Stringer
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂; 24. V. 2002, 2♂; 10. IX. 2002, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♂.
- 6(4). ヨシカザリバ *Cosmopterix scribaiella* Zeller
皇居 2005: 上道灌濠, 10. IX. 2002, 2♀.
7. ウスイロカザリバ *Cosmopterix victor* Stringer
皇居 200, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 8(5). ヒメカザリバ *Cosmopterix setariella* Sinev (Fig. 38)
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂.
奥 (2003) が *Cosmopterix* sp. 2 とした種で, 標記の種に同定できた (黒子, 私信). ロシアから知られていたが, 最近中国江西省からも記録された. ロシアでは幼虫の食草としてエノログサが知られている (Sinev, 1999; Kuroko & Liu, 2005).
9. オオウスオビカザリバ *Cosmopterix laetificoides* Sinev (Fig. 39)
自然教育園 2000.
極東から知られる種である (Sinev, 1999). 自然教育園 2000 で *Cosmopterix* sp. として記録され, その後, 奥 (2003) が sp. 3 とした種で, 標記の種に同定できた (黒子, 私信).
10. *Cosmopterix* sp.
赤坂御用地 2004.
- 11(6). ベニモントガリホソガ *Labdia semicoccinea* (Stainton)
皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂.
- 12(7). オオツマキトガリホソガ *Labdia bicolorella* (Snellen) (Fig. 40)
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂; 17. VI. 2004, 1♀.
日本では奥 (2003) により岩手県から記録された. 幼虫は枯れた細枝等から得られている.
- 13(8). ギンスジトガリホソガ *Labdia niphosticta* (Meyrick)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂6♀; 10. IX. 2002, 16♀; 15. VII. 2003, 3♂16♀; 16. IX. 2004, 1♀; 21. VII. 2005, 2♂. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂8♀; 12. VIII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 2♀.
- 14(9). フサヒゲトガリホソガ *Labdia antennella* Sinev et Park
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 1♂.
赤坂御用地 2004 で日本から記録された. 皇居 2000 で *Cosmopterigidae* sp. とされた個体のうち次の個体が本種である. 上道灌濠, 5. VIII. 1996, 1♂.

- 15(10). クロギンスジトガリホソガ *Ressia quercidentella* Sinev
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 28. VI. 2005, 2♂. 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♂.
- 16(11). マダラトガリホソガ *Anatrachyntis japonica* Kuroko
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♀.
 本科ではこの他数種の未同定種が採集されている。

ヒゲナガキバガ科 *Lecithoceridae*
 ヒロバヒゲナガキバガ亜科 *Oditinae*

1. フタクロボシキバガ *Scythrioides issikii* (Takahashi)
 赤坂御用地 2004.
- 2(1). ゴマフシロキバガ *Scythrioides leucostola* (Meyrick)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 2♂; 17. VI. 2004, 3♀. 下道灌漑, 26. VIII. 2004, 1♀; 13. VII. 2005, 1♀.
- 3(2). ムモンヒロバキバガ *Scythrioides lividula* (Meyrick)
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VIII. 2005, 1♀.
- 4(3). フタテンヒロバキバガ *Scythrioides malivora* (Meyrick)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀; em. 23. V. 2002, 1♀, ex *Euptelea polyandra* フサザクラ.
- ホンバヒゲナガキバガ亜科 *Lecithocerinae*
- 5(4). ケベリハイヒゲナガキバガ *Homaloxestis myeloxesta* Meyrick
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♂.
- 6(5). カクバネヒゲナガキバガ *Lecitholaxa thiodora* (Meyrick)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂1♀; 3. VI. 2004, 1♀; 22. VI. 2005, 1♂; em. 6. VIII. 2002, 1♂, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♀. 下道灌漑, 4. X. 2005, 1♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 2♂.
- 7(6). *Lecithocera tridentata* Wu et Liu
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♀. 上道灌漑, 15. VII. 2003, 2♂1♀.
 中国江西省から知られる種で (Wu, 1997), 日本新記録. 赤坂 2004 で本種に似る個体が *Lecithocera* sp. 1 として記録されているが異同は保留する.
8. *Lecithocera* sp. 1
 赤坂御用地 2004.
9. *Lecithocera* sp. 2
 赤坂御用地 2004.
10. ムモンクロヒゲナガキバガ *Catacreagra notolychna* (Meyrick)
 赤坂御用地 2004.

Torodorinae

- 11(7). オビカクバネヒゲナガキバガ *Deltoplastis apostatis* (Meyrick)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂; 21. VII. 2005, 1♂.
- 12(8). クロカクバネヒゲナガキバガ *Athymoris martialis* Meyrick
皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 3♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂.
13. *Sarisophora* sp.
皇居 2000.
14. *Lecithoceridae* sp.
皇居 2000.

キバガ科 Gelechiidae
Gelechiinae

- 1(1). イノコズチキバガ *Chrysoesthis heringi* (Kuroko)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 25. IX.-6. X. 2004, 1♀, ex *Achyranthes bidentata* イノコズチ.
本種の所属していた属 *Microseria* は最近 *Chrysoesthis* のシノニムとされており, 本種もそれに伴い標記の学名とされている (Sakamaki & Torikura, 2005). なお, 本リストにおけるキバガ科内の分類および配列は Park (2004) に従った.
2. ニセイグサキバガ *Monochroa subcostipunctella* Sakamaki
赤坂御用地 2004.
- 3(2). ヒメキマダラキバガ *Monochroa cleodoroides* Sakamaki
皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀; 25. V. 2001, 1♀; 27. VI. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♀.
- 4(3). *Monochroa* sp. 1
自然教育園 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 2♀; 27. VI. 2001, 3♂11♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
M. cleodoroides ヒメキマダラキバガに極めて近いが, 前翅上に明瞭な 4 黒点があり, メス交尾器 *signum* の形が異なる (坂巻, 私信).
- 5(4). *Monochroa* sp. 2
自然教育園 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 18♀; 27. VI. 2001, 9♀; 14. IX. 2001, 1♀.
本種は鹿児島からも採集されており, 特徴的な *signum* を持つが, 雄が採集されたことがなく他種との関係は不明である (坂巻, 私信). 皇居 2000 で記録された *Monochroa* sp. とこれら未同定種との異同は保留する.
6. *Gelechiidae* sp. 1
皇居 2000.
皇居 2000 で *Anomologini* sp. 1 として記録された.
7. *Gelechiidae* sp. 2
皇居 2000.
皇居 2000 で *Anomologini* sp. 2 として記録された.

- 8(5). *Bryotropha* sp.
 皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂.
 開帳 7 mm 程度と同属としては極めて小型な種.
9. チェジュキバガ *Stegasta jejuensis* Park et Omelko
 皇居 2000.
10. *Athrips* sp.
 皇居 2000.
- 11(6). ユウヤミキバガ (ハコベキバガ) *Caryocolum pullatella* (Tengström)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 12. XI. 2002, 3♀. 上道灌漑, 25. X. 2001, 7♂8♀; 17. VI. 2003, 1♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♂.
- 12(7). セジロチビキバガ *Evippe syriactis* (Meyrick)
 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♂.
 赤坂御用地 2004: 12. V. 2003, 1♂.
13. イブキチビキバガ *Stenolechia bathrodyas* Meyrick
 自然教育園 2000.
14. ハイイロゴマグラヒメキバガ *Chorivalva bisaccula* Omelko
 赤坂御用地 2004.
15. カクモンハイイロヒメキバガ *Parachronistis jiriensis* Park
 赤坂御用地 2004.
16. *Teleiodes* sp.
 皇居 2000.
- 17(8). ニセキボシクロキバガ *Carpatolechia flavipunctatella* (Park)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 2♂1♀; 26. VIII. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 1♂1♀.
- 18(9). *Carpatolechia* sp.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 2♂.
 おそらく未記載種と思われる. 自然教育園 2000 で *Teleiodes* sp. として記録された種も本属に含まれると考えられるが異同は保留する (坂巻, 私信).
19. *Pseudotelphusa* sp.
 皇居 2000.
20. *Gelechiidae* sp. 3
 自然教育園 2000.
 自然教育園 2000 で Gen. et sp. 1 として記録された.
- 20(10). ナラクロオビキバガ *Nuntia incognitella* (Caradja)
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀.
- 22(11). サクラキバガ *Anacamptis anisogramma* (Meyrick)
 皇居 2005: 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♀.
- 23(12). クロチビキバガ *Approaerema anthyllidella* (Hübner)
 皇居 2005: 上道灌漑, 7. VI. 2003, 1♂.

Dichomeridinae

- 24(13). フタクロモンキバガ *Anarsia bipinnata* (Meyrick)
皇居 2005: 吹上御苑, em. 22. VI. 2001, 1♂, ex *Elaeagnus multiflora* ナツグミ.
- 25(14). ヒメマエモンハイキバガ *Anarsia isogona* Meyrick
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 下道灌漑, 13. VII. 2005, 1♂.
- 26(15). マエモンハイキバガ *Anarsia protensa* Park
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
27. フタモンキバガ *Anarsia bimaculata* Ponomarenko
皇居 2000.
- 28(16). ツチヒロキバガ *Dendrophilia neotaphronoma* Ponomarenko
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 16. I. 2002, 1♀, ex *Pueraria lobata* クズ.
- 29(17). オメルコクロノコメキバガ *Faristenia omelkoi* Ponomarenko
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 2♂.
- 30(18). ハイイロマダラノコメキバガ *Faristenia furtumella* Ponomarenko
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂.
- 31(19). イモキバガ *Helcystogramma triannulella* (Herrich-Schäffer)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂1♀; 18. IV. 2002, 3♂; 7. VIII. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 3♂. 上道灌漑, 6. IV. 2001, 3♂; 25. V. 2001, 2♂; 15. VII. 2003, 1♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 2♂; 22. VI. 2005, 2♂1♀; 13. VII. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 6♂2♀; 14. IX. 2005, 1♂. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♀.
- 32(20). ウスアミメフサキバガ *Dichomeris sparsella* (Christoph)
皇居 2005: 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♂.
日本では奥 (2003) により岩手県から記録された種。岩手県での採集地は石灰岩地帯であるが正確な生息環境は不明。この学名は以前クルミオオフサキバガにあてられていたが誤りである。
- 33(21). カバオオフサキバガ *Dichomeris ustalella* (Fabricius)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂2♀; 26. VIII. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♂.
- 34(22). コフサキバガ *Dichomeris acuminata* (Staudinger)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 31. VIII. 2000, 1♀; 18. IV. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 3♂1♀; 10. IX. 2002, 1♂3♀; 15. VII. 2004, 1♂. 上道灌漑, 27. VI. 2001, 1♀; 14. IX. 2002, 1♂1♀.
- 35(23). カバイロキバガ *Dichomeris heriguronis* (Matsumura)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂; 11. VII. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 3♀; 17. VI. 2004, 2♀.
皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 1♂1♀; em. 20. VI. 2000, 1♂, ex *Cerasus* sp. サクラ.

36. *Dichomeris* sp.
赤坂御用地 2004.
37. *Gelechiidae* sp. 4
自然教育園 2000.
自然教育園 2000 で *Gen. et sp. 2* として記録された.
- 38(24). ウスツマスジキバガ *Cymotricha japonicella* (Zeller)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂.
皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♀.

Pexicopinae

39. クルミシントメキバガ *Thiotricha trapezoidella* (Caradja)
自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004.
自然教育園 2000: 18. X. 2000, 1♂.
- 40(25). ヤマモモキバガ *Thiotricha pancratiastis* Meyrick
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 23. IX. 2002, 2♀, ex *Myrica rubra* ヤマモモ. 上道灌濠, 15. VII. 2003, 5♂5♀.
このほか, 皇居 2000 で日本産の本種にこれまで用いられてきた *Polyhymno* の未同定種が記録されている, その後, 他所でも採集されているが異同を保留し, 目録から除外した.
- 41(26). ツマモンギンチビキバガ *Cnaphostola venustalis* Omelko
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂.

ハマキガ科 Tortricidae

ハマキガ亜科 Tortricinae

- 1(1). ビロードハマキ *Cerace xanthocosma* Diakonoff
皇居 2000, 自然教育園 2000 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 30. V. 2001, 1♂; 10. IX. 2003, 10♂, 2♂2♀ (斉藤); 9. VI. 2004, 1♂1♀ (斉藤); 21. VI. 2005, 1♂ (斉藤); em. 3. V. 2004, 2♂, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; em. 11-14. IV. 2001, 1♂2♀, ex *Camellia sinensis* チャノキ; em. 14. V. 2003, 1♂, em. 28. IV. 2004, 1♀, ex *Castanopsis sieboldii* スダジイ; em. 1-8. X. 2002, 2♂, ex *Cinnamomum camphora* クスノキ; em. 21. V. 2001, 1♂, em. 30. V.-2. VI. 2002, 1♂2♀, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ; em. 3. V. 2001, 1♂, em. 16. V. 2002, 1♂, em. 29. IV.-14. V. 2003, 3♂, ex *Cleyera japonica* サカキ; em. 12. V. 2004, 1♂, ex *Fatsia japonica* ヤツデ; em. 16-21. V. 2002, 2♂, ex *Ilex pedunculosa* ソヨゴ; em. 28. IV. 2001, 1♀, ex *Lingustrum japonicum* ネズミモチ; em. 8. V. 2001, 1♂, ex *Lithocarpus edulis* マテバシイ; em. 21. IV. 2002, 1♀, em. 28. V. 2003, 1♀, ex *Machilus thunbergii* タブノキ; em. 5-16. V. 2004, 2♂, ex *Pieris japonica* アセビ; em. 18-23. V. 2002, 1♂1♀, em. 4. VI. 2003, 1♂, em. 28. IV. 2004, 1♀, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂. 下道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀. 道灌新道, 30. V. 2001, 2♂. 皇居, 8. VI. 2004, 1♂ (久保田・矢野); 17. VI. 2004, 2♂2♀; 13. IX. 2005, 1♂ (斉藤).
1996 年から 2000 年春まではわずかに幼虫 2 個体と成虫 1 個体が確認されたのみだった (皇居 2000). その後, 個体数が増加し, 2003 年と 2004 年には多くの個体が見られたが, 2005 年になり個体数が激減した.

2(2). アトキハマキ *Archips audax* Razowski

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 31. VIII. 2000, 1♂; 3. VI. 2004, 2♂3♀; 25. V. 2005, 1♂; em. 12. IV. 2001, 1♂, em. 11. V. 2002, 1♀, ex *Camellia sinensis* チャノキ; em. 11-17. VIII. 2003, 1♂1♀, ex *Quercus acutissima* クヌギ. 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♂. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♂.

3(3). マツアトキハマキ *Archips oporana* (Linnaeus)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂.

皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 1♂.

4(4). クロシオハマキ *Archips peratratus* Yasuda

皇居 2000, 自然教育園 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 2♂; 12. VIII. 2003, 1♀; 17. III. 2004, 1♂; 8. IV. 2004, 1♂; 17. VI. 2004, 2♂; 3. VIII. 2005, 1♂; em. 14. IV. 2004, 1♂, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; em. 8. V. 2001, 1♂, ex *Eurya japonica* ヒサカキ; em. 17. IV. 2004, 1♀, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ. 上道灌漑, 6. X. 2000, 3♂; 6. IV. 2001, 1♂; 25. V. 2001, 3♂; 17. VI. 2003, 1♂; 15. VII. 2003, 2♂; 12. VIII. 2003, 1♂. 下道灌漑, 14. IX. 2005, 1♂.

皇居 2000: 上道灌漑, 25. V. 2000, 2♂; 15. VI. 2000, 2♂.

5(5). クロカクモンハマキ *Archips endoi* Yasuda

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♀.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♀.

皇居 2000 でムラサキカクモンハマキとして記録されたのは本種の誤同定. 赤坂 2004 でも論じたが, 本種が都区内の緑地で見られることは非常に興味深く, 都市部における生息状況を詳しく調べる必要がある.

6(6). ミダレカクモンハマキ *Archips fuscocupreanus* Walsingham

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 4♂1♀; 24. V. 2002, 1♂1♀; 6. VI. 2002, 2♂2♀; 3. VI. 2004, 1♂1♀; 17. VI. 2004, 2♀; em. 19. IV. 2002, 1♂, 蛹; em. 13. V. 2002, 1♂, ex *Acer palmatum* イロハモミジ; em. 30. IV. 2002, 1♂, ex *Akebia quinata* アケビ; em. 15. V. 2002, 1♀, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; em. 7-12. V. 2002, 1♂1♀, ex *Castanopsis sieboldii* スダジイ; em. 9-10. V. 2005, 5♂, ex *Diospyros kaki* カキノキ; em. 13-26. V. 2002, 2♂5♀, ex *Elaeagnus multiflora* ナツグミ; em. 27. IV. 2002, 2♂, ex *Enonymus sieboldianus* マユミ; em. 5. V. 2002, 1♂, ex *Ilex serrata* ウメモドキ; em. 6-9. V. 2002, 4♂, ex *Ligustrum obtusifolium* イボタノキ; em. 7-10. V. 2001, 1♂1♀, em. 8. V. 2001, 1♂, ex *Lonicera japonica* スイカズラ; em. 15. V. 2002, 1♂, ex *Machilus thunbergii* タブノキ; em. 29. IV.-10. V. 2001, 2♂5♀, ex *Prunus salicina* スモモ; em. 12-13. V. 2005, 1♂1♀, ex *Rosa multiflora* ノイバラ; em. 27. IV. 2002, 2♂, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ; em. 3-6. V. 2002, 3♂4♀, ex *Viburnum plicatum* var. *tomentosum* ヤブデマリ; em. 20. V. 2002, 1♀, ex *Zanthoxylum piperitum* サンショウ. 生物学御研究所, em. 3-8. V. 2002, 4♂2♀, ex *Morus alba* マグワ. 大道庭園, em. 2-3. V. 2002, 3♀, ex *Wisteria floribunda* フジ. 外濠通り, em. 7-11. V. 2002, 2♂2♀, ex *Rhododendron × pulchrum* 'Speciosum' オオムラサキ.

皇居 2000: 上御苑, em. 29. V.-1. VI. 2000, 3♂1♀, ex *Castanopsis sieboldii* スダジイ; em. 27. V.-7. VI. 2000, 2♂11♀, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ; em. 28. V.-4. VI. 2000, 4♂2♀, ex *Zanthoxylum piperitum* サンショウ. 上道灌漑, 15. VI. 2000, 3♂4♀. 皇居, em. 10. V. 2000, 1♀,

ex *Prunus domestica* セイヨウスモモ (プラム).

東京都区内の緑地でもっとも優占するハマキガで、4月に多種の植物で多くの幼虫が見られ、公園等で多発する傾向がある。本種のおもな生息地は明るい林である。

7(7). シリグロハマキ *Archips nigricaudanus* (Walsingham)

皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 8. V. 2002, 1♂, ex *Machilus thunbergii* タブノキ; em. 12-13. V. 2005, 1♂1♀, ex *Rosa multiflora* ノイバラ. 上道灌漑, 25. V. 2001, 3♂4♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 12♂5♀.

皇居 2000: 上道灌漑, 25. V. 2000, 4♂.

8(8). アトボシハマキ *Choristoneura longicellanus* (Walsingham)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂.

9(9). チャハマキ *Homona magnanima* Diakonoff

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♀; 18. IV. 2002, 2♂; 15. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 1♂; 21. VII. 2005, 2♀; em. 17. IV. 2004, 1♂, ex *Camellia japonica* ヤブツバキ; em. 26. III.-13. IV. 2001, 4♂4♀, ex *Camellia sinensis* チャノキ; em. 19. VIII. 2002, 1♂, ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ; em. 29. VIII. 2005, 1♂, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ; em. 11. IV. 2002, 1♂, ex *Myrica rubra* ヤマモモ; em. 31. VII. 2003, 1♂, ex *Pieris japonica* アセビ; em. 1-6. IV. 2002, 1♂2♀, ex *Stauntonia hexaphylla* ムベ; em. 27. VIII. 2003, 1♂, ex *Zelkova serrata* ケヤキ. 上道灌漑, 12. VIII. 2003, 2♂. 内濠通り, em. 29-31. III. 2001, 2♂, ex *Rhododendron* × *pulchrum* 'Speciosum' オオムラサキ.

皇居 2000: 吹上御苑, em. 17. IV. 2000, 1♀, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ.

10(10). オオギンスジハマキ *Ptycholoma lecheana* (Linnaeus)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑. 18. IV. 2002, 4♂; 15. V. 2002, 2♂3♀; em. 19. IV. 2002, 1♂, ex *Viburnum plicatum* var. *tomentosum* ヤブデマリ. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♀; 6. V. 2003, 12♂3♀.

11(11). チャノコカクモンハマキ *Adoxophyes honmai* Yasuda

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, em. 17. III.-2. IV. 2001, 19♂20♀, ex *Camellia sinensis* チャノキ.

東京駅から皇居へ至る行幸通りでは *Hedera canariensis* カナリーキヅタに本種が発生していた。

12(12). ツヅリモンハマキ *Homonopsis foederatana* (Kennel)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂3♀; em. 1-5. IV. 2002, 2♀, ex *Aucuba japonica* アオキ; em. 3. IV. 2002, 1♀, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ. 上道灌漑, 6. V. 2003, 1♂.

13(13). コホソスジハマキ *Neocalyptis angustilineata* (Walsingham)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀.

下道灌漑, 25. V. 2005, 2♂; 24. VIII. 2005, 1♀.

14(14). トビモンコハマキ *Neocalyptis congruentana* (Kennel)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 2♂1♀; 11. VII. 2002, 1♂2♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 15. VII. 2004,

- 1♀; 26. VIII. 2004, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀; 6. X. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♂1♀; 11. VII. 2001, 4♂1♀; 14. IX. 2001, 2♂; 6. V. 2003, 1♂; 15. VII. 2003, 4♂1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 5♂; 13. VII. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 1♂.
皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♂.
15. ホシノハマキ *Gnorismoneura hoshinoi* (Kawabe)
皇居 2000.
- 16(15). ホソバハイイロハマキ *Cnephasia stephensiana* (Doubleday)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 3♂7♀; 6. VI. 2002, 1♀; 17. III. 2005, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂1♀; 6. V. 2003, 1♂1♀.
皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♀.
- 17(16). ミスジマルバハマキ *Paratorna cuprescens* Falkovitsh
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂; 24. V. 2002, 1♂1♀.
- 18(17). ブライヤハマキ *Acleris affinatana* (Snellen)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀; 7. IV. 2003, 1♂; 17. III. 2004, 3♂1♀; 8. IV. 2004, 1♂; em. 11-12. VIII. 2002, 3♂, ex *Quercus acutissima* クヌギ.
- 19(18). ナカジロハマキ *Acleris japonica* (Walsingham)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 13. VII. 2005, 1♂.
- 20(19). セウスイロハマキ *Acleris enitescens* (Meyrick)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 6. VI. 2002, 1♀; 15. VII. 2003, 1♀; 22. VI. 2005, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀; 6. V. 2003, 1♀. 下道灌濠, 27. X. 2005, 2♂.
- 21(20). ウスアミメキハマキ *Tortrix sinapina* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
皇居 2000 でアミメキイロハマキ (現アミメキハマキ) として記録されたのは本種の誤同定.
- 22(21). コホソハマキ *Gynnidomorpha vectisana* (Humphreys et Westwood)
皇居 2005: 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀.
- 23(221). ヨモギオオホソハマキ *Phtheochroides clandestina* Razowski
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 6. VI. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 15. VIII. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♂; 10. IX. 2003, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂.
- 24(23). ブドウホソハマキ *Eupoecilia ambiguella* (Hübner)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀.
- 25(24). アカオビホソハマキ *Eupoecilia kobeana* Razowski
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 2♀.

ヒメハマキガ亜科 *Olethreutinae*

- 26(25). ヘリオビヒメハマキ *Cryptaspasma marginifasciatus* (Walsingham)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. X. 2000, 4♂2♀; 10. X. 2002, 3♀; 16. IX. 2004, 2♀; 14. X. 2004, 3♂2♀;
 27. X. 2005, 1♂. 下道灌漑, 4. X. 2005, 1♀; 27. X. 2005, 1♀.
- 27(26). クロサンカクモンヒメハマキ *Cryptaspasma trigonana* (Walsingham)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 9♂; 18. IV. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 3♀; 17. III. 2005, 2♂;
 27. IV. 2005, 1♂. 上道灌漑, 6. IV. 2001, 11♂1♀; 27. VI. 2001, 1♀; 7. IV. 2003, 5♂2♀; 6. V. 2003,
 1♂; 17. VI. 2003, 1♂2♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 13. III. 2000, 1♂. 上道灌漑, 15. IV. 2000, 5♂.
- 28(27). ハラプトヒメハマキ *Cryptaspasma angulicostana* (Walsingham)
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 8♂1♀; 14. X. 2004, 3♂1♀. 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♀; 12.
 VIII. 2003, 1♂.
 日本では南西部に分布する暖地性の種で, 関東地方では神奈川から記録があるほか(中島・山
 本, 2004), 神保は千葉県で採集された個体を見ている.
29. イグサヒメハマキ *Bactra furfurana* (Haworth)
 自然教育園 2000.
- 30(28). シロテントガリバヒメハマキ *Bactra venosana* (Zeller)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♀; 22. VI. 2005, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII.
 2000, 1♂.
 皇居 2000 でイグサヒメハマキとして記録された次の個体が本種の誤同定であった。吹上御苑,
 31. VII. 1997, 1♂; 3. VIII. 1998, 1♂. 関東南部以西に分布する暖地性の種である.
- 31(29). フタモントガリバヒメハマキ *Bactra hostilis* Diakonoff
 皇居 2000.
 皇居 2005: 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♂.
 皇居 2000 でイグサヒメハマキとして記録された次の個体が本種の誤同定であった。吹上御苑,
 10. VI. 1997, 1♀; 15. VII. 1999, 1♀; 7. X. 1999, 1♀. 前種と同じく関東南部以西に分布する。なお
 イグサヒメハマキは皇居では採集されていない.
32. サッポロヒメハマキ *Ukamenia sapporensis* (Matsumura)
 赤坂御用地 2004.
- 33(30). クロマダラシムシガ *Endothenia nigricostana* (Haworth)
 皇居 2005: 下道灌漑, 25. V. 2005, 3♂.
34. ツマジロクロヒメハマキ *Endothenia gentianaeana* (Hübner)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2000 でクロテンツマキヒメハマキとして記録されたのは本種の誤同定.
- 35(31). コクロヒメハマキ *Endothenia remigera* Falkovitsh
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♂.
- 36(32). ハソオビヒメハマキ *Sorolopha sphaerocopa* (Meyrick)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

- 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♀; 18. IV. 2002, 2♂; 6. VI. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 2♂1♀; 12. XI. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 2♂; 26. VIII. 2004, 4♂; 10. XI. 2004, 1♂1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 3♂1♀; 6. IV. 2001, 3♂1♀; 11. VII. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 6♂1♀; 25. X. 2001, 1♂; 7. IV. 2003, 2♂; 17. VI. 2003, 1♂2♀; 15. VII. 2003, 6♂. 下道灌濠, 26. VIII. 2004, 1♀; 22. VI. 2005, 1♂; 27. X. 2005, 1♀. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♂1♀.
- 皇居 2000: 吹上御苑, em. 8. VI. 2000, 1♂, ex *Cinnamomum japonicum* ヤブニッケイ. 上道灌濠, 15. VI. 2000, 2♂2♀.
- 37(33). ヤマモモヒメハマキ *Eudemis gyrotis* (Meyrick)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♀; em. 18-28. IX. 2002, 4♂8♀, ex *Myrica rubra* ヤマモモ. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀.
- 38(34). サクラマルモンヒメハマキ *Eudemis porphyrana* (Hübner)
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂.
- 39(35). オオシロアシヒメハマキ *Phaecasiophora fernaldana* Walsingham
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 3♂; 10. IX. 2003, 3♂.
- 40(36). シロテンシロアシヒメハマキ *Phaecasiophora obratzsovi* Diakonoff
皇居 2005: 吹上御苑, 24. VIII. 2005, 1♂.
- 41(37). コブシヒメハマキ (マユミヒメハマキ) *Neostatherotis nipponica* Oku
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; 17. VI. 2004, 1♂.
- 42(38). キモンヒメハマキ *Statherotmantis pictana* (Kuznetsov)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂1♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 15. VII. 2003, 1♂2♀; 26. VIII. 2004, 1♀. 道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀.
43. オカトラノオヒメハマキ (キマダラムラサキヒメハマキ) *Aterpia flavipunctana* (Christoph)
自然教育園 2000.
44. イッシキヒメハマキ *Aterpia issikii* Kawabe
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
- 45(39). スネプトヒメハマキ *Phaecadophora fimbriata* Walsingham
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 4♀; 14. IX. 2001, 2♀; 12. VIII. 2003, 1♂.
皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 3♂.
- 46(40). コシロアシヒメハマキ *Hystrichoscelus spathanum* Walsingham
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 3. VI. 2004, 1♀.
皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♂.
- 47(41). カタシロムラサキヒメハマキ *Hedya iophaea* (Meyrick)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂; 16. XI. 2005, 1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂.
- 48(42). グミオオウスツマヒメハマキ *Hedya auricristana* (Walsingham)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

- 皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; em. 27. VI. 2001, 1♀, em. 30. V. 2002, 2♂, ex *Elaeagnus multiflora* ナツグミ. 上道灌漑, 6. IV. 2001, 2♂.
皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 2♀.
- 49(43). シロモンヒメハマキ *Hedya dimidiana* (Clerck)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 4. IV. 2002, 1♀, ex cultivated cherry tree サクラ類. 上道灌漑, 6. V. 2003, 1♀.
- 50(44). ナカオピナミスジキヒメハマキ *Pseudohedya gradana* (Christoph)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂; 3. VI. 2004, 5♂1♀; 17. VI. 2004, 2♂1♀; 15. VII. 2004, 1♂.
皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 1♂.
- 51(45). マノヒメハマキ *Olethreutes manoi* (Kawabe)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 2♂. 上道灌漑, 25. X. 2001, 1♀.
- 52(46). コクリオビクロヒメハマキ *Olethreutes orthocosma* (Meyrick)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 6. VI. 2002, 8♂; 7. VIII. 2002, 5♂2♀; 10. IX. 2002, 1♂1♀; 3. VI. 2004, 7♂3♀; 17. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀; 24. VIII. 2005, 1♂. 上道灌漑, 25. V. 2001, 2♂1♀; 14. IX. 2001, 1♂4♀; 15. VII. 2003, 1♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 2♂; 22. VI. 2005, 5♂2♀; 13. VII. 2005, 1♂1♀; 3. VIII. 2005, 3♂; 14. IX. 2005, 1♀; 4. X. 2005, 1♂.
皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 5♂.
53. コクワヒメハマキ *Olethreutes morivora* (Matsumura)
自然教育園 2000.
- 54(47). クリイロヒメハマキ *Olethreutes castaneanum* (Walsingham)
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♀.
- 55(48). ウスクリモンヒメハマキ *Olethreutes dolosana* (Kennel)
皇居 2000.
皇居 2005: 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀.
皇居 2000 でキスジオビヒメハマキとして記録されたのは本種の誤同定.
56. マダラチビヒメハマキ *Olethreutes exilis* (Falkovitsh)
皇居 2000.
57. クリオビクロヒメハマキ *Rudisociaria velutinum* (Walsingham)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
58. *Celypha* sp.
皇居 2000.
- 59(49). ホソバチビヒメハマキ *Lobesia aeolopa* Meyrick
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 11. VII. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 5♂; 10. X. 2002, 2♂; 15. VII. 2003, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 2♀; 10. XI. 2004, 1♀; em. 13. XI. 2002, 2♂, ex *Eupatorium chinense* ヒヨドリバナ (花). 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂; 6. X. 2000, 2♂2♀; 27. VI. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 2♂; 25. X. 2001, 2♂; 12. VIII. 2003, 3♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 2♂1♀. 生物学御研究所, em. 18. IX. 2000,

- 1♂, ex *Pollia japonica* ヤブミョウガ (種子). 大道庭園, 14. X. 2003, 1♂.
 皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♀. 大道庭園, em. 31. III. 2000, 1♀, ex *Myrica rubra* ヤマモモ.
 自然教育園 2000 で *Lobesia* sp. として記録されたのは本種.
- 60(50). ミエヒメハマキ *Lobesia mieae* Kawabe
 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂1♀.
- 61(51). スイカズラホソバヒメハマキ *Lobesia coccophaga* Falkovitsh
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1♂; em. 27. VII.-3. VIII. 2003, 6♂2♀, ex *Ligustrum obtusifolium* イボタノキ. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.
62. ニセコシワヒメハマキ *Neoanathamna nipponica* (Kawabe)
 皇居 2000.
63. セモンカギバヒメハマキ *Ancylis mandarinana* Walsingham
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 64(52). ナツメカギバヒメハマキ *Ancylis sativa* Liu
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♂; em. 27. VII. 2003, 1♂, em. 1-3. X. 2003, 1♂2♀, ex *Ziziphus jujuba* ナツメ.
65. イチゴカギバヒメハマキ *Ancylis comptana* (Frölich)
 自然教育園 2000.
 自然教育園 2000 で *Ancylis* sp. として記録された種である. 日本では奥ほか (1997) で北海道および本州 (東北, 近畿) から記録された種で, 岩手県では水田畦畔や農道周辺に普通だったが近年減少したという. 東京都からは記録がないが, 多摩川河川敷などで見られる (神保, 未発表).
66. ヒノキカワモグリガ *Coenobiodes granitalis* (Butler)
 皇居 2000*.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♀.
67. コギンボシキヒメハマキ *Enarmonia decor* Kawabe
 自然教育園 2000.
 自然教育園 2000: 28. V. 1999, 1♂2♀.
 自然教育園 2000 では *Enarmonia* sp. として記録された.
68. ギンボシキヒメハマキ *Enarmonia major* (Walsingham)
 皇居 2000*.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♂1♀.
69. キカギヒメハマキ *Rhopalovalva pulchra* (Butler)
 自然教育園 2000.
70. *Acroclita* sp.
 皇居 2000.
- 71(53). モッククヒメハマキ *Eucoenogenes ancyrata* (Meyrick)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♀; 12. VIII. 2003, 2♂2♀.
 皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♂.
- 72(54). イスノキヒメハマキ *Spilonota distyliana* Moriuti
 皇居 2000.

- 皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; em. 21-26. III. 2001, 3♂, ex *Distylium racemosum* イスノキ.
- 73(55). クロゲハイイロヒメハマキ *Spilonota melanocopa* (Meyrick)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♂. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 2♀; 7. IV. 2003, 1♂.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 2♀.
- 74(56). ヒロオビヒメハマキ *Epinotia bicolor* (Walsingham)
 皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀.
- 75(57). ニレコヒメハマキ *Epinotia ulmicola* Kuznetsov
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 2♂3♀; 25. V. 2005, 4♂7♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 4♂.
 皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 6♂7♀.
76. クロマダラシロヒメハマキ *Epinotia exquisitana* (Christoph)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 2♀.
77. マツヒメハマキ *Epinotia rubiginosana* (Herrich-Schäffer)
 赤坂御用地 2004.
- 78(58). ニセミドリヒメハマキ *Zeiraphera fulvomixtana* Kawabe
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 17. VI. 2004, 6♂3♀. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♂.
 皇居 2000: 吹上御苑, 7. IV. 2000, 9♂9♀. 上道灌濠, 15. VI. 2000, 2♂19♀.
 自然教育園 2000 で *Zeiraphera* sp. として記録された種である. 皇居 2000 のヒロバクロヒメハマキ, 赤坂 2004 のハシドイヒメハマキはそれぞれ本種の誤同定であった. クロカクモンハマキ *A. endoi* と同様, 山地に分布する種であり (奥, 2003), 都区内の低地で見られることは興味深い.
79. ネグロヒメハマキ *Gyponoma dealbana* (Frölich)
 自然教育園 2000.
80. マツトビマダラシムシガ *Gravitarmata margarotana* (Heinemann)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 81(59). ニセマツアカヒメハマキ *Rhyacionia pinivorana* (Lienig et Zeller)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 2♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 3♂; 12. VIII. 2003, 1♀; 10. IX. 2003, 1♂.
- 82(60). マツツマアカシムシ *Rhyacionia duplana* (Hübner)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 1♀.
- 83(61). マツズアカシムシ *Retinia cristata* (Walsingham)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂3♀; 10. IX. 2003, 1♂.
84. ウスシロモンヒメハマキ *Notocelia autolitha* (Meyrick)
 皇居 2000.
- 85(62). バラシロヒメハマキ *Notocelia rosaecolana* (Doubleday)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 5♂.

- 86(63). ヨモギネムシガ *Epiblema foenella* (Linnaeus)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂.
- 87(64). スギヒメハマキ *Epiblema sugii* Kawabe
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
- 88(65). クロネハイイロヒメハマキ *Rhopobota naevana* (Hübner)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 10. XI. 2004, 1♂; em. 28–31. VII. 2003, 1♂2♀, ex *Ligustrum obtusifolium* イボタノキ. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 25. V. 2001, 2♂1♀; 27. VI. 2001, 2♂1♀; 25. X. 2001, 2♀. 生物学御研究所, em. 12–22. IX. 2000, 1♂2♀, ex *Buxus microphylla* var. *japonica* ツゲ.
 皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♂1♀.
- 89(66). マダラカマヒメハマキ *Rhopobota falcata* Nasu
 皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 2♂2♀. 下道灌濠, 27. X. 2005, 1♀.
- 90(67). ソヨゴチビヒメハマキ *Rhopobota okui* Nasu
 皇居 2000.
 皇居 2005: 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂; 27. VI. 2001, 1♂.
- 91(68). マキヒメハマキ *Makivora hagiya* Oku
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.
92. *Heleanna* sp.
 皇居 2000.
- 93(69). アカマツメムシガ *Metacosma* sp.
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.
94. シロテンボカシヒメハマキ *Thaumatotibia hemitoma* (Diakonoff)
 赤坂御用地 2004.
- 95(70). アシプトヒメハマキ *Cryptophlebia ombrodelta* (Lower)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂.
- 96(71). ダイズサヤムシガ (ニセマメサヤヒメハマキ) *Matsumuraeses falcana* (Walsingham)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 21. II. 2001, 1♀; 10. X. 2002, 5♀; 12. XI. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 1♀; 3. VI. 2004, 1♀; 10. XI. 2004, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂2♀; em. 10. I. 2002, 2♂, ex *Pueraria lobata* クズ. 上道灌濠, 6. X. 2000, 5♀; 25. X. 2001, 1♂2♀; 18. IX. 2003, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀; 4. X. 2005, 1♀. 大道庭園, 14. X. 2003, 4♀.
 赤坂御用地 2004: 17. X. 2002, 1♀.
- 97(72). ヨツズジヒメシンクイ *Grapholita delineana* (Walker)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2001, 1♂; 27. VI. 2001, 1♂2♀; 24. V. 2002, 1♂; 11. VII. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 1♂1♀; 17. VI. 2004, 1♀; 15. VII. 2004, 1♂; 26. VIII. 2004, 2♂; 27. IV. 2005, 2♂; 28. VI. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 2♂; 11. VII. 2001, 1♂; 14. IX. 2001,

- 2♀; 6. V. 2003, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂. 下道灌漑, 26. VIII. 2004, 1♂; 25. V. 2005, 1♀; 22. VI. 2005, 3♂; 13. VII. 2005, 1♂1♀; 24. VIII. 2005, 4♂2♀; 14. IX. 2005, 5♂3♀; 4. X. 2005, 1♂.
98. スモヒメシンクイガ *Grapholita dimorpha* Komai
皇居 2000.
99. ナシヒメシンクイ *Grapholita molesta* (Busck)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 100(73). ネモロウサヒメハマキ *Pammene nemorosa* Kuznetsov
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 2♀.
101. *Parapammene petulantana* (Kennel)
赤坂御用地 2004.
- 102(74). マメシンクイガ *Leguminivora glycinivorella* (Matsumura)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂5♀. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂; 6. X. 2000, 3♂1♀; 14. IX. 2001, 2♂2♀; 12. VIII. 2003, 1♀; 10. IX. 2003, 3♂.
自然教育園 2000 でクララシンクイガとされたのは本種の誤同定であった.
103. クリミガ *Cydia kurokoi* (Amsel)
赤坂御用地 2004.
104. ヨツメヒメハマキ *Cydia danilevskyi* (Kuznetsov)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 105(75). サンカクモンヒメハマキ *Cydia glandicolana* (Danilevsky)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 3♀; 10. IX. 2003, 1♀. 下道灌漑, 14. IX. 2005, 1♀.
- 106(76). シロツメモンヒメハマキ *Cydia amurensis* (Danilevsky)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 2♀; 6. X. 2000, 3♂4♀; 14. IX. 2001, 3♂2♀; 10. IX. 2003, 12♂9♀.
このほか, *Grapholitini* シンクイヒメハマキガ族を中心に未同定種が数種確認されている。自然教育園 2000 で数種が記録されており, 本調査も含め他所からも記録されているが, 今後の研究が必要であり本目録から除外した。

マダラハマキガ亜科 Chlidanotinae

- 107(77). オオナミモンマダラハマキ *Charitographa mikadonis* (Stringer)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 2♂4♀.
- 108(78). スジケマダラハマキ *Lopharcha psathyra* Diakonoff
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂; 18. IV. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♂2♀. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂; 14. IX. 2001, 1♂; 6. V. 2003, 2♂5♀; 17. VI. 2003, 1♀; 12. VIII. 2003, 2♂1♀; 10. IX. 2003, 2♂1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀.
109. *Lopharcha* sp.
自然教育園 2000.

ニジュウシトリバガ科 Alucitidae

1(1). ニジュウシトリバ *Alucita spilodesma* (Meyrick)

自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♀.

2. アヤニジュウシトリバ *Alucita flavofascia* (Inoue)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

シンクイガ科 Carposinidae

1(1). シロモンクロシンクイ *Commatarcha palaeosema* Meyrick

自然教育園 2000.

皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.

自然教育園 2000 で *Commatarcha* sp. として記録されたのは本種である.

マドガ科 Thyrididae

アカジママドガ亜科 Striglininae

1. アカジママドガ *Striglina cancellata* (Christoph)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004*.

赤坂御用地 2004: em. 7. VIII. 2003, 1♂, ex *Wisteria floribunda* フジ.

マダラマドガ亜科 Siculodinae

2(1). マダラマドガ *Rhodoneura vittula* Guenée

常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♀.

3. ヒメマダラマドガ *Rhodoneura hyphaema* (West)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

自然教育園 2000 でマダラマドガとされたのは本種の誤同定.

ツトガ科 Crambidae

オオメイガ亜科 Schoenobiinae

1. ヒトスジオオメイガ *Scirpophaga lineata* (Butler)

皇居 2000.

2. クロフキオオメイガ *Schoenobius sasakii* Inoue

皇居 2000.

皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 1♂.

ヤマメイガ亜科 Scopariinae

3(1). スジボソヤマメイガ *Eudonia microdentalis* (Hampson)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 自然教育園 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 3♂3♀.

皇居 2000: 上道灌濠, 25. V. 2000, 2♂.

4(2). マルモンヤマメイガ *Eudonia puellaris* Sasaki

皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 3♀.

ツトガ亜科 Crambinae

- 5(3). シロエグリツトガ *Glaucocharis exsectella* (Christoph)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 3♀; 15. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 2♂; 3. VI. 2004, 1♂; 15. VII. 2004, 1♀; 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♀.
 下道灌漑, 25. V. 2005, 1♂; 22. VI. 2005, 6♀; 3. VIII. 2005, 2♀; 14. IX. 2005, 1♀.
 皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 2♀.
 赤坂御用地 2004: 25. VII. 2002, 1♀; 19. VIII. 2003, 1♂2♀.
- 6(4). ハイイロエグリツトガ *Glaucocharis moriokensis* (Okano)
 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 下道灌漑, 25. V. 2005, 3♂1♀.
- 7(5). モンチビツトガ *Microchilo inexpectellus* Bleszynski
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 15. VII. 2004, 2♀; 26. VIII. 2004, 1♀; 16. IX. 2004, 1♂1♀. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂; 14. IX. 2001, 1♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♂1♀. 下道灌漑, 26. VIII. 2004, 1♂; 22. VI. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 2♀.
 皇居 2000: 上道灌漑, 15. VI. 2000, 1♀.
 赤坂御用地 2004: 25. VII. 2002, 1♂1♀; 22. VII. 2003, 3♂; 19. VIII. 2003, 1♂1♀.
- 8(7). ヨシツトガ *Chilo luteellus* (Motschulsky)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 下道灌漑, 22. VI. 2005, 3♂; 28. VI. 2005, 1♀.
9. ニカメイガ *Chilo suppressalis* (Walker)
 自然教育園 2000.
10. ニカメイガモドキ *Chilo niponella* (Thunberg)
 皇居 2000.
- 11(7). ウスチャツトガ *Pseudocatharylla duplicellus* (Hampson)
 皇居 2000, , 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂; 25. V. 2001, 1♀; 15. VIII. 2001, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 3♂2♀; 12. VIII. 2003, 1♂8♀. 下道灌漑, 24. VIII. 2005, 10♂5♀; 14. IX. 2005, 2♂.
 赤坂御用地 2004: 19. VIII. 2003, 2♂.
- 12(8). シロツトガ *Calamotropha paludella* (Hübner)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 上道灌漑, 17. VI. 2003, 1♂. 下道灌漑, 24. VIII. 2005, 2♂.
- 13(9). イツトガ *Calamotropha shichito* (Marumo)
 皇居 2005: 吹上御苑, 22. VI. 2005, 1♂.
- 14(10). ヒメキシジツトガ *Calamotropha brevistrigellus* (Caradja)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 2♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀.
15. テンスジツトガ *Chrysoteuchia distinctellus* (Leech)
 皇居 2000.
- 16(11). シロスジツトガ *Crambus argyrophorus* Butler

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 6♂1♀; 6. VI. 2002, 2♂3♀; 11. VII. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 2♂; 10. X. 2002, 2♂; 12. VIII. 2003, 1♀; 10. IX. 2003, 1♀; 14. X. 2003, 1♂; 3. VI. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 4♂; 14. IX. 2005, 1♂.

17(12). シバツトガ *Parapediasia teterellus* (Zincken)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 6. VI. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 5♂; 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 3♂1♀; 6. X. 2000, 2♂; 25. V. 2001, 2♂; 11. VII. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 2♂; 15. VII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂; 3. VIII. 2005, 1♂2♀; 14. IX. 2005, 2♂.

皇居 2000: 吹上御苑, 15. VI. 2000, 1♂.

赤坂御用地 2004: 25. VII. 2002, 1♂; 22. VII. 2003, 2♂.

18(13). ツトガ *Ancylolomia japonica* Zeller

自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀.

モンメイガ亜科 Cybalomiinae

19. フタオビノメイガ *Trichophysetis cretacea* (Butler)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

ノメイガ亜科 Pyraustinae

20. ハイマダラノメイガ *Hellula undalis* (Fabricius)

自然教育園 2000.

21(14). コガタシロモンノメイガ *Piletocera sodalis* (Leech)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀; 22. VI. 2005, 1♀; 13. VII. 2005, 1♂.

22. ハナダカノメイガ *Camptomastix hisbonalis* (Walker)

赤坂御用地 2004.

23. エグリノメイガ *Diploseustis perieresalis* (Walker)

皇居 2000.

24. シロスジエグリノメイガ *Sufetula sunidesalis* Walker

自然教育園 2000.

25(15). ミツテンノメイガ *Mabra charonialis* (Walker)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂.

26(16). シロオビノメイガ *Spoladea recurvalis* (Fabricius)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 7. VIII. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 1♂1♀; 10. X. 2002, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂2♀; 6. X. 2000, 1♀; 15. VIII. 2001, 1♂3♀; 14. IX. 2001, 1♂4♀; 10. IX. 2003, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♂; 27. X. 2005, 1♂. 大道庭園, 14. X. 2003, 2♀.

27(17). アヤナミノメイガ *Eurrhparodes accessalis* (Walker)

- 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♂.
 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂1♀.
28. マタスジノメイガ *Pagyda quinquelineata* Hering
 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 29(18). ヨスジノメイガ *Pagyda quadrilineata* Butler
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 2♀; 11. VII. 2002, 1♂. em. 5. VIII. 2003, 1♂, ex *Cayratia japonica* ヤブカラシ.
30. キンスジノメイガ *Daulia afralis* Walker
 自然教育園 2000.
- 31(19). コブノメイガ *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 10. IX. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♂; 27. X. 2005, 1♂.
 上道灌濠, 6. X. 2000, 2♂; 15. VIII. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀; 25. X. 2001, 2♂; 12. VIII. 2003, 1♂1♀; 10. IX. 2003, 1♂2♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♂; 14. IX. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♂; 27. X. 2005, 1♂.
- 32(20). ハネナガコブノメイガ *Cnaphalocrocis pilosa* (Warren)
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 2♀.
- 33(21). モモノゴマダラノメイガ *Conogethes punctiferalis* (Guenée)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 10. IX. 2003, 1♂.
- 34(22). シロテンキノメイガ *Nacoleia commixta* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂2♀; 15. V. 2002, 1♂; 11. VII. 2002, 4♂; 16. IX. 2004, 1♂1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 15. VIII. 2001, 1♂3♀.
- 35(23). サツマキノメイガ *Nacoleia satsumalis* South
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀; 21. VII. 2005, 1♀.
- 36(24). ヤマトシロアシクロノメイガ *Omiodes nipponalis* Yamanaka
 皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂.
 最近, Yamanaka (2005) により記載された種.
- 37(25). ヒメクロミスジノメイガ *Omiodes misera* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 3♀; 24. VIII. 2005, 2♂1♀; 14. IX. 2005, 1♀.
- 38(26). マエウスキノメイガ *Omiodes indicata* (Fabricius)
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂. 下道灌濠, 4. X. 2005, 1♀.
- 39(27). オオキノメイガ *Botyodes principalis* Leech
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂1♀; 12. XI. 2002, 1♀; 14. X. 2004, 1♂; em. 24. X. 2002,

- 1♂, ex *Mallotus japonicus* アカメガシワ. 上道灌漑, 25. X. 2001, 2♂; 17. VI. 2003, 1♀; 15. VII. 2003, 2♂; 18. XI. 2003, 1♂1♀. 下道灌漑, 25. II. 2004, 1♀; 14. IX. 2005, 1♀; 27. X. 2005, 1♂1♀; 16. XI. 2005, 1♂.
- 40(28). タイワンウスキノメイガ *Botyodes diniasalis* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂1♀. 上道灌漑, 16. X. 2000, 2♀. 下道灌漑, 16. XI. 2005, 1♂.
41. ウスイロキンノメイガ *Pleuroptya punctimarginalis* (Hampson)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 42(29). ウコンノメイガ *Pleuroptya ruralis* (Scopoli)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀. 上道灌漑, 14. IX. 2001, 2♂1♀; 25. X. 2001, 1♂. 下道灌漑, 14. IX. 2005, 2♀; 4. X. 2005, 4♂5♀.
- 43(30). コヨツメノメイガ *Pleuroptya inferior* (Hampson)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂. 下道灌漑, 7. VI. 2005, 1♂.
44. ワタヌキノメイガ *Haritalodes basipunctalis* (Bremer)
常盤松御用邸 2004.
- 45(31). タイワンモンキノメイガ *Syllepte taiwanalis* Shibuya
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 6. VI. 2002, 2♀. 上道灌漑, 15. VIII. 2001, 1♂.
- 46(32). ツチイロノメイガ *Syllepte invalidalis* South
皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂. 御局, em. 16. IX. 2003, 1♀, ex *Parthenocissus tricuspidata* ツタ.
- 47(32). マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis* (Bremer)
皇居 2000, 自然教育園 2000, , 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 4. III. 2002, 1♂1♀; 14. III. 2002, 3♂1♀; 15. V. 2002, 1♂1♀; 6. VI. 2002, 2♂; 11. VII. 2002, 1♂; 12. XI. 2002, 2♀; 27. I. 2004, 1♂; 17. III. 2004, 2♂3♀; 8. IV. 2004, 1♂; 3. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂; 10. XI. 2004, 1♂; em. 1. XI. 2002, 1♀, em. 3. XI. 2002, 1♀, ex *Ligustrum lucidum* トウネズミモチ. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♀; 6. IV. 2001, 2♀; 25. V. 2001, 1♀; 27. VI. 2001, 1♀; 7. IV. 2003, 2♂; 17. VI. 2003, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂; 18. XI. 2003, 1♂. 中-下道灌漑, 26. V. 2004, 1♀. 下道灌漑, 25. II. 2004, 1♂; 7. VI. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♀; 27. X. 2005, 1♂; 16. XI. 2005, 2♂.
- 48(34). ヒメシロノメイガ *Palpita inusitata* (Butler)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 26. VII. 2003, 1♀, ex *Ligustrum obtusifolium* イボタノキ.
- 49(35). ワタヘリクロノメイガ *Diaphania indica* (Saunders)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂; 15. VIII. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 3♂; 25. X. 2001, 1♂.
- 50(36). ツゲノメイガ *Glyphodes perspectalis* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂; 14. X. 2004, 1♀. 上道灌漑, 25. X. 2001, 1♂.
51. スカシノメイガ *Glyphodes pryeri* Butler

- 赤坂御用地 2004.
- 52(37). チビスカシノメイガ *Glyphodes duplicalis* Inoue, Munroe et Mutuura
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂.
- 53(38). クワノメイガ *Glyphodes pyloalis* Walker
赤坂御用地 2004*.
皇居 2005: 生物学御研究所, em. 16. VIII. 2002, 1♂, ex *Morus alba* マグワ.
赤坂御用地 2004: em. 1-5. IX. 2002, 1♂2♀, ex *Morus alba* マグワ.
- 54(39). シロマダラノメイガ *Glyphodes* sp.
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂.
- 55(40). キササゲノメイガ *Sinomphisa plagialis* (Wileman)
皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♀; 17. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.
- 56(41). セスジノメイガ *Sinibotys evenoralis* (Walker)
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂; em. 19-23. V. 2001, 4♂3♀, ex *Shibataea kumasaca* オカメザサ. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 3♀.
57. カギバノメイガ *Circobotys nycterina* Butler
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 58(42). マメノメイガ *Maruca vitrata* (Fabricius)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂; 14. X. 2004, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 6. X. 2000, 3♀; 14. IX. 2001, 2♀; 25. X. 2001, 3♀; 15. VII. 2003, 1♂; 10. IX. 2003, 1♀. 下道灌濠, 4. X. 2005, 1♀. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♂1♀.
- 59(43). ワモンノメイガ *Nomophila noctuella* (Denis et Schiffermüller)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♀.
- 60(44). シロテンウスグロノメイガ *Bradina atopalis* (Walker)
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂1♀.
- 61(45). モンウスグロノメイガ *Bradina geminalis* Caradja
皇居 2005: 下道灌濠, 22. VI. 2005, 2♂; 3. VIII. 2005, 1♂.
- 62(46). アカウスグロノメイガ *Bradina angustalis* Yamanaka
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀. 下道灌濠, 17. VII. 2002, 1♂; 22. VI. 2005, 1♀; 21. VII. 2005, 1♀.
- 63(47). ヒメアカウスグロノメイガ *Bradina trigonalis* Yamanaka
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂; 13. VII. 2005, 1♂.
64. クロオビクロノメイガ *Herpetogramma licarsisalis* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 65(48). マエキノメイガ *Herpetogramma rudis* (Warren)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 6. VI. 2002, 1♀; 11. VII. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 2♂6♀; 10. X. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♂; 17. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 2♂2♀; 25. X. 2001,

- 2♂; 17. VI. 2003, 1♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀; 13. VII. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 5♂3♀; 14. IX. 2005, 1♂3♀; 4. X. 2005, 2♀.
66. ウスオビクロノメイガ *Herpetogramma fuscescens* (Warren)
皇居 2000.
- 67(49). モンキクロノメイガ *Herpetogramma luctuosalis* (Guenée)
皇居 2000, , 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♀; 11. VII. 2002, 1♂1♀; 10. IX. 2002, 2♀; 17. VI. 2004, 1♀.
上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂2♀; 27. VI. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 17. VI. 2003, 2♀. 下道灌濠,
22. VI. 2005, 1♂1♀; 3. VIII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 2♂; 14. IX. 2005, 2♂1♀.
68. ヒロバウスグロノメイガ *Paranacoleia lophophoralis* (Hampson)
皇居 2000.
皇居 2000: 上道灌濠, em. 24. IV. 2000, 1♀, ex *Castanopsis sieboldii* スダジイ.
69. シロアヤヒメノメイガ *Diasemia reticularis* (Linnaeus)
赤坂御用地 2004.
- 70(50). キアヤヒメノメイガ *Diasemia accalis* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 9. IV. 2002, 2♂; 10. X. 2002, 2♂; 14. X. 2004, 2♂. 上道灌濠, 6. X. 2000,
1♀.
- 71(51). タテシマノメイガ *Sclerocona acutella* (Eversmann)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂.
- 72(52). キムジノメイガ *Prodasyncnemis inornata* (Butler)
皇居 2005: 下道灌濠, 18. V. 2005, 1♀.
- 73(53). ホシオビホソノメイガ *Nomis albopedalis* Motschulsky
皇居 2005: 下道灌濠, 15. V. 2002, 1♀.
74. ヘリジロキンノメイガ *Paliga auratalis* (Warren)
皇居 2000.
- 75(54). アワノメイガ *Ostrinia furnacalis* (Guenée)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 9. IV. 2002, 1♀; 15. V. 2002, 4♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀. 下道灌濠,
25. V. 2005, 2♂; 7. VI. 2005, 1♂1♀; 22. VI. 2005, 1♀; 13. VII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♀.
皇居 2000: 上道灌濠, 15. VI. 2000, 1♀.
- 76(55). アズキノメイガ *Ostrinia scapularis* (Walker)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 11. VII. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25.
V. 2001, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 4♂; 7. VI. 2005, 1♂; 22. VI. 2005, 5♂; 28. VI. 2005, 1♂2♀;
3. VIII. 2005, 1♂2♀; 24. VIII. 2005, 1♀. 道灌新道, 30. V. 2001, 1♂.
- 77(56). フキノメイガ *Ostrinia zaguliaevi* Mutuura et Munroe
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♀.
- 78(57). クロモンキノメイガ *Udea testacea* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 1♂; 8. IV. 2004, 1♂. 上道灌濠, 14. IX. 2001,

- 1♂; 25. X. 2001, 2♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
79. ベニフキノメイガ *Pyrausta panopealis* (Walker)
常盤松御用邸 2004.
- 80(58). トモンノメイガ *Pyrausta limbata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂1♀; 7. VIII. 2002, 1♀. 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀.
- 81(59). ヒメトガリノメイガ *Anania verbascalis* (Denis et Schiffermüller)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 7. VI. 2005, 1♀.
- 82(60). クロスジキノメイガ *Acropentias aurea* (Butler)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 25. V. 2005, 3♀.

ククルマメイガ亜科 Odontiinae

- 83(61). ナカアカククルマメイガ *Clupeosoma pryeri* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VIII. 2005, 1♂.

ミズメイガ亜科 Acentropinae

- 84(62). ヒメマダラミズメイガ *Elophila turbata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 6. X. 2000, 6♀; 25. V. 2001, 1♀; 15. VIII. 2001, 6♀; 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
- 85(63). ミドロミズメイガ *Neoschoenobia testacealis* Hampson
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 4♀.
比較的稀な種であるが, 皇居ではしばしば採集される(皇居 2000). 2005年8月24日には灯火に4個体飛来したので, 下道灌濠付近が生息地である可能性が高い。

シダメイガ亜科 Musotiminae

- 86(64). エグリミズメイガ *Musotima dryopterisivora* Yoshiyasu
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂; 10. XI. 2004, 1♀.
Yoshiyasu (1985) により, 本州(大阪府), 九州, 屋久島から記載された。関東地方からは初記録と思われる。

メイガ科 Pyralidae

ツヅリガ亜科 Galleriinae

1. ハチノスツヅリガ *Galleria mellonella* (Linnaeus)
皇居 2000.
- 2(1). コハチノスツヅリガ *Achroia grisella* (Fabricius)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
3. ウスグロツヅリガ *Achroia innotata* (Walker)
皇居 2000.

フトメイガ亜科 Epipaschiinae

- 4(2). トサカフトメイガ *Locastra muscosalis* (Walker)
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♀.

シマメイガ亜科 Pyralinae

- 5(3). ウスムラサキシマメイガ *Hypsopygia postflava* (Hampson)
皇居 2005: 生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♀.
6. トビイロシマメイガ *Hypsopygia regina* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.
7. カシノシマメイガ *Pyrallis farinalis* (Linnaeus)
皇居 2000.
- 8(4). マエモンシマメイガ *Tegulifera bicoloralis* (Leech)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 1♂.
- 9(5). フタスジシマメイガ *Orthopygia glaucinalis* (Linnaeus)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 3♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 2♀; 14. IX. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♀; 15. VII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♀.
- 10(6). ツマアカシマメイガ *Orthopygia nannodes* (Butler)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, em. 28. III. 2001, 1♂, ex *Neolitsea sericea* シロダモ.
- 11(7). アカヘリシマメイガ *Herculia drabacillialis* Yamanaka
皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 1♀.
- 12(8). ニシキシマメイガ *Mimicia pseudolibatrix* (Caradja)
皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂.
13. カバイロトガリメイガ *Endotricha theonalis* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
- 14(9). キモントガリメイガ *Endotricha kuznetzovi* Whalley
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.
- 15(10). ウスベニトガリメイガ *Endotricha olivacealis* (Bremer)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 2♂6♀; 15. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 3♀; 7. VIII. 2002, 5♂9♀; 10. IX. 2002, 2♀; 3. VI. 2004, 1♀; 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 2♀; 25. V. 2001, 2♂2♀; 15. VIII. 2001, 3♀; 25. X. 2001, 1♀; 12. VIII. 2003, 2♀. 下道灌濠, 7. VI. 2005, 1♂; 3. VIII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♂3♀. 生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♀.
皇居 2000: 吹上御苑, 28. V. 1999, 1♀ (南部).

マダラメイガ亜科 Phycitinae

16. チビマエジロホソマダラメイガ *Assara hoeneella* Roesler
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 17(11). マエジロクロマダラメイガ *Assara funerella* (Ragonot)

- 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂1♀.
- 18(12). イノウエマエジロマダラメイガ *Assara inouei* Yamanaka
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀.
- 19(13). ウスマエジロマダラメイガ *Assara pallidella* Yamanaka
自然教育園 2000*, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂.
自然教育園 2000: 26. V. 2000, 1♀.
20. ナカキチビマダラメイガ *Pseudocadra cuprotaeniella* (Christoph)
自然教育園 2000.
- 21(14). マエジロホソマダラメイガ *Phycitodes subcretacella* (Ragonot)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♀.
赤坂御用地 2004: 19. VIII. 2003, 1♂.
- 22(15). ハングロホソマダラメイガ *Phycitodes triangulella* (Ragonot)
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂13♀.
- 23(16). ウスアカムラサキマダラメイガ *Calguia defiguralis* Walker
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♀; 15. V. 2002, 1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 2♂; 15. VII. 2003, 1♀.
24. アカマダラメイガ *Oncocera semirubella* (Scopoli)
皇居 2000.
- 25(17). フタスジクロマダラメイガ *Apomyelois subcognata* (Ragonot)
皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 1♀.
26. ヒメツツマダラメイガ *Acrobasis cymindella* (Ragonot)
常盤松御用邸 2004.
- 27(18). ギンマダラメイガ *Acrobasis heringii* (Ragonot)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀.
自然教育園 2000 で *Acrobasis* sp. 2 として記録されたものは本種である.
- 28(19). オオアカオビマダラメイガ *Acrobasis frankella* (Roesler)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂; 11. VII. 2001, 2♂6♀; 15. VII. 2003, 1♂1♀.
- 29(20). オオウスアカオビマダラメイガ *Acrobasis lutulentella* Yamanaka
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂; 17. VI. 2004, 1♂1♀.
皇居 2000 で *Acrobasis* sp. として記録されたが, その後, 新種として記載された本種と一致する.
30. ホソアカオビマダラメイガ *Acrobasis rufizonella* (Ragonot)
皇居 2000.
31. *Acrobasis* sp. 1
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
自然教育園 2000 で *Acrobasis* sp. 1. 赤坂御用地 2004 と常盤松御用邸 2004 で *Acrobasis* として記

録された種。未記載種である（山中，私信）。

32. *Acrobasis* sp. 2
自然教育園 2000*。
自然教育園 2000: 26. V. 2000, 2♀; 6. VII. 2000, 1♂.
33. ナシモンクロマダラメイガ *Conobathra bellulella* (Ragonot)
赤坂御用地 2004.
34. フタグロマダラメイガ *Trachycera dichromella* (Ragonot)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
35. オオフタグロマダラメイガ *Trachycera paradichromella* (Yamanaka)
皇居 2000.
- 36(21). トビマダラメイガ *Samaria ardentella* Ragonot
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; em. 1. V. 2004, 1♀, ex *Camellia sinensis* チャノキ; em. 7-9. VI. 2003, 2♂1♀, ex *Cleyera japonica* サカキ. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♀.
- 37(22). マツアカマダラメイガ *Dioryctria pryeri* Ragonot
自然教育園 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♂.
- 38(22). *Pseudacrobasis* sp.
皇居 2005: 吹上御苑, em. 31. VII. 2003, 2♀, ex *Zizyphus jujuba* ナツメ.
- 39(24). アカグロマダラメイガ *Pyla manifestella* Inoue
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
40. シロイチモンジマダラメイガ *Etiella zinckenella* (Treitschke)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 41(25). ネアカマダラメイガ *Etielloides bipartitellus* (Leech)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♂.
- 42(26). ニシザワマダラメイガ *Cathyalia nishizawai* Yamanaka
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂; 11. VII. 2001, 1♂; 6. V. 2003, 1♀.
本種は、長崎県で採集された雌で新種として記載された (Yamanaka, 2004). 赤坂御用地と皇居では雄も採集でき、これらの標本をもとに雄が詳細に記載された (山中, 2006).

トリバガ科 Pterophoridae

Deuterocopinae

- 1(1). シラホシトリバ *Deuterocopus albipunctatus* Fletcher
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.

カマトリバガ亜科 Pterophorinae

- 2(2). トキンソウトリバ *Stenoptilodes taprobanes* (Felder et Rogenhofer)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 10. IX. 2002, 1♂1♀; 12. XI. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 1♀; em. 21. VII. 2005, 2♂, 蛹.
- 3(3). ブドウトリバ *Nippoptilia vitis* (Sasaki)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. VIII. 2001, 1♂; 18. XII. 2001, 1♀; 28. I. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂;
10. IX. 2002, 1♀; 15. VII. 2003, 1♂; 10. XI. 2004, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII.
2000, 1♂; 25. X. 2001, 5♂.

4(4). ヨモギトリバ *Hellinsia lienigianus* (Zeller)

皇居 2005: 吹上御苑, em. 4. V. 2002, 1♂, ex *Aster ageratoides leiophyllus* シロヨメナ.

5(5). クワヤマカマトリバ *Hellinsia kuwayamai* (Matsumura)

皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀; em. 6. V. 2002, 1♀, em. 26–27. VI. 2002, 1♂6♀, ex *Aster ageratoides leiophyllus* シロヨメナ.

6(6). ヒルガオトリバ *Emmelina argoteles* (Meyrick)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♂; 25. X. 2001, 1♂; 15. V. 2002, 1♀; 17. VI. 2004, 1♂;
26. VIII. 2004, 1♂. 上道灌漑, 18. XI. 2003, 1♂.

カギバガ科 Drepanidae

1. ヤマトカギバ *Nordstromia japonica* (Moore)

皇居 2000.

2(1). ウコンカギバ *Tridrepana crocea* (Leech)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂.

3(2). フタテンシロカギバ *Ditrigona virgo* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 9. IV. 2002, 1♀; 17. IV. 2002, 1♂; 15. V. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♀; 17.
VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 1♂; em. 17. VI. 2002, 1♂, ex *Swida controversa* ミ
ズキ. 下道灌漑, 28. VI. 2005, 4♀.

4. スカシカギバ *Macrauzata maxima* Inoue

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

5. アシベニカギバ *Oreta pulchripes* Butler

赤坂御用地 2004.

6(3). オオアヤトガリバ *Habrosyne fraterna* Moore

皇居 2000.

皇居 2005: 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂.

シャクガ科 Geometridae

フユシャク亜科 Alsophilinae

1(1). シロオビフユシャク *Alsophila japonensis* (Warren)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 13. I. 2004, 1♂; 5. I. 2005, 1♀.

2(2). クロテンフユシャク *Inurois membranaria* (Christoph)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 21. II. 2001, 1♀; 8. I. 2002, 1♂; 7. II. 2002, 14♂2CP; 12. II. 2002, 1♂;
21. II. 2002, 19♂2CP; 4. III. 2002, 15♂; 14. III. 2002, 1♂; 14. I. 2003, 5♂; 13. I. 2004, 1♂; 27. I.
2004, 1CP; 25. II. 2004, 5♂; 5. I. 2005, 1♂.

皇居 2000: 吹上御苑, 8. II. 2000, 2♂.

フユシヤクの中で次種とともに発生個体数の多い種である。本種は出現期間が長いことで知られているが、皇居においても1月上旬から3月下旬まで採れている。前報の調査と合わせて見ると早い記録は2005年1月5日(1♂)で、遅い記録は1998年3月23日(1♂)である。年度を越えての記録なので正確な比較は出来ないが発生が約3カ月におよび、ほかのフユシヤク類と比較しても長い出現期間を持つといえる。2005年2月7日、21日に各2交尾ペア(CP)が採れており、出現期のピークも2月上旬から中旬にかけて比較的長いものと考えられる。

3(3). ウスバフユシヤク *Inurois fletcheri* Inoue

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♂; 27. XII. 2001, 4♂; 28. I. 2002, 1CP; 7. II. 2002, 5♂1CP; 12. II. 2002, 2♂; 14. I. 2003, 5♂; 13. I. 2004, 7♂3CPS; 27. I. 2004, 2♂; 5. I. 2005, 1♂; 18. I. 2005, 6♂; 1. II. 2005, 4♂; 15. II. 2005, 3♂; 1. III. 2005, 1♂; 27. XII. 2005, 2♂. 大宮御所正門, 7. II. 2002, 1♂.

このほか前種か本種と思われる雌が以下のように採集されている。皇居 2005: 吹上御苑, 2♀, 28. I. 2002; 1♀, 27. I. 2004.

アオシヤク亜科 Geometrinae

4. ヒメカギバアオシヤク *Mixochlora vittata* (Moore)

皇居 2000.

5(4). カギバアオシヤク *Tanaorhinus reciprocata* (Walker)

皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂; 15. VIII. 2001, 1♂.

6(5). クスアオシヤク *Pelagodes subquadraria* (Inoue)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 6. X. 2000, 1♂.

7(6). ヒメウスアオシヤク *Jodis putata* (Linnaeus)

皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♀.

8(7). ウスキヒメアオシヤク *Jodis urosticta* Prout

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 11. VII. 2002, 1♂1♀; 10. X. 2002, 1♀; 8. IV. 2004, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♀; 27. IV. 2005, 2♂.

9(8). ヒメツバメアオシヤク *Maxates protrusa* (Butler)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 2♂. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀.

10. キバラヒメアオシヤク *Hemithea aestivaria* (Hübner)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

11(9). ヘリグロヒメアオシヤク *Hemithea tritonaria* (Walker)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 1♂.

12. ハラアカアオシヤク *Chlorissa amphitritaria* (Oberthür)

自然教育園 2000.

13. ホソバハラアカアオシヤク *Chlorissa anadema* (Prout)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

- 14(10). ナミスジコアオシヤク *Idioclora ussuriaria* (Bremer)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 17. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♂. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀; 28. VI. 2005, 4♂; 14. IX. 2005, 1♂.
- 15(11). ヨツモンマエジロアオシヤク *Comibaena procumbaria* (Pryer)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 下道灌漑, 25. V. 2005, 1♂.
- 16(12). ギンスジアオシヤク *Comibaena argentataria* (Leech)
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂.
17. コヨツメアオシヤク *Comostola subtiliaria* (Bremer)
 赤坂御用地 2004.

ヒメシヤク亜科 Sterrhinae

18. シロモンウスチャヒメシヤク *Organopoda carnearia* (Walker)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 19(13). フタナミトビヒメシヤク *Pylargosceles steganioides* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 8. IV. 2004, 1♀.
- 20(14). ベニスジヒメシヤク *Timandra recompta* (Prout)
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌漑, 11. VII. 2001, 1♀.
- 21(15). コベニスジヒメシヤク *Timandra comptaria* Walker
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♀. 下道灌漑, 15. V. 2002, 2♀; 13. VII. 2005, 1♂; 3. VIII. 2005, 1♂.
22. フトベニスジヒメシヤク *Timandra apicirosea* (Prout)
 自然教育園 2000.
- 23(16). ウスベニスジヒメシヤク *Timandra dichela* (Prout)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 2♀; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌漑, 15. VIII. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♀. 下道灌漑, 18. V. 2005, 1♀; 25. V. 2005, 5♂; 24. VIII. 2005, 7♂; 4. X. 2005, 1♂.
- 24(17). クロテンシロヒメシヤク *Scopula apicipunctata* (Christoph)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♂. 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♂. 下道灌漑, 7. VI. 2005, 1♂; 3. VIII. 2005, 1♀.
- 25(18). ナミスジチビヒメシヤク *Scopula personata* (Prout)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀. 上道灌漑, 6. IV. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 1♂.
26. チビシロヒメシヤク *Scopula kawabei* Inoue
 常盤松御用邸 2004.
27. クロスジシロヒメシヤク *Scopula pudicaria* (Motschulsky)
 赤坂御用地 2004.
- 28(19). ウスサカハチヒメシヤク *Scopula semignobilis* Inoue

- 皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♂; 11. VII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♂.
- 29(20). ギンバネヒメシャク *Scopula epiorrhoe* Prout
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 2♂; 17. VI. 2004, 1♂.
上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀.
- 30(21). ウスキクロテンヒメシャク *Scopula ignobilis* (Warren)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀.
上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 7. VI. 2005, 1♀; 22. VI. 2005, 1♂; 28. VI. 2005, 1♂1♀.
31. ベニヒメシャク *Idaea muricata* (Hufnagel)
皇居 2000.
- 32(22). キオビベニヒメシャク *Idaea impexa* (Butler)
皇居 2000*, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 26. VIII. 2004, 1♀.
皇居 2000: 吹上御苑, 13. III. 2000, 1♀.
赤坂御用地 2004: 19. VIII. 2003, 1♂1♀.
- 33(23). オオウスモンキヒメシャク *Idaea imbecilla* (Inoue)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 15. V. 2002, 3♀; 11. VII. 2002, 2♂1♀; 7. VIII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 16. XI. 2001, 1♂. 下道灌濠, 18. V. 2005, 1♂; 25. V. 2005, 6♂.
- 34(24). オイワケヒメシャク *Idaea invalida* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 25. V. 2001, 1♂; 15. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 4♂;
10. IX. 2002, 2♀; 3. VI. 2004, 7♂; 17. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 3♂1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 3♂; 7. VI. 2005, 1♂; 22. VI. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 1♀.
- 35(25). ミジンキヒメシャク *Idaea trisetata* (Prout)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂; 15. VIII. 2001, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 3♂; 14. IX. 2005, 1♀.
- 36(26). サクライキヒメシャク *Idaea sakuraii* (Inoue)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂1♀.
- ナミシャク亜科 *Larentiinae*
- 37(27). チャオビコバネナミシャク *Trichopteryx terranea* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. IV. 2001, 1♀; 14. III. 2002, 2♂. 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♂1♀.
- 38(28). ウスアカモンナミシャク *Trichoptergia consobrinaria* (Leech)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂; 27. IV. 2005, 2♀.
- 39(29). アカモンナミシャク *Trichoptergia costipunctaria* Leech
皇居 2005: 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♀.

本州（関東以西）、四国、九州に分布する。東京付近の平地や山地では3月中旬から4月中旬に出現するが、数は多くない。幼虫は野外でシラカシ *Quercus myrsinaefolia* から得られており、同属のウスアカモンナミシャク *T. consobrinaria* とともに、関東地方を北限とする常緑カシ林の蛾といえる。本種は今まで採集されていなかったが、1♀を採集することができた。

40. アトスジグロナミシャク *Epilobophora obscuraria* (Leech)
赤坂御用地 2004.
- 41(30). ウスミドリナミシャク *Episteira nigrilinearia* (Leech)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 16. XI. 2001, 1♀.
- 42(31). フトジマナミシャク *Xanthorhoe saturata* (Guenée)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂; 11. VII. 2002, 1♀; 8. IV. 2004, 1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂1♀. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀; 27. X. 2005, 1♀.
- 43(32). フタトビスジナミシャク *Xanthorhoe hortensiarum* (Graeser)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 8. IV. 2004, 1♀.
- 44(33). トビスジヒメナミシャク *Orthonama obstipata* (Fabricius)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♀; 10. XI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 18. XI. 2003, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
45. フタモンクロナミシャク *Catarhoe obscura* (Butler)
皇居 2000.
- 46(34). モンキキナミシャク *Idiotephria amelia* (Butler)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 1♂; 6. IV. 2001, 1♂; 14. III. 2002, 6♂; 17. III. 2004, 2♂2♀. 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♂.
47. オオネグロウスベニナミシャク *Photoscotosia lucicolens* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 48(35). セスジナミシャク *Evecliptopera illitata* (Wileman)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♀; 17. IV. 2002, 1♀; 6. VI. 2002, 1♂; 11. VII. 2002, 2♂; 15. VII. 2003, 1♂; 17. VI. 2004, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
- 49(36). オオハガタナミシャク *Ecliptopera umbrosaria* (Motschulsky)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2003, 2♀.
50. ホソスジナミシャク *Lobogonodes complicata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 51(37). シロシタトビイロナミシャク *Heterothera postalbida* (Wileman)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂; 27. IV. 2005, 1♀. 上道灌濠, 6. V. 2003, 1♀.
52. コナミフユナミシャク *Operophtera brunnea* Nakajima
赤坂御用地 2004.
- 53(38). クロオビフユナミシャク *Operophtera relegata* Prout

- 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. XII. 2001, 1♂; 18. XII. 2001, 1♂; 10. XII. 2002, 1♂; 10. XII. 2004, 5♂
1♀; 27. XII. 2005, 1♂.
54. ムスジシロナミシャク *Asthena nymphaeata* (Staudinger)
自然教育園 2000.
55. キムジシロナミシャク *Asthena corculina* Butler
自然教育園 2000.
- 56(39). ナカオビカバナミシャク *Eupithecia subbreviata* Staudinger
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 21. II. 2002, 1♂; 14. III. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 1♂; 17. III. 2005, 14♂
8♀.
- 57(40). ウスカバナミシャク *Eupithecia proterva* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004*.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 5♂3♀; 21. II. 2002, 3♂3♀; 4. III. 2002, 14♂10♀; 14. III.
2002, 12♂11♀; 22. III. 2002, 1♂4♀; 17. III. 2004, 16♂11♀; 17. III. 2005, 49♂15♀. 上道灌濠, 6.
IV. 2001, 1♂1♀; 7. IV. 2003, 1♂.
赤坂御用地 2004: 18. III. 2003, 4♂.
- 58(41). マエナミカバナミシャク *Eupithecia nipponaria* Leech
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♀; 21. II. 2002, 3♂; 4. III. 2002, 1♂; 14. III. 2002, 3♂2♀;
17. III. 2004, 6♂1♀; 17. III. 2005, 2♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂4♀; 7. IV. 2003, 5♂.
- 59(42). ソトカバナミシャク *Eupithecia signigera* Butler
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 2♀; 14. III. 2002, 2♂2♀; 7. IV. 2003, 1♂; 17. III. 2004, 1♂.
上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♀; 7. IV. 2003, 1♂.
60. シロテンカバナミシャク *Eupithecia tripunctaria* Herrich-Schäffer
皇居 2000.
- 61(43). トシマカバナミシャク *Eupithecia tenuisquama* (Warren)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 4♂; 12. XI. 2002, 1♂; 17. III. 2005, 1♀;
27. IV. 2005, 1♀. 下道灌濠, 16. XI. 2005, 1♀. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♂1♀.
- 62(44). アザミカバナミシャク *Eupithecia virgaureata* Doubleday
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 2♂1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀.
- 63(45). ホソバチビナミシャク *Spiralisigna subpumlata* (Inoue)
皇居 2005: 吹上御苑, em. 24. X. 2002, 1♀, ex *Eupatorium chinense* ヒヨドリバナ.
- 64(46). ケブカチビナミシャク *Gymnoscelis esakii* Inoue
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 11. VII. 2002, 2♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 5. I. 2005, 1♀.
赤坂御用地 2004: em. 11. XI. 2002, 1♂, ex *Myrica rubra* ヤマモモ.
- 65(47). リンゴアオナミシャク *Pasiphila rectangulata* (Linnaeus)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂4♀; 3. VI. 2004, 2♂.

- 66(48). クロスジアオナミシャク *Chloroclystis v-ata* (Haworth)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1 ex.
- 67(49). クロフウスアオナミシャク *Chloroclystis consueta* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 3♂; 24. V. 2002, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀. 下道灌濠-
 吹上御苑, 1. VI. 2005, 1♀.
- 68(50). ハラアカウスアオナミシャク *Chloroclystis obscura* West
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 2♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂.
- 69(51). ソトシロオビナミシャク *Chloroclystis excisa* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀. 下道灌濠, 16. XI. 2005,
 1♂. 生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♂.

エダシャク亜科 Ennominae

- 70(52). ヒメマダラエダシャク *Abraxas nipponibia* Wehrli
 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂3♀; 6. VI. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 6. V. 2003, 1♀.
- 71(53). ユウマダラエダシャク *Abraxas miranda* Butler
 皇居 2000.
 皇居 2005: 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♀.
- 72(54). バラシロエダシャク *Lomographa temerata* (Denis et Schiffermüller)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂.
73. ヤマトエダシャク *Peratostega deletaria* (Moore)
 赤坂御用地 2004.
74. アトグロアミメエダシャク *Cabera griseolimbata* (Oberthür)
 自然教育園 2000.
- 75(55). ウスアオエダシャク *Parabapta clarissa* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♀.
76. フタスジオエダシャク *Rhynchobapta cervinaria* (Moore)
 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 77(56). マエキオエダシャク *Plesiomorpha flaviceps* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2003, 2♂3♀.
78. モンオビオエダシャク *Plesiomorpha punctilinearia* (Leech)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 79(57). クロハグルマエダシャク *Synegia esther* Butler
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 2♂; 10. X. 2002, 2♀; 3. VI. 2004, 2♂; 26. VIII. 2004, 2♂
 2♀; 16. IX. 2004, 1♂5♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀; 17. VI.

- 2003, 1♂; 15. VII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀; 28. VI. 2005, 1♂; 14. IX. 2005, 1♂2♀.
生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♀.
80. シロズエダシヤク *Ecpetelia albifrontaria* (Leech)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
81. フタテンオエダシヤク *Chiasmia defixaria* (Walker)
赤坂御用地 2004.
- 82(58). ウスオエダシヤク *Chiasmia hebesata* (Walker)
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀.
- 83(59). スカシエダシヤク *Krananda semihyalina* Moore
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 17. IV. 2002, 2♂; 17. VI. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 1♀.
上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.
- 84(60). ツマジロエダシヤク *Krananda latimarginaria* Leech
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 25. X. 2001, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 1♂; 6. V. 2003, 1♀; 17.
III. 2004, 1♀; 8. IV. 2004, 2♂; 27. IV. 2005, 2♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♂; 28. VI. 2005, 1♂.
85. トビカギバエダシヤク *Luxiaria amasa* (Butler)
自然教育園 2000.
- 86(61). シロジマエダシヤク *Euryobeidia languidata* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 11. VII. 2002, 2♂2♀; 7. IV. 2003, 幼虫多数 ex *Ilex integra*
モチノキ; 3. VI. 2004, 3♂2♀; 17. VI. 2004, 1♀; 7. VI. 2005, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 2♂; 27.
VI. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
87. チャノウモンエダシヤク *Jankowskia fuscaria* (Leech)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 88(62). クロクモエダシヤク *Apocleora rimosa* (Butler)
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀.
89. ルリモンエダシヤク *Cleora insolita* (Butler)
自然教育園 2000.
- 90(63). シロテンエダシヤク *Cleora leucophaea* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 4. III. 2002, 1♂; 14. III. 2002, 2♀; 22. III. 2002, 1♂; 17. III. 2004, 1♂1♀.
- 91(64). オレクギエダシヤク *Protoarmia simpliciaris* (Leech)
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀.
- 92(65). ナカウスエダシヤク *Alcis angulifera* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂; 15. V. 2002, 2♂; 10. X. 2002, 3♂; 3. VI. 2004, 4♂. 上
道灌濠, 25. V. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.
93. フタヤマエダシヤク *Rikiosatoa grisea* (Butler)
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
- 94(66). オオバナミガタエダシヤク *Hypomecis lunifera* (Butler)
皇居 2005: 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.

- 95(67). ウスバミスジエダシャク *Hypomecis punctinalis* (Scopoli)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂1♀; 11. VII. 2002, 1♂. 下道灌濠, 21. VII. 2005, 1♂; 3. VIII. 2005, 1♂.
- 96(68). ヨモギエダシャク *Ascotis selenaria* (Denis et Schiffermüller)
 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, em. 25. IX. 2002, 1♀, ex *Millettia reticulata* オキナワナツフジ (タイワン サッコウフジ). 生物学御研究所, em. 14. IX. 2000, 1♀, ex *Morus alba* マグワ.
- 97(69). ナミガタエダシャク *Heterarmia charon* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 25. V. 2005, 1♂; 1. VI. 2005, 1♂.
- 98(70). フトフタオビエダシャク *Ectropis crepuscularia* (Denis et Schiffermüller)
 皇居 2005: 下道灌濠, 28. VI. 2005, 1♂.
- 99(71). オオトビスジエダシャク *Ectropis excellens* (Butler)
 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. IV. 2001, 1♀; 17. IV. 2002, 1♀.
100. ウスグロナミエダシャク *Phanerothyris sinearia* (Guenée)
 自然教育園 2000.
- 101(72). ヒロバフユエダシャク *Larerrannis miracula* (Prout)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 1♂; 7. II. 2002, 7♂; 21. II. 2002, 7♂; 27. I. 2004, 1♂; 15. II. 2005, 1♂; 1. III. 2005, 1♂.
 本種は、東京都や神奈川県にあるクヌギやコナラを主体とした落葉広葉樹林には生息していないが、常緑広葉樹が混在する自然林の八王子市滝山公園や高尾山、津久井町城山と、湘南平（高麗山）では採集されている（中島，1998）。都区内では、皇居、自然教育園、赤坂御用地のほか、文京区関口から雌を含む採集記録がある（増山，1991）。本種の分布に関する考察は後述する。
- 102(73). シロフフユエダシャク *Agriopis dira* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 6♂; 8. I. 2002, 1♂; 7. II. 2002, 2♂1♀; 12. II. 2002, 1♂; 21. II. 2002, 5♂3♀; 4. III. 2002, 2♂; 5. I. 2005, 1♂; 1. II. 2005, 1♂. 大宮御所正門, 7. II. 2002, 2♂.
- 103(74). シモフリトゲエダシャク *Phigalia sinuosaria* Leech
 皇居 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 28. I. 2002, 1♂; 7. II. 2002, 1♂; 18. I. 2005, 1♂. 大宮御所正門, 7. II. 2002, 1♂.
104. シロトゲエダシャク *Phigalia verecundaria* (Leech)
 赤坂御用地 2004.
- 105(75). オカモトトゲエダシャク *Apochima juglansaria* (Graeser)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 下道灌濠, 25. II. 2004, 2♂.
- 106(76). チャエダシャク *Megabiston plumosaria* (Leech)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 6. XII. 2001, 1♀; 14. XII. 2005, 1♂.
107. キオビゴマダラエダシャク *Biston panterinaria* (Bremer et Grey)

自然教育園 2000.

108(77). トビモンオオエダシャク *Biston robustus* Butler (Fig. 48)

皇居 2005: 吹上御苑, 20. VII. 2005, 幼虫 (園部).

本種の幼虫は, 稀に皇居内で発見されることがあった. 生長期間が長いいため飼育を試みることがなかったが, 皇居内に確実に生息しているものと思われる. 2005年の夏に吹上御苑で得られた写真の個体は, かなり大きかったので飼育したが, 菌類におかされて死亡した.

109. ニトベエダシャク *Wilemania nitobei* (Nitobe)

赤坂御用地 2004.

110(78). アトジロエダシャク *Pachyligia dolosa* Butler

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 1♂; 16. III. 2001, 1♀; 21. II. 2002, 3♂; 4. III. 2002, 6♂; 14. III. 2002, 3♂1♀; 17. III. 2004, 5♂3♀; 1. III. 2005, 1♂; 17. III. 2005, 4♂1♀. 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♂1♀. 大宮御所正門, 4. III. 2002, 2♂.

111(79). ハソビエダシャク *Descoreba simplex* Butler

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 2♂1♀; 17. III. 2004, 1♂; 8. IV. 2004, 1♀.

112(80). ウスクモエダシャク *Menophra senilis* (Butler)

赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 1♂.

113. マエキトビエダシャク *Nothomiza formosa* (Butler)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

114(81). オオマエキトビエダシャク *Nothomiza oxygoniodes* Wehrli

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 1♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂; 25. V. 2001, 2♂; 27. VI. 2001, 2♂; 11. VII. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 3♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.

皇居 2000: 生物学御研究所, 3. VI. 1994, 1♀ (御生研職員).

115(82). エグリツマエダシャク *Odontopera arida* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂; 25. V. 2001, 2♂.

116(83). モンシロツマキリエダシャク *Xerodes albonotaria* (Bremer)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♀; 22. III. 2002, 1♀; 9. IV. 2002, 1♂2♀; 17. IV. 2002, 1♂; 17. III. 2004, 1♀; 8. IV. 2004, 1♂1♀.

117(84). ミスジツマキリエダシャク *Xerodes rufescentaria* (Motschulsky)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 22. III. 2002, 1♂; 17. IV. 2002, 1♀.

118(85). キエダシャク *Auaxa sulphurea* (Butler)

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 1♀.

119(86). モミジツマキリエダシャク *Endropiodes indictinaria* (Bremer)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂1♀; 11. VII. 2002, 1♂; 8. IV. 2004, 1♂. 上道灌濠, 15. VII.

- 2003, 1♀.
120. ツマキリエダシヤク *Endropiodes abjecta* (Butler)
皇居 2000.
121. ツツジツマキリエダシヤク *Endropiodes circumflexa* Inoue
自然教育園 2000.
122. ナカキエダシヤク *Plagodis dolabraria* (Linnaeus)
自然教育園 2000.
123. ヒメウコンエダシヤク *Corymica arnearia* Walker
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 124(87). ウコンエダシヤク *Corymica pryeri* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂.
- 125(88). ヘリグロキエダシヤク *Corymica deducta* (Walker)
皇居 2000.
皇居 2005: 下道灌濠, 28. VI. 2005, 1♀.
- 126(89). ウスキツバメエダシヤク *Ourapteryx nivea* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♂; 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀. 下道灌濠,
25. V. 2005, 2♂. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♀.

ツバメガ科 Uraniidae

ギンツバメガ亜科 Microniinae

- 1(1). ギンツバメ *Acropteris iphiata* (Guenée)
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 10. IX. 2003, 1♀.

フタオガ亜科 Epipleminae

- 2(2). ミナミクロホシフタオ *Dysaethria meridiana* (Inoue) (Fig. 49)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 4. III. 2002, 幼虫多数; 11. VII. 2002, 1♀; em. 11. IV. 2002, 5♂2♀, em.
30. III.-4. IV. 2004, 4♂3♀, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ. 上道灌濠, 25. V.
2001, 1♀; 18. XI. 2003, 1♂; 17. VI. 2004, 1♂.
皇居 2000 でクロホシフタオとして記録されたのは本種の誤同定であった(大和田ほか,
2005a). 幼虫は早春, 吹上御苑の花蔭亭わきのサンゴジュの新芽に多数発生していた. このサン
ゴジュの垣根は日当たりが悪く, 剪定もほとんどされていないように見受けられた. サンゴジュ
の垣根は大道庭園にもあるが日当たりがよく, 入念に探索したが本種の幼虫は発見できなかつ
た. 7月と9月にも成虫が採集されているので, 皇居では年数世代が発生しているものと思われ
る.

Figs. 45–52. 皇居の蛾類, 幼虫. 45, ウメスカシクロバ *Illiberis rotundata*; 46, ミノウスバ *Pryeria sinica*; 47, ヒメクロイラガ *Scopelodes contracta*, カキの葉を集団で食べる若齢幼虫(篠永撮影); 48, トビモンオオエダシヤク *Biston robustus*; 49, ミナミクロホシフタオ *Dysaethria meridiana*; 50, シモフリスズメ *Psilogramma increta*; 51, ミツボシキリガ *Eupsilia tripunctata*; 52, オオシマカラスヨトウ *Amphipyra surnia*.



カレハガ科 Lasiocampidae

1. マツカレハ *Dendrolimus spectabilis* (Butler)

常盤松御用邸 2004.

カイコガ科 Bombycidae

1(1). クワコ *Bombyx mandarina* (Moore)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 1♂. 上道灌漑, 12. VIII. 2003, 1♂. 生物学御研究所, em. 29. IX. 2000, 1♀, em. 17. X. 2000, 1♂, em. 23. X. 2000, 1♂, em. 12. X. 2002, 1♂, ex *Morus alba* マグワ.

ヤママユガ科 Saturniidae

ヤママユガ亜科 Saturniinae

1(1). オオミズアオ *Actias artemis* (Bremer et Grey)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 下道灌漑, 24. VIII. 2005, 1♀目撃. 賢所, 27. VI. 2001, 1ex. (紀宮様). 桔梗門, 30. V. 2001, 1♂ (斉藤). 内苑門, 12. VI. 2001, 1ex. (紀宮様).

スズメガ科 Sphingidae

スズメガ亜科 Sphinginae

1(1). エビガラスズメ *Agrius convolvuli* (Linnaeus)

皇居 2000*.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌漑, 15. VIII. 2001, 1♀.

皇居 2000: 生物学御研究所, 16. IX. 1994, 1♂ (御生研職員).

2(2). シモフリスズメ *Psilogamma increta* (Walker) (Fig. 50)

皇居 2005: 生物学御研究所, 10. IX. 2002, 幼虫, larva on *Olea europea* オリーブ.

生物学御研究所のわきにある資材を置く建物の正面にかなり大きいオリーブがある. この木は庭園木として刈り込まれているが, 本種の幼虫が発生していた. 写真のとおり, 多数の寄生を受けており, 蛹化には至らなかった. この木では 2003 年にも幼虫が発生していたが, 寄生されていることが明瞭だったので, 採集しなかった.

3(3). サザナミスズメ *Dolbina tancrei* Staudinger

皇居 2000.

皇居 2005: 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♂.

4. ヒメサザナミスズメ *Dolbina exacta* Staudinger

常盤松御用邸 2004.

5. モンホソバスズメ *Ambulyx schauffelbergi* Bremer et Grey

自然教育園 2000.

6(4). トビイロスズメ *Clanis bilineata* (Walker)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♀; 15. VIII. 2001, 1♂.

7(5). モモスズメ *Marumba gaschkewitschii* (Bremer et Grey)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀. 上道灌漑, 11. VII. 2001, 1♀. 下道灌漑, 3. VIII. 2005, 1♀.

- 8(6). ウンモンズズメ *Callambulyx tatarinovii* (Bremer et Grey)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀. 大宮門, em. 23. II. 2004, 1♀, (pupa).
- 9(7). オオスカシバ *Cephonodes hylas* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 4. X. 2005, 1♂.
10. クルマズズメ *Ampelophaga rubiginosa* Bremer et Grey
皇居 2000.
11. ブドウスズメ *Acosmeryx castanea* Rothschild et Jordan
皇居 2000.
12. ホシヒメホウジャク *Neogurelca himachala* (Butler)
皇居 2000.
- 13(8). ホシホウジャク *Macroglossum pyrhosticta* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 21. VIII. 2002, 1♂. 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 2♂1♀; 4. X. 2005, 1♂.
皇居 2000: 生物学御研究所, 21. IX. 1994, 1♀ (御生研職員).
14. クロホウジャク *Macroglossum saga* Butler
皇居 2000.
- 15(9). コスズメ *Theretra japonica* (Boisduval)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 26. VIII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♂; 15. VIII. 2001, 1♀; 17. VI. 2003, 1♀; 12. VIII. 2003, 2♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♀.
- 16(10). セスジズズメ *Theretra oldenlandiae* (Fabricius)
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀.

シャチホコガ科 Notodontidae

1. ツマキシヤチホコ *Phalera assimilis* (Bremer et Grey)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
- 2(1). モンクロシャチホコ *Phalera flavescens* (Bremer et Grey)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂.
- 3(2). キシャチホコ *Torigea straminea* (Moore)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂1♀. 上道灌濠, 7. VIII. 2002, 1♂.
4. オオトビモンシャチホコ *Phalerodonta manleyi* (Leech)
皇居 2000.
- 5(3). プライヤエグリシャチホコ *Lophontesia pryeri* (Butler)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 26. VIII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♀.
- 6(4). クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohirae* (Matsumura)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. XII. 2001, 1♂; 10. XII. 2002, 1♂; 10. XII. 2003, 3♂; 10. XII. 2004, 1♂1♀. 道灌新道, 14. XII. 2005, 8♂.

7. ヒナシャチホコ *Micromelalopha troglodyta* (Graeser)
赤坂御用地 2004.

ドクガ科 Lymantriidae

- 1(1). ヒメシロモンドクガ *Orgyia thyellina* Butler
皇居 2000, , 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 6. VI. 2002, 4♂; 7. VIII. 2002, 2♂; 3. VI. 2004, 3♂;
17. VI. 2004, 4♂; 15. VII. 2004, 3♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 4♂; 15. VIII. 2001, 1♂; 14. IX.
2001, 1♂; 17. VI. 2003, 2♂; 12. VIII. 2003, 4♂; 10. IX. 2003, 2♂. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂;
14. IX. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♂.
- 2(2). キアシドクガ *Ivela auripes* (Butler)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 2♀. 中-下道灌
濠, 26. V. 2004, 2♀. 下道灌濠-吹上御苑, 1. VI. 2005, 75♂9♀.
- 3(3). マイマイガ *Lymantria dispar* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂.
4. ウチジロマイマイ *Parocneria furva* (Leech)
自然教育園 2000.
5. チャドクガ *Arna pseudoconsersa* (Strand)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
- 6(4). ゴマフリドクガ *Somena pulvereana* (Leech)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂.
7. モンシロドクガ *Sphrageidus similis* (Fuessly)
自然教育園 2000.

ヒトリガ科 Arctiidae

コケガ亜科 Lithosiinae

1. ホシホソバ *Pelosia muscerda* (Hufnagel)
皇居 2000.
- 2(1). ヒメクロスジホソバ *Pelosia obtusa* (Herrich-Schäffer)
皇居 2005: 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♂1♀.
本種と前種は, 従来の採集の記録を見ると, 沼沢地の蛾なのかもしれない. 前種も上道灌濠で
得られている.
3. キシタホソバ *Eilema aegrota* (Butler)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
4. ヤネホソバ *Eilema fuscodorsalis* (Matsumura)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
5. キマエクロホソバ *Ghoria collitoides* Butler
赤坂御用地 2004.

- 6(2). ハガタベニコケガ *Barsine aberrans* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂.
7. スジベニコケガ *Barsine striata* (Bremer et Grey)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
8. ハガタキコケガ *Miltochrista calamina* Butler
自然教育園 2000.
9. スカシコケガ *Nudaria ranruna* Matsumura
赤坂御用地 2004.

ヒトリガ亜科 Arctiinae

- 10(3). スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata* (Motschulsky)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 12. VIII. 2003, 1♂; 10. IX. 2003, 1♂. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♂.
11. カクモンヒトリ *Lemyra inaequalis* (Butler)
赤坂御用地 2004.
- 12(4). アカハラゴマダラヒトリ *Spilosoma punctaria* (Stoll)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀.
- 13(5). キハラゴマダラヒトリ *Spilosoma lubricipeda* (Linnaeus)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♀.

カノコガ亜科 Syntominae

- 14(6). カノコガ *Amata fortunei* (Orza)
皇居 2000*, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂. 生物学御研究所, 4. VI. 2002, 1♂.
中道灌濠下道, 16. VI. 1994, 1♀ (御生研職員).

コブガ科 Nolidae

- 1(1). クロスジシロコブガ *Nola taeniata* Snellen
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀.
2. ヨシノコブガ *Manoba melancholica* (Wileman et West)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
- 3(2). シロフチビコブガ *Manoba microphasma* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. IV. 2001, 3♂; 8. IV. 2004, 1♀; 3. VI. 2004, 1♂2♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 3♂1♀; 7. IV. 2003, 1♀; 6. V. 2003, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 1♂; 12. VIII. 2003, 3♂1♀; 16. IX. 2004, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
- 4(3). イナズマコブガ *Meganola triangularis* (Leech)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂.

ヤガ科 Noctuidae

ケンモンヤガ亜科 Acronictinae

- 1(1). シロシタケンモン *Hylonycta hercules* (Felder et Rogenhofer)
皇居 2005: 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀.
- 2(2). ナシケンモン *Viminia rumicis* (Linnaeus)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 7. IV. 2003, 1♀.
- 3(3). シマケンモン *Craniophora fasciata* (Moore)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 6. V. 2003, 1♀; 17. VI. 2003, 1♀.

キノコヨトウ亜科 Bryophilinae

- 4(4). イチモジキノコヨトウ *Bryophila granitalis* (Butler)
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.
- 5(5). キノコヨトウ *Cryphia mitsuhashi* (Marumo)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀; 10. IX. 2003, 7♂2♀.
- 6(6). ウンモンキノコヨトウ *Stenoloba manleyi* (Leech)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 10. IX. 2003, 4♀; 26. VIII. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 2♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 14. IX. 2001, 3♂. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀.

タバコガ亜科 Heliothinae

- 7(7). オオタバコガ *Helicoverpa armigera* (Hübner)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂; 14. IX. 2001, 1♂1♀.
- 8(8). タバコガ *Helicoverpa assulta* (Guenée)
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 2♂.

モンヤガ亜科 Noctuinae

- 9(9). タマナヤガ *Agrotis ipsilon* (Hufnagel)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 2♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 1♂; 15. VII. 2004, 2♂; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 2♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀; 30. XI. 2005, 1♀.
- 10(10). カブラヤガ *Agrotis segetum* (Denis et Schiffermüller)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 3♀; 11. VII. 2002, 1♀; 7. IV. 2003, 1♀; 15. VII. 2003, 1♀; 27. IV. 2005, 1♀. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂.

- 11(11). コキマエヤガ *Albocosta triangularis* (Moore)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♂.
- 12(12). クロクモヤガ *Hermonassa cecilia* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 5♀. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂; 25. V. 2001, 2♀; 25. X. 2001, 1♂2♀.
- 13(13). ニセタマナヤガ *Peridroma saucia* (Hübner)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 1♀; 13. I. 2004, 1♂; 15. VII. 2004, 2♂. 上道灌漑, 11. VII. 2001, 1♀; 18. XI. 2003, 1♂2♀. 下道灌漑, 25. II. 2004, 1♂1♀; 25. V. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 1♂.
- 14(14). コウスチャヤガ *Diarsia deparca* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂1♀; 12. XI. 2002, 1♂, 2♀; 3. VI. 2004, 1♂1♀; 17. VI. 2004, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♂; 10. XI. 2004, 1♂3♀; 10. XII. 2004, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂1♀; 30. XI. 2005, 1♀. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♂2♀; 27. VI. 2001, 2♂; 25. X. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂; 18. XI. 2003, 2♂4♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 2♂; 27. X. 2005, 2♀; 16. XI. 2005, 1♂.
- 15(15). オオバコヤガ *Diarsia canescens* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 3♂; 14. X. 2004, 1♂1♀. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂; 6. V. 2003, 2♂; 18. XI. 2003, 1♀.
16. アカフヤガ *Diarsia pacifica* Boursin
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 17(17). シロモンヤガ *Xestia c-nigrum* (Linnaeus)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀. 上道灌漑, 17. VI. 2003, 1♂. 下道灌漑, 25. V. 2005, 1♀.
- 18(17). ウスチャヤガ *Xestia dilatata* (Butler)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 25. X. 2001, 1♀; 12. XI. 2002, 2♂.
- 19(18). カギモンヤガ *Cerastis pallescens* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 4. III. 2002, 4♂1♀; 14. III. 2002, 1♂1♀; 17. III. 2004, 3♀; 17. III. 2005, 2♂. 上道灌漑, 6. IV. 2001, 1♀.

ヨトウガ亜科 Hadeninae

- 20(19). ヨトウガ *Mamestra brassicae* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 4♀; 16. IX. 2004, 1♀.
- 21(20). シロシタヨトウ *Sarcopolia illoba* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♀.
22. キミヤクヨトウ *Dictyestra dissecta* (Walker)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

23. フタスジヨトウ *Protomiselia bilinea* (Hampson)
皇居 2000.
24. ハマオモトヨトウ *Brithys crini* (Fabricius)
赤坂御用地 2004.
- 25(21). クロスジキリガ *Xylopolia bella* (Butler)
皇居 2000.
皇居 2005: 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♀.
- 26(22). スモモキリガ *Anorthoa munda* (Denis et Schiffermüller)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 3♂2♀; 4. III. 2002, 3♂; 14. III. 2002, 1♂; 17. III. 2004, 1♀;
17. III. 2005, 1♂3♀.
- 27(23). ホソバキリガ *Anorthoa angustipennis* (Matsumura)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♂2♀; 21. II. 2002, 1♂2♀; 7. IV. 2003, 1♀; 17. III. 2004,
1♀; 17. III. 2005, 2♀.
- 28(24). カバキリガ *Orthosia evanida* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 3♂; 14. III. 2002, 1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♀.
- 29(25). クロミキリガ *Orthosia lizetta* Butler
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♂; 17. III. 2004, 2♂.
- 30(26). ブナキリガ *Orthosia paromoea* (Hampson)
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♂.
- 31(27). クロテンキリガ *Orthosia fausta* Leech
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 21. II. 2001, 1ex.; 2. III. 2001, 2♂; 4. III. 2002, 3♂1♀; 14. III. 2002, 3♂
1♀; 17. III. 2004, 5♂4♀; 17. III. 2005, 3♂3♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♂1♀; 7. IV. 2003, 2♂2♀.
下道灌濠, 25. II. 2004, 2♂1♀.
- 32(28). チャイロキリガ *Orthosia odiosa* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 2♂; 17. III. 2004, 3♂1♀.
33. クロシタキヨトウ *Mythimna placida* Butler
赤坂御用地 2004.
- 34(29). カバフクロテンキヨトウ *Mythimna salebrosa* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♀.
35. アトジロキヨトウ *Mythimna compta* (Moore)
皇居 2000.
- 36(30). スジシロキヨトウ *Mythimna striata* (Leech)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 2♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 7. IV. 2003, 1♀; 12. VIII.
2003, 1♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀. 生物学御研究所, 15. VIII. 2001, 1♂.
- 37(31). ノヒラキヨトウ *Mythimna obsoleta* (Hübner)
自然教育園 2000.

- 皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂.
38. ナカスジキヨトウ *Mythimna flammea* (Curtis)
自然教育園 2000.
- 39(32). マメチャイロキヨトウ *Mythimna stolidus* (Leech)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.
- 40(33). マダラキヨトウ *Mythimna flavostigma* (Bremer)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♀.
- 41(34). ツマアカキヨトウ *Mythimna inornata* (Leech)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂1♀.
- 42(35). アワヨトウ *Mythimna separata* (Walker)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♂1♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 10. X. 2002, 1♀. 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♀.
- 43(36). クサシロキヨトウ *Mythimna loreyi* (Duponchel)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂.

セダカモクメ亜科 Cuculliinae

44. ナカオビキリガ *Dryobotodes intermissa* (Butler)
赤坂御用地 2004.
- 45(37). キバラモクメキリガ *Xylota formosa* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♀; 18. XII. 2001, 1♂; 12. XI. 2002, 1♂; 12. II. 2003, 1♂; 10. XII. 2003, 1♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 1♀. 下道灌濠, 25. II. 2004, 1♂.
- 46(38). ミツボシキリガ *Eupsilia tripunctata* Butler (Fig. 51)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 道灌新道, 25. IV. 2001, 幼虫, larvae ex *Celtis sinensis* var. *japonica* エノキ.
道灌新道の中道灌濠側に出たエノキに、葉を巻いて巣にしている幼虫がかなり発生していた。成虫の羽化に至らなかったが、顕著な幼虫なので同定には問題はない。このエノキでは翌年、幼虫は発生しなかった。
- 47(39). ヨスジノコメキリガ *Eupsilia quadrilinea* (Leech)
皇居 2000, , 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 16. III. 2001, 1♂; 10. XII. 2003, 2♂3♀; 17. III. 2004, 1♀; 10. XII. 2004, 1♂1♀; 5. I. 2005, 2♂; 18. I. 2005, 1♂; 1. II. 2005, 1♂; 15. II. 2005, 1♂; 1. III. 2005, 1♂; 30. XI. 2005, 1♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 2♂. 下道灌濠, 14. XII. 2005, 1♂.
- 48(40). チャマダラキリガ *Rhynchaglaea scitula* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. XII. 2001, 1♀; 28. I. 2002, 1♂.

- 49(41). クロチャマダラキリガ *Rhynchaglaea fuscipennis* Sugi
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 21. II. 2002, 1♂; 10. XII. 2004, 1♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 2♀.
20. キマエキリガ *Hemiglaea costalis* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 51(42). スギタニモンキリガ *Sugitania lepida* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. XII. 2001, 1♂; 30. XI. 2005, 1♂1♀; 27. XII. 2005, 1♀. 下道灌濠, 30. XI. 2005, 1♂.
- 52(43). フサヒゲオビキリガ *Agrochola evelina* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 1♀.
- 53(44). カシワオビキリガ *Conistra ardescens* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. XII. 2001, 1♂; 8. I. 2002, 1♀; 7. II. 2002, 2♀; 25. II. 2004, 1♂; 15. II. 2005, 3♂.
- 54(45). ナワキリガ *Conistra nawae* Matsumura
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 2. III. 2001, 1♂; 12. II. 2003, 1♂; 10. XII. 2003, 2♂2♀; 13. I. 2004, 1♀; 27. I. 2004, 1♀; 1. III. 2005, 1♀.
- 55(46). ホシオビキリガ *Conistra albipuncta* (Leech)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 12. II. 2003, 1♂.
56. イチゴキリガ *Orbona fragariae* (Vieweg)
皇居 2000.
57. ウスキトガリキリガ *Telorta acuminata* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 58(47). ノコメトガリキリガ *Telorta divergens* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 2♂3♀; 10. XII. 2002, 1♀; 10. XI. 2004, 1♂; 10. XII. 2004, 1♂; 27. XII. 2005, 1♂. 下道灌濠, 16. XI. 2005, 1♂; 14. XII. 2005, 1♂.

カラスヨトウ亜科 *Amphipyrinae*

- 59(48). チャイロカドモンヨトウ *Apamea sodalis* (Butler)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀.
- 60(49). ネスジシラクモヨトウ *Apamea hampsoni* Sugi
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 6. V. 2003, 1♀.
- 61(50). アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂2♀.
自然教育園 2000 の報告書では和名がテンオビヨトウと誤記されている。
62. ハジマヨトウ *Bambusiphila vulgaris* (Butler)

- 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 63(51). ギンギシヨトウ *Atrachea nitens* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 6♂; 3. VI. 2004, 2♂. 上道灌濠, 6. V. 2003, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂1♀.
- 64(52). キスジウスキヨトウ *Archana sparganii* (Esper)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 生物学御研究所, em. 27-28. VI. 2004, 3♀, ex *Typha angustifolia* ヒメガマ.
- 65(53). テンオビヨトウ *Sesamia turpis* (Butler)
自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀.
- 66(54). シロホシキシタヨトウ *Triphaenopsis lucilla* Butler
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 13. VII. 2005, 1♀.
67. アカガネヨトウ *Euplexia lucipara* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
- 68(55). マエグロシラオビアカガネヨトウ *Phlogophora albovittata* (Moore)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♂.
- 69(56). ホソバミドリヨトウ *Euplexidia angusta* Yoshimoto
皇居 2005: 吹上御苑, 14. X. 2004, 1♂.
- 70(57). コモクメヨトウ *Actinotia intermediata* (Bremer)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 25. X. 2001, 1♀.
- 71(58). クロモクメヨトウ *Dypterygia caliginosa* (Walker)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 15. V. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂1♀; 25. V. 2001, 1♂; 11. VII. 2001, 1♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 1♀.
72. モクメヨトウ *Axylia putris* (Linnaeus)
赤坂御用地 2004.
- 73(59). シロスジアオヨトウ *Trachea atriplicis* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 5♀; 15. VII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀; 27. VI. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 2♀; 15. VII. 2003, 1♀; 12. VIII. 2003, 1♀.
- 74(60). ハスモンヨトウ *Spodoptera litura* (Fabricius)
皇居 2000, , 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 15. VII. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 2♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 6. X. 2000, 2♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♀.
- 75(61). シロナヨトウ *Spodoptera mauritia* (Boisduval)
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂.
- 76(62). スジキリヨトウ *Spodoptera depravata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♂; 6. VI. 2002, 1♀; 11. VII. 2002, 2♂; 7. VIII. 2002, 1♂;

10. IX. 2002, 2♂; 16. IX. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂2♀; 6. X. 2000, 2♂; 25. V. 2001, 6♂; 11. VII. 2001, 3♂1♀; 15. VIII. 2001, 2♂1♀; 14. IX. 2001, 4♂; 6. V. 2003, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 1♀; 10. IX. 2003, 3♂3♀. 下道灌濠, 14. IX. 2005, 3♂3♀.
- 77(63). クロテンヨトウ *Athetis cinerascens* (Motschulsky)
赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♀.
78. コウスイロヨトウ *Athetis lepigone* (Möschler)
皇居 2000.
- 79(64). ヒメサビスジヨトウ *Athetis stellata* (Moore)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 17. VI. 2004, 1♀; 15. VII. 2004, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♂2♀; 14. X. 2004, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 6. X. 2000, 1♂1♀; 25. V. 2001, 1♂1♀; 15. VIII. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♂; 6. V. 2003, 1♀; 12. VIII. 2003, 2♀; 10. IX. 2003, 1♂.
- 80(65). シロモンオビヨトウ *Athetis lineosa* (Moore)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀; 17. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀.
- 81(66). オオシマカラスヨトウ *Amphipyra surnia* Felder et Rogenhofer (Fig. 52)
皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2004, 1♂1♀. 吹上御苑, em. 6. VI. 2005, 1♀, ex *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki* サンゴジュ.
羽化した成虫は, 2005年4月27日に吹上御苑花蔭亭前のサンゴジュについていたものである.
- 82(67). ナンカイカラスヨトウ *Amphipyra horiei* Owada
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 2♀. 上道灌濠, 10. XI. 2004, 1♀.
- 83(68). カラスヨトウ *Amphipyra livida* (Denis et Schiffmüller)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 1♂. 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂; 18. XI. 2003, 1♀.
- 84(69). ニレキリガ *Cosmia affinis* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀. 下道灌濠, 27. X. 2005, 1♀.
- 85(70). シマキリガ *Cosmia achatina* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 2♂1♀; 17. VI. 2003, 4♂; em. 28. VI. 2001, 1♀, ex *Zelkova serrata* ケヤキ.
- 86(71). チャオビヨトウ *Niphonyx segregata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♀. 上道灌濠, 17. VIII. 2000, 1♀; 31. VIII. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♀; 27. VI. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 2♂2♀; 15. VII. 2003, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 7. VI. 2005, 1♀; 22. VI. 2005, 3♂6♀; 3. VIII. 2005, 1♂3♀; 24. VIII. 2005, 2♂2♀; 14. IX. 2005, 2♀.
- 87(72). ベニモンヨトウ *Oligonyx vulnerata* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.

- 88(73). マエホシヨトウ *Pyrrhidalva sordida* (Butler)
 皇居 2000.
 皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂2♀; 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 26. IX. 2001, 3♂; 14. IX. 2005, 1♀; 4. X. 2005, 3♀.
- 89(74). オオホシミミヨトウ *Condica illecta* (Walker)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂.
- 90(75). フタテンヒメヨトウ *Hadjina biguttula* (Motschulsky)
 自然教育園 2000, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♂; 11. VII. 2001, 1♀; 15. VIII. 2001, 1♂. 下道灌濠, 30. V. 2001, 1♀; 25. V. 2005, 1♂; 22. VI. 2005, 2♀; 3. VIII. 2005, 2♂; 24. VIII. 2005, 1♂.
91. ミナミツマキリヨトウ *Callopietria nobilior* Eda
 赤坂御用地 2004.
- 92(76). キスジツマキリヨトウ *Callopietria japonibia* Inoue et Sugi
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀.
- 93(77). コガタツマキリヨトウ *Callopietria pulchilinea* (Walker)
 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 12. XI. 2002, 1♀; 26. VIII. 2004, 1♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 10. IX. 2003, 1♀.

トラガ亜科 *Agaristinae*

- 94(78). トビイロトラガ *Sarbanissa subflava* (Moore)
 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀.

フサヤガ亜科 *Euteliinae*

- 95(79). フサヤガ *Eutelia geyeri* (Felder et Rogenhofer)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 1♂; 8. IV. 2004, 1♂. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀. 下道灌濠, 4. X. 2005, 1♂; 27. X. 2005, 1♂.

キノカワガ亜科 *Sarothripinae*

96. シンジュキノカワガ *Eligma narcissus* (Cramer)
 皇居 2000.
- 97(80). リュウキュウキノカワガ *Risoba prominens* Moore
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♀.
- 98(81). キノカワガ *Blenina senex* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. III. 2004, 1♂.
- 99(82). ネスジキノカワガ *Garella ruficirra* (Hampson)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 2♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 3♀.

赤坂御用地 2004: em. 8. XI. 2002, 1♂, ex *Quercus dentata* カシワ (新芽).

100. クロスジキノカワガ *Nycteola asiatica* (Krulikowski)

赤坂御用地 2004.

- 101(83). クロテンキノカワガ *Nycteola dufayi* Sugi

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♀.

リング亜科 Chloephorinae

102. アカマエアオリング *Earias pudicana* Staudinger

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

- 103(84). ベニモンアオリング *Earias roseifera* Butler

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀.

赤坂御用地 2004: 25. VII. 2002, 1♂.

104. クロオビリング *Gelastocera kotschubeji* Obraztsov

自然教育園 2000.

105. カマフリング *Macrochthonia fervens* Butler

皇居 2000, 自然教育園 2000.

コヤガ亜科 Acontiinae

106. シラホソコヤガ *Enispa bimaculata* (Staudinger)

赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

- 107(85). シマフコヤガ *Corgatha nitens* (Butler)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♂.

- 108(86). カバイロシマコヤガ *Corgatha argillacea* (Butler)

皇居 2000.

皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂.

109. モモイロシマコヤガ *Corgatha costimacula* (Staudinger)

自然教育園 2000.

- 110(87). シロスジシマコヤガ *Corgatha dictaria* (Walker)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 1♀; 16. IX. 2004, 1♂.

- 111(88). アヤホソコヤガ *Araeopteron amoena* Inoue

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂; 27. IV. 2005, 1♀. 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 1♀.

112. シロホソコヤガ *Araeopteron flaccida* Inoue

皇居 2000.

113. クロモンホソコヤガ *Araeopteron kurokoi* Inoue

赤坂御用地 2004*.

赤坂御用地 2004: 17. X. 2002, 1♀.

114. ウスグロホソコヤガ *Araeopteron nebulosa* Inoue
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
115. *Araeopteron* sp.
赤坂御用地 2004*.
赤坂御用地 2004: 19. VIII. 2003, 1♀.
- 116(89). ヒメネジロコヤガ *Maliattha signifera* (Walker)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 下道灌濠, 22. VI. 2005, 2♀; 3. VIII. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 1♂; 14. IX. 2005, 2♂.
- 117(90). シロヒシモンコヤガ *Micardia argentata* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♂.
118. フタホシコヤガ *Micardia pulchra* Butler
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
119. シロマダラコヤガ *Protodeltote distinguenda* (Staudinger)
皇居 2000.
1204. ウスシロフコヤガ *Sugia stygia* (Butler)
皇居 2000.
- 121(91). ニセシロフコヤガ *Sugia erastroides* (Draudt)
自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂.
- 122(92). ネモンシロフコヤガ *Sugia idiostygia* (Sugi)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 3. VI. 2004, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 3♂1♀.
- 123(93). ホシコヤガ *Ozarba punctigera* Walker
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂1♀; 11. VII. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀.
- 124(94). フタオビコヤガ *Naranga aenescens* Moore
皇居 2000.
皇居 2005: 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂.
- 125(95). ヒメシロテンコヤガ *Amyna axis* Guenée
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.
- 126(96). サビイロコヤガ *Amyna stellata* Butler
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂.
- 127(97). *Amyna* sp.
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀.

キンウワバ亜科 Plusiinae

- 128(98). イラクサマダラウワバ *Abrostola triplasia* (Linnaeus)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VI. 2004, 1♂.
129. ユミガタマダラウワバ *Abrostola abrostolina* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

130. ギンモンシロウワバ *Macdunnoughia purissima* (Butler)
皇居 2000.
- 131(99). ワイギンモンウワバ *Sclerogenia jessica* (Butler)
皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♂.
132. ギンスジキンウワバ *Erythroplusia rutilifrons* (Walker)
皇居 2000.
- 133(100). セアカキンウワバ *Erythroplusia pyropia* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌漑, 17. VI. 2003, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 2♂. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀.
134. ガマキンウワバ *Autographa gamma* (Linnaeus)
皇居 2000.
- 135(101). タマナギンウワバ *Autographa nigrisigna* (Walker)
赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♀; 6. V. 2003, 1♀.
皇居 2000 では, ガマキンウワバがかなり採集されているのに, 本種がまったく採集されていないことを指摘したが, 今回は一転してガマキンウワバが採集されなくなった.
136. イネキンウワバ *Plusia festucae* (Linnaeus)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
- 137(102). キクキンウワバ *Thysanoplusia intermixta* (Warren)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 2♀; 6. VI. 2002, 1♂3♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 12. XI. 2002, 1♀;
27. IV. 2005, 1♀. 上道灌漑, 14. IX. 2001, 1♀; 17. VI. 2003, 1♂; 12. VIII. 2003, 1♀. 中-下道灌漑,
26. V. 2004, 1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♂1♀.
- 138(103). エゾギクキンウワバ *Ctenoplusia albostrigata* (Bremer et Grey)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 10. IX. 2002, 1♂3♀; 10. X. 2002, 1♀; 15. VII. 2004,
1♀; 26. VIII. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀;
12. VIII. 2003, 1♀; 18. XI. 2003, 1♀. 下道灌漑, 22. VI. 2005, 1♀.
- 139(104). ミツモンキンウワバ *Ctenoplusia agnata* (Staudinger)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 6. VI. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂3♀; 10. IX. 2002, 7♀; 10. X. 2002, 1♂
2♀; 12. XI. 2002, 1♀; 17. VI. 2004, 1♀; 15. VII. 2004, 1♀; 14. X. 2004, 2♀; 10. XI. 2004, 1♀; 27.
IV. 2005, 1♂. 上道灌漑, 31. VIII. 2000, 1♂2♀; 6. X. 2000, 1♂1♀; 25. V. 2001, 1♂; 14. IX. 2001,
8♂3♀; 25. X. 2001, 6♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♂1♀; 10. IX. 2003, 4♀; 14. X. 2003, 1♀; 18. XI. 2003,
1♂1♀. 下道灌漑, 25. V. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 1♂3♀; 24. VIII. 2005, 1♂1♀; 14. IX. 2005, 1♂
4♀; 4. X. 2005, 1♀. 生物学御研究所, 13. XI. 2002, 1♂.
140. ニシキンウワバ *Ctenoplusia ichinosei* (Dufay)
自然教育園 2000.
- 141(105). イチジクキンウワバ *Chrysodeixis eriosoma* (Doubleday)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 2♀; 15. VII. 2004, 1♀.
上道灌漑, 31. VIII. 2000, 2♂1♀; 6. X. 2000, 1♂1♀; 14. IX. 2001, 2♂4♀; 10. IX. 2003, 3♀. 下道
灌漑, 14. IX. 2005, 2♀; 27. X. 2005, 1♀.

142(106). ウリキンウワバ *Anadevidia peponis* (Fabricius)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀; 14. X. 2004, 1♀. 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♀; 4. X. 2005, 1♀. 大道庭園, 14. X. 2003, 1♀.

シタバガ亜科 Catocalinae

143(107). オニベニシタバ *Catocala dula* Bremer

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂.

144(108). アミメキシタバ *Catocala hyperconnexa* Sugi

皇居 2005: 上道灌濠, 15. VII. 2003, 1♂.

145(109). シラホシアシプトクチバ *Achaea janata* (Linnaeus)

皇居 2005: 御生物学研究所, 13. XI. 2002, 1♂ (斉藤).

日本本土では関東以西に散発的な記録があり, 南西諸島では定着しているという.

146(110). アンプトクチバ *Dysgonia stuposa* (Fabricius)

赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂.

147(111). ホソオビアシプトクチバ *Parallelia arctotaenia* (Guenée)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 上道灌濠, 6. X. 2000, 4♂; 15. VIII. 2001, 2♂; 14. IX. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂. 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♀; 4. X. 2005, 1♂.

148(112). オオウンモンクチバ *Mocis undata* (Fabricius)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 7♀; 6. X. 2000, 2♀; 14. IX. 2001, 1♀; 17. VII. 2002, 1♂; 10. IX. 2003, 1♀. 下道灌濠, 7. VI. 2005, 1♂.

149. ウンモンクチバ *Mocis annetta* (Butler)

自然教育園 2000.

150. モンムラサキクチバ *Ercheia umbrosa* Butler

皇居 2000.

151(113). ムクゲコノハ *Thyas junio* (Dalman)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 15. VII. 2004, 1♂; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌濠, 15. VII. 2003, 2♂.

152(114). ツキワクチバ *Artena dotata* (Fabricius)

皇居 2005: 下道灌濠, 24. VIII. 2005, 1♂.

153(115). フクラスズメ *Arcte coerulea* (Guenée)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♀; 12. XI. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 1♀; 16. IX. 2004, 1♀; 27. IV. 2005, 1♂. 上道灌濠, 27. VI. 2001, 1♀. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 1♀.

クチバ亜科 Ophiderinae

154(116). モクメクチバ *Perinaenia accipiter* (Felder et Rogenhofner)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♂2♀; 12. XI. 2002, 2♀; 17. III. 2004, 4♀. 上道灌濠, 6. IV.

- 2001, 1♀; 7. IV. 2003, 4♀.
155. ワタアカキリバ *Cosmophila flava* (Fabricius)
赤坂御用地 2004.
- 156(117). アカキリバ *Gonitis mesogona* (Walker)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 21. II. 2001, 1ex.
157. ハイイロオオエグリバ *Calyptra albivirgata* (Hampson)
自然教育園 2000.
- 158(118). アカエグリバ *Oraesia excavata* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 14. III. 2002, 1♂; 7. VIII. 2002, 1♂; 17. III. 2005, 1♂.
- 159(119). アケビコノハ *Eudocima tyrannus* (Guenée)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; 12. XI. 2002, 1♀; 10. XI. 2004, 1♂. 上道灌漑, 15. VII. 2003, 1♀. 皇居, 13. IX. 2005, 2♀ (齊藤).
- 160(120). ムーアキシタクチバ *Hypocala deflorata* (Fabricius)
皇居 2005: 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂.
- 161(121). ルリモンクチバ *Lacera procellosa* Butler
皇居 2005: 上道灌漑, 10. IX. 2003, 1♀.
- 162(122). アカテンクチバ *Erygia apicalis* Guenée
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 15. V. 2002, 1♂. 上道灌漑, 25. V. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♀.
- 163(123). ハガタクチバ *Daddala lucilla* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀; 17. III. 2004, 1♀. 上道灌漑, 27. VI. 2001, 3♀.
164. コウンモンクチバ *Blasticorhinus ussuriensis* (Bremer)
自然教育園 2000.
- 165(124). ナカジロシタバ *Aedia leucomelas* (Linnaeus)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌漑, 6. X. 2000, 1♂; 6. V. 2003, 1♀.
- 166(125). カバフヒメクチバ *Mecodina cineracea* (Butler)
皇居 2000.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♀. 下道灌漑, 17. VII. 2002, 1♂.
167. カザリツマキリアツバ *Tamba igniflua* (Wileman et South)
赤坂御用地 2004.
168. チョウセンツマキリアツバ *Tamba corealis* (Leech)
赤坂御用地 2004.
- 169(126). ウスモモイロアツバ *Olulis ayumiae* Sugi
皇居 2005: 下道灌漑, 14. IX. 2005, 1♂.
南方系の種で、関東では千葉県からのみ記録がある(千葉県史料研究財団, 2002)。東京都初記録。同年に東京都日野市でも確認されている(神保, 未発表)。
170. ミツボシツマキリアツバ *Pangrapta vasava* (Butler)

- 赤坂御用地 2004.
- 171(127). リンゴツマキリアツバ *Pangrapta obscurata* (Butler)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♂; 15. V. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 1♀. 上道灌濠, 11. VII. 2001, 1♀; 6. V. 2003, 1♀.
172. ニセミカドアツバ *Lophomilia takao* Sugi
 赤坂御用地 2004.
- 173(128). ナンキシマアツバ *Hepatica nakatanii* Sugi
 皇居 2000, 自然教育園 2000.
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 2♂. 上道灌濠, 6. IV. 2001.
- 174(129). ムラサキアツバ *Diomea cremata* (Butler)
 皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂.
- 175(130). オオトウアツバ *Panilla petrina* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♂.
- 176(131). マエテンアツバ *Rhesala imparata* Walker
 皇居 2000, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 12. XI. 2002, 1♂; 10. XI. 2004, 1♀.
- 177(132). スジモンアツバ *Microxyla confusa* (Wileman)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 3♂1♀; 7. VIII. 2002, 2♂; 17. VI. 2003, 1♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♂; 14. IX. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.
- 178(133). ウスクモチビアツバ *Micreremites japonica* Sugi
 皇居 2005: 吹上御苑, 27. VI. 2001, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♂1♀; 24. VIII. 2005, 2♂.
- 179(134). テンクロアツバ *Rivula sericealis* (Scopoli)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♀. 上道灌濠, 17. VI. 2003, 1♂.
- 180(135). フタテンアツバ *Rivula inconspicua* (Butler)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 18. IV. 2002, 1♂1♀; 11. VII. 2002, 1♂. 下道灌濠, 3. VIII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♀.
- 181(136). クリイロアツバ *Rivula plumipars* Hampson
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 15. VII. 2004, 1♂.
- 182(137). シロズアツバ *Ectogonia butleri* (Leech)
 皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 24. V. 2002, 1♂; 6. VI. 2002, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂.
- 183(138). クロスジヒメアツバ *Schrankia costastrigalis* (Stephens)
 皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
 皇居 2005: 吹上御苑, 7. VIII. 2002, 1♂; 10. X. 2002, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♀; 10. XI. 2004, 3♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♂1♀; 15. VIII. 2001, 1♂; 16. XI. 2001, 3♂; 18. XI. 2003, 1♂. 下道灌濠, 27. X. 2005, 2♂; 16. XI. 2005, 1♂.
 赤坂御用地 2004: 17. X. 2002, 1♂.

184(139). ハスオビヒメアツバ *Schrankia separatalis* (Herz)

皇居 2000.

皇居 2005: 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀.

185. チビアツバ *Luceria fletcheri* Inoue

自然教育園 2000.

アツバ亜科 Hypeninae

186(140). ナカジロアツバ *Harita belinda* (Butler)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 10. XI. 2004, 1♂.

187. キシタアツバ *Hypena claripennis* (Butler)

自然教育園 2000.

188(141). クロキシタアツバ *Hypena amica* (Butler)

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 9. IV. 2002, 1♂; 15. V. 2002, 1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 11. VII. 2002, 1♂; 6. V. 2003, 1♂; 26. VIII. 2004, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♂; 22. VI. 2005, 1♀.

189(142). タイワンキシタアツバ *Hypena trigonalis* (Guenée)

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀; 17. IV. 2002, 4♀; 15. V. 2002, 8♀; 11. VII. 2002, 2♀; 10. IX. 2002, 2♂. 上道灌濠, 31. VIII. 2000, 1♀; 11. VII. 2001, 1♂; 14. IX. 2001, 2♀; 25. X. 2001, 1♀. 下道灌濠, 18. V. 2005, 2♂1♀; 25. V. 2005, 1♂; 7. VI. 2005, 3♀; 22. VI. 2005, 1♂; 13. VII. 2005, 3♀; 3. VIII. 2005, 1♂; 24. VIII. 2005, 1♂2♀; 4. X. 2005, 2♂.

190. ナミテンアツバ *Hypena strigatus* (Fabricius)

自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

191(143). ヒトスジクロアツバ *Hypena furva* Wileman

皇居 2000, 赤坂御用地 2004.

皇居 2005: 下道灌濠, 30. V. 2001, 1♀; 15. V. 2002, 2♂2♀; 25. V. 2005, 1♂7♀; 7. VI. 2005, 1♂; 13. VII. 2005, 1♂2♀; 3. VIII. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 2♂1♀; 14. IX. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♂1♀; 16. XI. 2005, 1♂.

本種は下道灌濠沿いの湿地に確実に生息し, その個体数は少なくない. 2005年の灯火採集は下道灌濠で行ったが灯火に飛来することはなかった. 本種には走光性がほとんどないと思われる.

192(144). オオトビモンアツバ *Hypena occata* Moore

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 1♀; 10. IX. 2002, 1♂1♀; 10. X. 2002, 1♂; 12. XI. 2002, 2♂1♀; 26. VIII. 2004, 1♂. 下道灌濠, 22. VI. 2005, 1♀.

193(145). トビモンアツバ *Hypena indicatalis* Walker

皇居 2000.

皇居 2005: 吹上御苑, 17. IV. 2002, 2♀; 11. VII. 2002, 1♀; 7. VIII. 2002, 1♂; 10. IX. 2002, 2♀; 12. XI. 2002, 2♂; 10. XII. 2004, 1♂; 27. IV. 2005, 1♂1♀. 上道灌濠, 6. IV. 2001, 2♂2♀; 14. IX. 2001, 1♀; 18. XI. 2003, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 3♀; 14. IX. 2005, 1♀.

194(146). アオアツバ *Hypena subcyanea* Butler

皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.

- 皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 3♂; 16. IX. 2004, 1♂; 14. X. 2004, 1♀; 10. XI. 2004, 1♂.
上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 25. X. 2001, 1♂.
195. コテングアツバ *Hypena pulverulenta* Wileman
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
196. ヤマガタアツバ *Bomolocha stygiana* (Butler)
自然教育園 2000.
197. ハングロアツバ *Bomolocha squalida* (Butler)
赤坂御用地 2004.

クルマアツバ亜科 Herminiinae

- 198(147). フタキボシアツバ *Gynaephila maculifera* Staudinger
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. IX. 2002, 1♂1♀; 10. X. 2002, 1♂3♀; 3. VI. 2004, 1♂1♀; 16. IX. 2004, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 14. IX. 2001, 1♂1♀; 12. VIII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♀.
- 199(148). フジロアツバ *Adrapsa notigera* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 2♀; 6. VI. 2002, 3♂; 3. VI. 2004, 2♂1♀. 上道灌濠, 25. V. 2001, 1♂; 17. VI. 2003, 1♂.
- 200(149). ソトウスグロアツバ *Hydrillodes lentalis* Guenée
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♂; 11. VII. 2002, 1♂2♀; 10. X. 2002, 6♂1♀; 12. XI. 2002, 1♂; 15. VII. 2004, 2♀; 26. VIII. 2004, 1♂3♀; 16. IX. 2004, 3♂2♀; 14. X. 2004, 2♂; 10. XI. 2004, 2♀. 上道灌濠, 6. X. 2000, 2♂1♀; 25. V. 2001, 1♀; 11. VII. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♂1♀; 15. VII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♀; 24. VIII. 2005, 2♂.
- 201(150). ヒロオビウスグロアツバ *Hydrillodes morosa* (Butler)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 27. IV. 2005, 1♀.
- 202(151). フサキバアツバ *Mosopia sordidum* (Butler)
皇居 2005: 上道灌濠, 14. IX. 2001, 1♂.
- 203(152). ヒゲブトクロアツバ *Nodaria tristis* (Butler)
皇居 2005: 上道灌濠, 17. IV. 2002, 1♂.
- 204(153). オオアカマエアツバ *Simplicia nippona* (Butler)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 11. VII. 2002, 2♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 1♀; 25. V. 2001, 1♂1♀; 25. X. 2001, 1♂; 15. VII. 2003, 2♂; 12. VIII. 2003, 1♂. 下道灌濠, 25. V. 2005, 2♂1♀; 22. VI. 2005, 1♀; 3. VIII. 2005, 2♀.
205. ニセアカマエアツバ *Simplicia xanthoma* Prout
皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
206. ホンドコブヒゲアツバ *Zanclognatha curvilinea* (Wileman et South)
常盤松御用邸 2004.
207. キイロアツバ *Zanclognatha helva* (Butler)
皇居 2000.

208. クロスジアツバ *Herminia grisealis* (Denis et Schiffermüller)
自然教育園 2000.
- 209(154). シラナミアツバ *Herminia innocens* Butler
皇居 2005: 下道灌濠, 25. V. 2005, 3♂.
- 210(155). ウスキミスジアツバ *Herminia arenosa* Butler
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 上道灌濠, 15. VIII. 2001, 1♀. 下道灌濠, 15. V. 2002, 1♂1♀; 25. V. 2005, 2♀.
- 211(156). トビスジアツバ *Herminia tarsicrinalis* (Knoch)
皇居 2000, 赤坂御用地 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 17. VIII. 2000, 1♀. 下道灌濠, 18. V. 2005, 1♂; 25. V. 2005, 9♂; 14. IX. 2005, 1♂.
- 212(157). オオシラナミアツバ *Hipoepa fractalis* (Guenée)
皇居 2000, 自然教育園 2000, 赤坂御用地 2004, 常盤松御用邸 2004.
皇居 2005: 吹上御苑, 10. X. 2002, 1♂; 3. VI. 2004, 1♂. 上道灌濠, 6. X. 2000, 3♂1♀; 15. VIII. 2001, 1♀; 14. IX. 2001, 1♀; 25. X. 2001, 1♀. 下道灌濠, 25. V. 2005, 1♂; 22. VI. 2005, 1♀; 24. VIII. 2005, 1♀; 14. IX. 2005, 1♂; 4. X. 2005, 1♀; 27. X. 2005, 1♂.

考 察

2000年8月から2005年12月までの5年5カ月、延べ80回の調査で、46科633種の蛾類を採集し、ここに記録することができた。以後、この記録を皇居2005とし、1996年から2000年までの皇居2000と区別する。

皇居の蛾類調査、皇居2000は1996年4月から2000年6月までの4年2カ月間の調査をまとめたものである。この報告の中には、1988年5月と8月の2回の灯火採集の結果も含めてあるが、延べ63回の調査で、42科526種の蛾類を記録した(大和田ほか, 2000)。この調査期間中に港区の国立科学博物館附属自然教育園の蛾類を調査する機会を得、1998年9月から2000年10月までの2年1カ月間に21回の調査を行い、38科316種を記録している(大和田ほか, 2001)。また、港区の赤坂御用地では、2002年4月から2004年7月までの2年4カ月間に31回の調査で45科474種を確認できた(大和田ほか, 2005a)が、この中には1年間を通して仕掛けられたマレーズトラップに入った蛾類も入れられており、このトラップだけで採集された蛾類が33種あるので、これを考慮に入れる必要がある。今回のリストは、以前の記録の追加訂正があり、Table 1と2では、それぞれ317種と473種となった。また、これら3カ所の蛾類調査の結果、出現種数は調査回数に応じて増えており、調査が比較的均一に行われているので、蛾類の多様性にはとくに大きな差が見られないという結論になった(大和田ほか, 2005a)。

皇居2005の結果は、調査回数の増加に応じて出現種数も増加している。なお、633種のうち、2005年に平野が精査して皇居2000より増加させた潜葉性小蛾類は約40種で、この種数は赤坂御用地でマレーズトラップだけに入った33種と同様に扱うべきものであろう。一方、比較的小型の緑地として渋谷区の常盤松御用邸を調査する機会があったが、ビルや住宅に囲まれた同地では、灯火採集の効率が悪いので2002年7月からの1年間のマレーズトラップ採集を主体に、昼間の見つけ採りと幼虫の探索を2002年5月から2004年7月までの2年3カ月間に21回行った(大和田ほか, 2005b)。この調査では灯火採集は2回行ったにすぎない。その結果は、29科160種であったが、皇居などの大型緑地の蛾類調査とは、調査法が異なっているので、出現種数をそのまま比較するべきではないと考える。

これら10年にわたる都区内の緑地の調査で得られた蛾類の総計は50科904種であった。

Table 1. 東京都心部の大型緑地の蛾類相の比較
Comparison with moth faunas of large green tracts in the urban centre of Tokyo.

		IPT96-05	IPT2005	(A)	IPT2000	(B)	AIPT2004	(C)	INST2000	TIV2004	(D)
		皇居総計	皇居 2005		皇居 2000		赤坂御用地		自然教育園	常盤松	
Number of investigations	調査回数	143	80		63		31		21		
Hepialidae	コウモリガ科	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
Nepticulidae	モグリチビガ科	12	12	2	2	1	1	1	2	1	13
Adelidae	ヒゲナガガ科	3	3	3	3	2	2	1	1	1	3
Heliozelidae	ツヤコガ科	2	2	0	0	2	2	0	0	0	2
Tischeriidae	ムモンハモグリガ科	3	2	0	1	0	2	0	1	0	4
Psychidae	ミノガ科	3	1	0	2	0	1	0	1	0	3
Tineidae	ヒロズコガ科	17	14	5	8	8	10	4	6	2	19
Bucculatricidae	チビガ科	3	3	0	0	0	0	0	2	0	5
Lyonetiidae	ハモグリガ科	1	0	0	1	0	4	0	0	2	5
Gracillariidae	ホソガ科	32	28	9	13	10	13	3	5	5	35
Phyllocnistidae	コハモグリガ科	6	5	0	1	1	3	0	0	1	7
Acrolepiidae	アトヒゲコガ科	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
Yponomeutidae	スガ科	6	5	3	4	3	4	3	4	3	8
Argyresthiidae	メムシガ科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
Glyphipterigidae	ホソハマキモドキガ科	7	6	5	6	4	5	1	3	0	8
Zygaenidae	マダラガ科	4	4	2	2	2	2	0	0	2	4
Epipyropidae	セミヤドリガ科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
Limacodidae	イラガ科	4	4	3	3	1	2	1	2	2	5
Sesiidae	スカシバガ科	4	3	2	3	3	4	1	2	1	5
Choreutiidae	ハマキモドキガ科	3	3	2	2	2	2	1	2	0	4
Galacticidae	ネムスガ科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
Oecophoridae	マルハキバガ科	20	14	11	17	7	11	5	8	7	24
Stathmopodidae	ニセマイコガ科	8	7	4	5	2	3	3	4	1	10
Xyloryctidae	ヒロバキバガ科	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1
Elachistidae	クサモグリガ科	4	2	1	3	1	2	0	1	0	5
Batrachedridae	ホソキバガ科	4	4	4	4	2	2	1	1	0	4
Coleophoridae	ツツミノガ科	3	3	1	1	0	1	1	1	0	4
Blastobasidae	ネマルハキバガ科	2	2	2	2	1	2	0	0	0	3
Cosmopterigidae	カザリバガ科	12	11	4	5	4	8	1	3	2	16
Lecithoceridae	ヒゲナガキバガ科	10	8	6	8	4	8	3	3	3	14
Gelechiidae	キバガ科	33	26	10	17	9	14	9	13	2	41
Tortricidae	ハマキガ科	93	78	62	77	45	54	31	45	16	109
Alucitidae	ニジュウシトリバガ科	2	1	0	1	1	2	1	1	1	2
Pterophoridae	トリバガ科	6	6	3	3	3	3	2	2	0	6
Carposinidae	シンクイガ科	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1
Subtotal	小計	313	262	147	198	121	172	76	117	53	376

皇居 2005 と皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 自然教育園 2000 との比較

皇居 2005 で採集された科別の出現種数と、皇居 2000, 赤坂御用地 2004, 自然教育園 2000 の科別種数と皇居 2005 との共通種数, それに、常盤松御用邸 2004, 皇居 2000 と皇居 2005 を合計した皇居における総種数と、すべての区を合わせた総種数を Table 1 に示した。

シンクイガ科までの小蛾類では、平野を中心に潜葉性小蛾類を精査し、モグリチビガ科、ツヤコガ

Table 1. つづき

		IPT96-05	IPT2005	(A)	IPT2000	(B)	AIPT2004	(C)	INST2000	TIV2004	(D)
		皇居総計	皇居 2005		皇居 2000		赤坂御用地		自然教育園	常盤松	
Thyrididae	マドガ科	2	1	0	1	0	2	0	1	1	3
Crambidae	ツトガ科	76	64	40	52	38	45	33	40	22	86
Pyralidae	メイガ科	37	26	12	23	8	12	11	18	8	42
Drepanidae	カギバガ科	4	3	3	4	1	3	1	2	0	6
Geometridae	シャクガ科	101	89	67	79	58	75	33	53	19	126
Uraniidae	ツバメガ科	2	2	1	1	1	1	0	0	0	2
Lasiocampidae	カレハガ科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
Bombycidae	カイコガ科	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1
Saturniidae	ヤママユガ科	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1
Sphingidae	スズメガ科	14	10	7	11	6	6	2	3	4	16
Notodontidae	シャチホコガ科	5	4	4	5	2	4	1	2	1	7
Lymantriidae	ドクガ科	5	4	3	4	4	5	3	6	3	7
Arctiidae	ヒトリガ科	7	6	4	5	2	8	2	6	4	14
Nolidae	コブガ科	4	3	2	3	2	2	0	1	1	4
Noctuidae	ヤガ科	184	157	112	139	106	136	52	67	43	212
Subtotal	小計	443	371	256	328	230	301	139	200	107	528
Total	総計	756	633	403	526	351	473	215	317	160	904

皇居総計：皇居全調査 (1996–2004) の採集種数；皇居 2005：本調査 (2000–2005)；皇居 2000：(1996–2000) (大和田ほか, 2000)；赤坂御用地：(2002–2004) (大和田ほか, 2005a)；自然教育園：(1998–2000) (大和田ほか, 2001)；常盤松：常盤松御用邸 (2002–2004) (大和田ほか, 2005b) の科別採集種数と皇居 2005 と各区間の共通種数，(A)：皇居 2005 と皇居 2000. (B)：皇居 2005 と赤坂御用地. (C)：皇居 2005 と自然教育園との共通種数. (D)：1996–2005 に行ったすべての調査の合計採集種数.

Number of collected species in each family of moths on the research sites. IPT96-05: Total number of species of IPT2000 and this survey, 1996–2005 at Imperial Palace. IPT2005: Imperial Palace Tokyo, this survey, 2000–2005. IPT2000: Imperial Palace Tokyo, 1996–2000 (Owada *et al.*, 2000). AIPT2004: Akasaka Imperial Gardens, Tokyo, 2002–2004 (Owada *et al.*, 2005a). INST2000: Institute for Nature Study, Tokyo, 1998–2000 (Owada *et al.*, 2001). TIV2004: Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo, 2002–2004 (Owada *et al.*, 2005b). (A): Number of common species between IPT2005 and IPT2000. (B): Number of common species between IPT2005 and AIPT2004. (C): Number of common species between IPT2005 and INST2000. (D): Total number of species of all research sites, 1996–2005.

科，ムモンハモグリガ科，チビガ科，ホソガ科，コハモグリガ科，カザリバガ科で，約 40 種を皇居 2000 に追加したが，それ以外のほとんどの科では，種数の増加がほとんどないし，共通種数もほとんどが 60% を超えているので，皇居に生息する種を 10 年間の調査でほぼ捕捉したのかもしれない。この中で，マルハキバガ科は皇居 2005 の方が種数が減少し，一方，キバガ科ではかなり増加した。キバガ上科の中で，この 2 科は種数が多いが分類は遅れており，採集したすべてを同定してリストに入れているわけではないので，ほかの科と同列に扱えないと思う。また，一般的傾向として，キバガ科の蛾類は灯火採集において，夜半頃からの飛来が多くなる。皇居のモニタリング調査では，日没後から暗くなる 30 分前までに灯火採集セットを点灯し，その後，2 時間程度の採集を行ったので，キバガ科の蛾類を把握しきれていないものと思われ，それが各調査区での種数のばらつきとなって出ているのかもしれない。

マドガ科以降の大蛾類でも，共通種数はほとんどが 60% を超えているが，大きい科が多いので，それらはまだ種数が増える可能性が高い。しかし，メイガ科では出現種数が皇居 2005 と 2000 で 26 種と

23種で、それほどの変化がないのに、共通種数は11種で、総種数37種の30%にすぎないし、ツトガ科では約50%で、この両科は、まだ十分に調査されたとはいえないであろう。

皇居以外の調査区との比較では、赤坂御用地の蛾類の報告(大和田ほか, 2005a)で指摘したように、調査期間の長さ回数に応じて種数が伸びていることが明瞭に読み取れるが、自然教育園でのヤガ科の出現種数がほかの科に比べて、目立って少ないことが明らかである。

各調査区で1回しか出現しなかった種の割合

調査した皇居や自然教育園、赤坂御用地の森は良好に保たれているとはいえ、限られた面積であり、しかもそれぞれは都会のなかで孤立している。市街地の中で夜間も周囲は暗くならず、灯火採集の条件としては、きわめて悪かったといわざるをえない。5-6月の最適な条件での採集でも、すべての蛾を採集しても150頭程度であったし、100頭に満たないことも多かった。条件が悪ければ50頭以下になることも普通で、10頭未満のときもあった。しかし、これらの森の蛾類の多様性が決して低いことは、それぞれの調査結果を見れば明白である。これは、繰り返して調査を行い、その結果を累積することで調査条件の悪さを克服していったからだと考えられる。

Table 2は、各調査区で1回の調査でしか出現しなかった種数を表にしたものである。10年間の皇居の調査で出現した総種数は756種で、そのうち29%の219種が1回の調査でしか採集されていない。比較できる資料がないので経験的な判断になるが、山地の自然林や二次林での調査で、月1回ほどの蛾類調査を10年間継続すれば、よほどの稀少種か偶発的飛来種以外は複数回採集されるはずである。皇居では小蛾類を綿密に採集しており、1回の調査でしか得られていない種の割合が高いが、小蛾類の種数は多くないので、その影響は少ないと思える。都心の緑地での蛾類調査の困難さが29%という数値に表れているのであろう。

10年間の皇居の調査で、総数が20種を超える科のうち、ホソガ科とキバガ科で1回だけの種の出現率が高いのは、分類が遅れているのですべての標本を同定しきれていないこと、また、幼虫を採集するときも1度採集したものについては、その後の飼育のこともあり、採集を控える傾向にあるからだろう。これは、科別20種以下の小蛾類についてもいえることで、定量的な調査でないので、やむをえないことかもしれない。一方、小蛾類でもハマキガ科は調査回数の少ない自然教育園2000から赤坂御用地2004、皇居2000と皇居2005と出現率が下がっており、皇居総計では28%で、全体の29%とほぼ一致しているので、同様の傾向にあるシャクガ科やヤガ科とともに、ばらつきの少ない調査が行えたものと思われる。

ツトガ科とメイガ科の出現率は、皇居での調査はハマキガ科などと同様の結果となっているが、自然教育園と赤坂御用地で違った様相が見える。すなわち、自然教育園の出現種数が調査回数割りに多いことと、赤坂御用地での逆に少ない傾向にあり、1回しか出現しない種の率は自然教育園が高く、赤坂御用地では極端ともいえるくらい低い。この2科は、従来メイガ科として扱われていたもので、両者の合計で計算したとしても、順に皇居総計: 40/113 (35%); 皇居2005: 31/80 (38%); 皇居2000: 29/75 (38%); 赤坂御用地: 12/57 (21%); 自然教育園: 24/57 (42%)で、この関係は変化しない。これは、自然教育園ではメイガ上科の種類が多い割に採集個体数が少なく、逆に赤坂御用地では種類が少ない割に採集個体数が多かったということである。この違いが、どのような状況で生じたかを知るには、さらに詳しい調査が必要と思われる。自然教育園には水生植物園があり、湿地や陽地の草本が多いので、草地性のメイガ上科の蛾が多く生息することは予想できる。

出現種数の項でも指摘したことだが、自然教育園のヤガ科の衰退が1回だけしか出現しなかった種の割合の高さにも表れていると思われる。ヤガ科で出現した67種のうち、1回の調査でしか採集されなかったものは49種で、73%と高率であった。全体では61%であるので、ヤガ科における出現率の高さが全体の出現率をも押し上げる結果となったと判断していいだろう。自然教育園においては、ヤ

Table 2. 各区の調査で1回しか出現しなかった種の数。
Number of species collected only once in each research site.

		IPT96-05 皇居総計	IPT2005 皇居 2005	IPT2000 皇居 2000	AIPT2004 赤坂御用地	INST2000 自然教育園
Num of investigation	調査回数	143	80	63	31	21
Hepialidae	コウモリガ科	1/1 (100%)	0/0 (—)	1/1 (100%)	0/0 (—)	1/1 (100%)
Nepticulidae	モグリチビガ科	4/12 (33%)	6/12 (50%)	2/2 (100%)	1/1 (100%)	2/2 (100%)
Adelidae	ヒゲナガガ科	0/3 (0%)	1/3 (33%)	1/3 (33%)	1/2 (50%)	0/1 (0%)
Heliozelidae	ツヤコガ科	1/2 (50%)	1/2 (50%)	0/0 (—)	1/2 (50%)	0/0 (—)
Tischeriidae	ムモンハモグリガ科	2/3 (67%)	1/2 (50%)	1/1 (100%)	1/2 (50%)	1/1 (100%)
Psychidae	ミノガ科	2/3 (67%)	0/1 (0%)	2/2 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)
Tineidae	ヒロズコガ科	3/17 (18%)	6/14 (43%)	3/8 (38%)	7/10 (70%)	6/6 (100%)
Bucculatricidae	チビガ科	3/3 (100%)	3/3 (100%)	0/0 (—)	0/0 (—)	2/2 (100%)
Lyoniidae	ハモグリガ科	1/1 (100%)	0/0 (—)	1/1 (100%)	3/4 (75%)	0/0 (—)
Gracillariidae	ホソガ科	11/32 (34%)	10/28 (36%)	8/13 (62%)	9/13 (69%)	3/5 (60%)
Phyllocnistidae	コハモグリガ科	4/6 (67%)	3/5 (60%)	1/1 (100%)	3/3 (100%)	0/0 (—)
Acrolepiidae	アトヒゲコガ科	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)
Yponomeutidae	スガ科	1/6 (17%)	0/5 (0%)	1/4 (25%)	1/4 (25%)	2/4 (50%)
Argyresthiidae	メムシガ科	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)	1/1 (100%)	0/0 (—)
Glyphipterigidae	ホソハマキモドキガ科	0/7 (0%)	1/6 (17%)	3/6 (50%)	4/5 (80%)	3/3 (100%)
Zygaenidae	マダラガ科	2/4 (50%)	2/4 (50%)	2/2 (100%)	0/2 (0%)	0/0 (—)
Epipyropidae	セミヤドリガ科	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)	1/1 (100%)	0/0 (—)
Limacodidae	イラガ科	1/4 (25%)	1/4 (25%)	1/3 (33%)	0/2 (0%)	0/2 (0%)
Sesiidae	スカシバガ科	0/4 (0%)	0/3 (0%)	0/3 (0%)	3/4 (75%)	1/2 (50%)
Choreutidae	ハマキモドキガ科	0/3 (0%)	0/3 (0%)	1/2 (50%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)
Galacticidae	ネムスガ科	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)
Oecophoridae	マルハキバガ科	5/20 (25%)	5/14 (36%)	5/17 (29%)	3/11 (27%)	4/8 (50%)
Stathmopodidae	ニセマイコガ科	2/8 (25%)	3/7 (43%)	4/5 (80%)	3/3 (100%)	3/4 (75%)
Xyloryctidae	ヒロバキバガ科	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/0 (—)
Elachistidae	クサモグリガ科	2/4 (50%)	1/2 (50%)	3/3 (100%)	0/2 (0%)	0/1 (0%)
Batrachedridae	ホソキバガ科	0/4 (0%)	1/4 (25%)	2/4 (50%)	0/2 (0%)	1/1 (100%)
Coleophoridae	ツツミノガ科	2/3 (67%)	3/3 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)	1/1 (100%)
Blastobasidae	ネマルハキバガ科	0/2 (0%)	0/2 (0%)	1/2 (50%)	1/2 (50%)	0/0 (—)
Cosmopterigidae	カザリバガ科	4/12 (33%)	3/11 (27%)	2/5 (40%)	5/8 (63%)	1/3 (33%)
Lecithoceridae	ヒゲナガキバガ科	3/10 (30%)	1/8 (13%)	4/8 (50%)	4/8 (50%)	3/3 (100%)
Gelechiidae	キバガ科	14/33 (42%)	13/26 (50%)	6/17 (35%)	9/14 (64%)	7/13 (54%)
Tortricidae	ハマキガ科	26/93 (28%)	23/78 (29%)	26/77 (34%)	23/54 (43%)	25/45 (56%)
Alucitidae	ニジュウシトリバガ科	1/2 (50%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/2 (50%)	1/1 (100%)
Pterophoridae	トリバガ科	2/6 (33%)	2/6 (33%)	0/3 (0%)	0/3 (0%)	2/2 (100%)
Carposinidae	シンクイガ科	1/1 (100%)	1/1 (100%)	0/0 (—)	0/0 (—)	1/1 (100%)
Subtotal	小計	98/313(31%)	92/262(35%)	82/198 (41%)	87/172(51%)	72/117(62%)

ガ科の出現種数が少なく、しかも、ほかの科に比べて採集個体数も少なかった結果である。自然教育園の面積は約 20 ha で、赤坂御用地の約 51 ha の半分以下、皇居 115 ha の 17% ほどにすぎない。交通量の多い首都高速道路に接しているし、皇居や赤坂御用地に比べると生態的に不安定になる要素が多いと思われる。

Table 2. つづき

		IPT96-05 皇居総計	IPT2005 皇居 2005	IPT2000 皇居 2000	AIPT2004 赤坂御用地	INST2000 自然教育園
Thyrididae	マドガ科	1/2 (50%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	1/2 (50%)	1/1 (100%)
Crambidae	ツトガ科	22/76 (29%)	16/64 (25%)	18/52 (35%)	11/45 (24%)	17/40 (43%)
Pyalidae	メイガ科	18/37 (49%)	15/26 (58%)	11/23 (48%)	1/12 (8%)	8/18 (44%)
Drepanidae	カギバガ科	1/4 (25%)	2/3 (67%)	3/4 (75%)	2/3 (67%)	1/2 (50%)
Geometridae	シャクガ科	19/101(19%)	22/89 (25%)	27/79 (34%)	35/75 (47%)	34/53 (64%)
Uraniidae	ツバメガ科	0/2 (0%)	0/2 (0%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	0/0 (—)
Lasiocampidae	カレハガ科	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)	0/0 (—)
Bombycidae	カイコガ科	0/1 (0%)	0/1 (0%)	0/0 (—)	0/1 (0%)	1/1 (100%)
Saturniidae	ヤママユガ科	0/1 (0%)	0/1 (0%)	1/1 (100%)	0/1 (0%)	0/0 (—)
Sphingidae	スズメガ科	6/14 (43%)	3/10 (30%)	7/11 (64%)	1/6 (17%)	1/3 (33%)
Notodontidae	シャチホコガ科	1/5 (20%)	1/4 (25%)	3/5 (60%)	2/4 (50%)	2/2 (100%)
Lymantriidae	ドクガ科	2/5 (40%)	2/4 (50%)	1/4 (25%)	2/5 (40%)	3/6 (50%)
Arctiidae	ヒトリガ科	4/7 (57%)	3/6 (50%)	3/5 (60%)	6/8 (75%)	5/6 (83%)
Nolidae	コブガ科	1/4 (25%)	2/3 (67%)	0/3 (0%)	1/2 (50%)	1/1 (100%)
Noctuidae	ヤガ科	48/184(26%)	51/157(32%)	44/139(32%)	46/136(34%)	49/67 (73%)
Subtotal	小計	123/443(28%)	118/371(32%)	119/328(36%)	108/301(36%)	123/200(62%)
Total	総計	221/756(29%)	210/633(33%)	201/526(38%)	195/473(41%)	195/317(62%)

各調査区において1回しか採集されなかった種の科別種数. 調査区の略記は Table 1 と同様. 1回しか採集されなかった種数/全確認種数 (割合).

Number of species collected only once in each family. Acronyms as in Table 1. Number of species collected only once/Total number of species (Percentage).

10年間の調査期間中に目立った発生の変化があった種

1) ビロードハマキの大発生とその終息

本種は昼行性の大型ハマキガで、近畿以西の西日本では多産地が多く知られていたが、関東地方では千葉県からの記録だけであった (川辺, 1982). 年2回発生し、幼虫で越冬する. 越冬世代の幼虫はツツジ科のアセビやブナ科のカシ類など常緑広葉樹につき、夏世代の幼虫はカエデ科のイロハモミジなど落葉樹につくという (保田, 1973). 典型的な暖温帯照葉樹林の蛾といえよう.

神奈川県では1985年に真鶴で採集され、その後、横浜、鎌倉、逗子、横須賀で記録され、最近では厚木、綾瀬、川崎など内陸部にも分布を広げているという (中島・山本, 2004). 東京都区部からは、皇居で1997年に雌成虫が捕獲され、次いで1999年にヤマモモの葉を綴った越冬幼虫が発見されて、皇居での発生が確認された (大和田ほか, 2000) ほか、同年、自然教育園でも幼虫がタブノキから採集された (大和田ほか, 2001). その後の皇居や赤坂御用地での発生の増加と、2003年と2004年の大発生に至る経緯は、大和田ほか (2005a, b) に詳述してあるが、ここでは概略を以下にまとめる.

皇居では2001年から成虫が採集されはじめ、幼虫の発見も容易になっていった. 2003年の春には、2-3枚の葉を綴り合せた独特の巣が至る所で見られるようになり、初夏の大発生が予想された. この年の成虫の発生量は5-6月と9月の世代ともに大発生と呼べる状況で、赤坂御用地でも同様の発生があった. 2004年の春の越冬幼虫の巣は、前年と同様に多数見られ、5-6月の成虫の発生量も変わらず多かった. 2004年9月16日の調査では、成虫を採集していないが、かなりの数を目撃しており、とくに発生が減っているとは感じなかった.

ところが、2004年の冬から2005年の早春にかけて、キリガ類とフユシャクガ類の調査のかたわら、

本種の越冬巣を注意して探したが、ほとんど発見することができなかった。このように、2005年5-6月世代の発生が少なくなることが予想されたので注意して探索したが、成虫が飛び出すことは数えるほどしかなく、斉藤洋一氏によって、吹上御苑で6月21日に1♂、下道灌濠で6月28日に1♀、また、皇居内で9月13日に1♂と、合計3個体が採集されただけであった。この大発生の終息は、おそらく2004年の9月の成虫世代以降にはじまったものと推定できるが、原因を特定することは困難である。越冬している幼虫がほとんどいなかったことから考えると、少なくとも冬の低温というような気候変動ではないだろう。原因がいずれにせよ、ピロードハマキは皇居から消滅したわけではなく、2000年から2001年の低密度に戻ったのかもしれない。皇居や赤坂御用地で、将来、再び大発生が繰り返されるかどうか、興味深い。

大発生の終息の要因として考えられるものは、寄生蜂などの天敵の増加であろう。本調査では、越冬中の幼虫巣を探して飼育したが、寄生蜂や寄生バエが出てくることは少なかった。また、落葉広葉樹につくという夏の幼虫世代は、注意して探索したにもかかわらず、落葉樹からは発見できず、常緑のクスノキについての幼虫を飼育したにすぎない。夏世代の幼虫は、樹冠部など、発見しにくい場所に潜んでいるのかもしれない。

本種の幼虫はきわめて多食性で、さまざまな常緑樹についていた。10年間の皇居と赤坂御用地の調査で確認した11科17種の食草を以下に列記する。

ツバキ科：ヤブツバキ、サザンカ、チャノキ、サカキ。モクセイ科：ネズミモチ。ブナ科：マテバシイ、スダジイ。クスノキ科：ヤブニッケイ、タブノキ、クスノキ。モチノキ科：ソヨゴ。スイカズラ科：サンゴジュ。ツツジ科：アセビ。ウコギ科：ヤツデ。ヤマモモ科：ヤマモモ。アケビ科：ムベ。トウダイグサ科：ユズリハ。

2) キアシドクガの増加

キアシドクガはミズキ科のミズキやクマノミズキを食樹とし、ときに大発生をすることがある（山本, 1987）。成虫は昼行性で、関東地方南部では5月下旬から6月上旬に食樹の周囲を飛び回り、発生を確認することは容易である。本種は皇居2000では発見されなかった。自然教育園でも発生時期に調査を行っていたが採集していなかったが、2001年にはかなりの量が発生し、矢野 亮氏が5月22日採集した1♂1♀を記録している（大和田ほか, 2001）。2002年以降も自然教育園では大発生が続いており（大和田ほか, 2005a）、園内のミズキに甚大な被害が出ている（矢野・桑原, 2006）。赤坂御用地では2002年から2004年まで継続して発生を見ているが、とくに多く発生したという印象はない。

今回の皇居のモニタリング調査では、2001年5月25日に上道灌濠で、昼間と灯火採集で雌を採集した。翌2002年は吹上御苑で雄を採集しているが、ほとんど発生していないという状況であった。2003年は本種の発生時期に昼間の調査を行っていない。2004年6月3日の調査で雌を採集しているが、この時も多数が群飛する光景は見られなかった。ところが、2005年6月1日には皇居内の多くの場所で、多数の群飛を観察することができた。とくに多かったのは紅葉山下の下道灌濠、道灌濠新道の大道庭園下、吹上御苑大宮御所裏から果樹園にかけてであった。5年間大発生が続いた自然教育園では、2005年には葉がすべて幼虫に食われてなくなってしまう木が多数出ているが、皇居ではそれほどの被害は出ていない。これからの発生の推移は、ミズキの食害状況とともに注意する必要があるだろう。

大発生の続く自然教育園では、発生した大量の幼虫が葉を食い尽くし、食糧不足となって大変小型の個体が飛ぶようになった。極限の飢餓状態といえるかもしれない状態で発生した自然教育園の個体のサイズと、十分に葉のある状態で成長している皇居の個体のサイズを比較する目的で、2005年6月1日の皇居では、できる限り多数を採集しようと試み75♂9♀を得ることができた。明らかに皇居の個体が自然教育園のものより大きかったが、この比較結果は改めて別に報告する予定である。なお、1週

間後の6月7日も大和田が本種の発生状況を見たが、このときはもう雄の群飛を見ることはできず、発生は末期となっていたものと思える。

3) コケガ類の侵入

1988年8月、皇居内濠池水生昆虫相調査の灯火採集で、ヒトリガ科コケガ亜科のホシホソバ1♂1♀が採集されている。しかし、その後の皇居2000ではコケガ亜科の蛾は1頭も採集されなかった。地衣類やおそらく藻類も主要な食物としていわれるこの亜科の蛾は、平地から亜高山帯までほとんどの環境で優先種となるほど個体数が多い。皇居におけるコケガ亜科の蛾の欠落は、現在の皇居の蛾類相を特徴づける重要な要素として位置づけられ、大気汚染による環境の悪化の影響が示唆された(大和田ほか, 2000)。

一方、自然教育園の調査では調査期間・回数共に皇居2000よりはるかに少なかったにもかかわらず、4種4個体が採集された。また、赤坂御用地でも5種9個体、常盤松御用邸ですら2種7個体が採集されている。皇居の地衣や蘚苔類の生息状況は大変豊かであると評価されている(樋口・古木, 2000; Kashiwadani & Thor, 2000)。自然教育園や赤坂御用地に比べてとくに劣っているとは考えられないので、皇居におけるコケガ類の欠落の要因は、植生の違いではないと推察される。

自然教育園の生態系特別調査で、陰地性の地衣類や樹上性の蘚苔類の植生が回復しているという報告がなされている(柏谷ほか, 2001; 樋口, 2001)。20世紀末に至って、東京都心部の大気汚染はかなり改善されたと、地衣や蘚苔類植生の回復からも判断されよう。しかし、1950年代から1970年代末にかけての蘚苔類のダメージは激しく、20年間に自然教育園の蘚苔類は半数以上が姿を消したという(中村ほか, 1979)。この現象は大気汚染によって引き起こされたものと考えられるので、地衣類でも同様であったろうし、また、自然教育園だけでなく、東京都区部全体に影響を受けたはずである。植生のもっとも豊かな皇居で *Pelosia* 以外のコケガ類が完全に欠落したということから、一時的に東京都区部でコケガ類がほとんど消滅した時期があったと推定できる。

皇居のモニタリング調査でコケガ類が再発見されたのは2001年7月11日で、ヒメクロスジコケガの雌であった。この種は1988年に採集されているホシホソバと同属 *Pelosia* で、日本ではあまり採集例がない種である(井上, 1982)。調査最終年の2005年9月14日、下道灌濠での灯火採集でもヒメクロスジホソバの雌雄1頭ずつを採集している。このペアは、同時に採集されたものであるし、飛び古していなかったので、下道灌濠で発生した可能性が高い。本種はホシホソバとともに、河川敷や沼沢地に生息する蛾なのかもしれないし、道灌濠の周辺で細ぼそと発生を続けていたのかもしれない。

普通の林に発生するコケガ類が皇居で採集されたのは2004年6月3日であった。羽化したばかりの新鮮なハガタバニコケガの雄で、吹上御苑覆馬場跡で灯火採集に飛来した。この個体も、おそらく皇居内で発生したものと思われるが、その後もコケガ類は採集されていないので、皇居での完全な定着はこれからになるのであろう。皇居以外の周囲の緑地ですでに発生をはじめていると考えられるコケガ類が、遅れて皇居で発生しつつあるということは、皇居にコケガ類の侵入を妨げるものがあるからであろう。考えられる唯一の障壁は、皇居を囲む濠の存在である。

皇居を囲む桜田濠や半蔵濠など12濠のうち、大きな濠で水面の幅は100m、土手の部分を入れると150mの距離がある。また、東御苑側や北の丸公園を囲む濠では50mの幅がある。この距離を超えることができるかどうかは、蛾の飛翔能力や、風に乗って流されやすいかどうかなど、さまざまな条件によって決まるのであろう。小型で体が細く、翅が比較的広いコケガ類の飛翔能力は、それほど高いとは思われないし、長距離移動をしたという例も報告されていないので、風に乗って流される潜在能力もあまりないものと考えられる。もともと都区内で一度消滅したコケガ類が、大気汚染の改善とともに都区内に再び侵入して定着をはじめた時期に、皇居の周囲の濠を越えて、皇居内に侵入するチャンスがなかなか来なかったものと思われる。

蛾類相からみた皇居の植生の成熟度

10年間の継続した蛾類調査で、皇居の蛾類相はかなり正確に把握できたものと考えられるが、灯火採集によって得られる蛾類は偶然の要素があり、皇居で発生しているかどうかの判断が難しい種もある。一方、冬期のフユシャクガ類や糖蜜採集で得られたキリガ類は長距離移動をする種はなく、採集されれば、そこに生息していることは確実である。また、フユシャクガ類の関東地方の平野部での調査は綿密に行われており(中島, 1998)、冬のキリガ類も、平地での調査記録がかなりあるので(石塚, 1968; 大和田, 1975; Yamazaki, 1998)、植生と生息する蛾類の関係がかなり把握できているグループであるので、これらの中から、注目すべき種を取り上げる。

1) ヒロバフユエダシャク

本種は、本州と九州に分布するが、東北地方では岩手県で氏家(1966)によって幼虫の飼育記録があるほか、福島から記録されているに過ぎない(鈴木, 1995)。関東以西では東京、群馬、埼玉、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知の各県と大阪府から記録がある。九州では熊本、鹿児島各県で得られているし、東京都では高尾山、文京区、八王子市滝山公園から記録がある(中島, 1998)。

皇居では毎年、2月から3月上旬にかなり発生しており、赤坂御用地でも2月を中心に多数が採集され、自然教育園も多い。増山(1991)によって記録された文京区関口は、神田川の北側斜面にあり、江戸川公園、椿山荘、江戸時代の庭園を残した新江戸川公園などがある一帯で、クスノキ、スダジイ、シラカシなどの照葉樹を主体に、モチノキやサクラ類、カエデ類などの庭園木が多く、ケヤキの大木が突き出して、皇居や赤坂御用地、自然教育園に似た森がある。同所では、交尾ペアと1♂が1991年3月1-2日に得られているし、その後も本種は同所で少なからず採集されているので(増山, 私信)、ここでも確実に生息しているものと考えられる。

ところが本種は、いわゆる『武蔵野の雑木林』と呼ばれる、コナラやクスギを主体とした落葉広葉樹林には生息していない。そのような環境には多くのフユシャクガ類が生息するが、典型的な雑木林が広がる多摩丘陵(標高150m)や狭山湖(150m)では、綿密な採集調査が行われているにもかかわらず本種は採集されていない。神奈川県においても同様で、フユシャクガ類の多産地として知られる相模原市大沼(90m)ではまったく採集されないが、高尾山に近い津久井町城山(150m)と、照葉樹林に覆われた高麗山のある湘南平(200m)には生息している。

本種の幼虫は比較的広食性でカシワ、サクラ類、ズミ、リンゴなど、ブナ科やバラ科の植物につくことが多いので、食草が本種の分布を直接制限していることはないと思われる。皇居や赤坂御用地の標高は10-30mであるので、本種を山地性ということもできない。岩手県のリンゴに発生しているのであるから、照葉樹林の蛾ともいえない。しかし、関東地方南部の本種の分布傾向をみると、常緑広葉樹が多い森で、人為的な植栽であってもサクラ類やカエデ類などが混交する環境が浮かび上がってくる。『武蔵野の雑木林』は、薪炭林として利用し、落ち葉を腐葉土として肥料にする目的で作られた、きわめて人工的な林である。そういう林にはほとんど出現しない本種の生態的地位がどのようなものであるかはまだ不明であるが、本種が生息する皇居や自然教育園、赤坂御用地の森が、高尾山や高麗山の自然林に近い状態に、遷移が進んでいる証拠と思われるし、文京区関口の森も、それに近い状態に保たれているということであろう。

フユシャクガ類は、冬期に成虫が活動することとともに、雌成虫の翅が退化して飛翔能力が欠如しているものと定義されている。したがって、この仲間の移動・分散は、若齢幼虫が風に運ばれて成立するものと思われる。翅のないクモが糸を出して風に乗って長距離を移動することが知られているが、フユシャクガ類の幼虫も糸を出して飛ぶことができるのであろう。同様の現象は雌が無翅で、ミノの中に大量の卵を産むオオミノガなどでも観察されている。関東地方南部の低山地の自然植生に依存する本種が周囲にある落葉樹主体の雑木林に定着できないのは、幼虫が移動できないのではなく、

定着に必要な何らかの条件が雑木林に欠如しているからと考えられる。では、高尾山や湘南平の高麗山から、周囲に広がる雑木林や市街地を飛び越えて、都区部の緑地に幼虫が到達できるであろうか。数十万年レベルの地史的年代の中であらともかく、普通にはありえないことと判断して良いであろう。

東京都都区部に生息するヒロバフユエダシヤクは、江戸時代あたりまでは都心部や周辺の緑地に広く生息しており、現在は皇居など、豊かな自然の残った緑地に遺存的に生存し続けている可能性が高いと考えられる。もう一つの可能性は、樹木の移植や、土壌の搬入によって本種が外部から持ち込まれ、好適な生息環境の皇居で発生し続けることができた、というものである。しかし、本種は都区部の孤立した大型緑地である皇居、赤坂御用地、自然教育園、それに文京区関口に生息しており、樹木の移植や土壌の搬入などで、これらの緑地すべてにヒロバフユエダシヤクが侵入できるとは思えないし、幼虫による分散も、皇居と赤坂御用地間なら可能性を否定できないが、飛び離れた自然教育園や文京区関口まで考慮に入れると、その可能性はきわめて低いといわざるを得ない。

このようにして都区部の大型緑地に残り残されてしまった蛾類は、おそらく本種だけではないであろう。皇居 2000 の調査から注目していたシャチホコガ科のクシヒゲシャチホコもその一つと考えられる(大和田ほか, 2000, 2005a)。この蛾も、晩秋から初冬にかけて成虫が発生する。皇居と赤坂御用地では、発生個体数は少なくない。興味深いことに、この蛾は自然教育園では発生していなかった。12月が発生のピークで、同園では12月に2回の調査を行ったが、本種は採集できなかった(大和田ほか, 2001)。2004年12月15日に改めて自然教育園で本種の発生を調べたが、飛翔個体を目撃することすらできなかった。この調査の前後、12月10日と12月20日には皇居で蛾類の調査を行っているが、両日とも、多数のクシヒゲシャチホコが飛んでいた。本種の食草はカエデ類で、自然教育園にも多数が生えているので、何らかの理由で本種が自然教育園では絶えてしまい、外部からの補充がないまま、現在に至ったものと考えられる。

2) 冬期に活動するキリガ類(ヤガ科)群集

冬期だけに成虫が活動するヤガ科のキリガ類は、一つのまとまった分類群ではなく、生活環が一致した複数の分類群から成り立っており、シャクガ科のフユシヤクガ類も同様である。皇居や赤坂御用地におけるこれら蛾類の多様性はきわめて高く、多摩丘陵のそれに匹敵するといっても過言ではなく、これまでの報告でもこのことを強調してきた(大和田ほか, 2000, 2005a)。また、それに比べて自然教育園のキリガ類の多様性が目立って低いことも指摘している(大和田ほか, 2001)。今回の皇居のモニタリング調査においても、キリガ類は19種が採集されており、皇居の多様性は保持されていると思われる。各緑地と調査期間別に出現種数をまとめたのが Table 3 である。

キリガ類は、糖蜜によって誘引して採集するほか、晩秋はサザンカ、冬期はヤブツバキ、早春はキブシやヒサカキ、ウメに訪花したものを採集することもある。この調査も気象条件に影響されるが、灯火採集と同様に回数が増えれば採集種数も増えるので、調査回数を考慮しないと出現種数を比較することはできない。これまでの調査では、冬期に皇居 2000 では 26 回、自然教育園で 8 回、赤坂御用地で 14 回、常盤松御用邸で 3 回採集を行っており、今回のモニタリング調査では 35 回である。また、赤坂御用地と常盤松御用邸では、マレーズトラップを1年間仕掛け、1-3週間おきに捕獲された昆虫を回収している。冬期は1シーズンであるが、このトラップに入ったキリガ類も記録している。赤坂御用地では出現したキリガ類 17 種のうち、マレーズトラップでしか採集されなかった種はミツボシキリガとウスキトガリキリガの 2 種であった。また、常盤松御用邸では出現 6 種のうち 4 種がマレーズトラップだけで採集されている。

これだけ調査回数や方法に違いがあるので、結果の出現種数をそのまま比較することはできない。しかし、自然教育園の調査をしている印象では、気候条件がそれほど悪いとは思えない日でも、飛

Table 3. 冬に活動するキリガ類（ヤガ科）の緑地別分布表. ○: 分布; -: 未発見.
Distribution of winter noctuid moths in urban green tracts of Tokyo. Acronyms as in Table 1.

	皇居 2005 IPT2005	皇居 2000 IPT2000	赤坂御用地 AIG2004	自然教育園 INS2000	常盤松御用邸 TIV2004
カギモンヤガ <i>Cerastis pallescens</i>	○	○	○	-	○
クロスジキリガ <i>Xylopolia bella</i>	○	○	-	-	-
スモモキリガ <i>Anorthoa munda</i>	○	○	○	-	-
ホソバキリガ <i>A. angustipennis</i>	○	○	-	-	-
カバキリガ <i>Orthosia evanida</i>	○	○	○	-	-
クロミミキリガ <i>O. lizetta</i>	○	○	-	-	-
ブナキリガ <i>O. paromoea</i>	○	-	-	-	-
クロテンキリガ <i>O. fausta</i>	○	○	○	-	○
チャイロキリガ <i>O. odiosa</i>	○	○	○	-	-
ナカオビキリガ <i>Dryobotodes intermissa</i>	-	-	○	-	-
キバラモクメキリガ <i>Xylena formosa</i>	○	○	○	○	○
ミツボシキリガ <i>Eupsilia tripunctata</i>	-	○	○	-	-
ヨスジノコメキリガ <i>E. quadrilinea</i>	○	○	○	○	-
チャマダラキリガ <i>Rhynchaglaea scitula</i>	○	○	○	○	○
クロチャマダラキリガ <i>R. fuscipennis</i>	○	○	○	-	○
キマエキリガ <i>Hemiglaea costalis</i>	-	○	○	-	-
スギタニモンキリガ <i>Sugitania lepida</i>	○	○	○	-	-
フサヒゲオビキリガ <i>Agrochola evelina</i>	○	-	-	-	-
カシワオビキリガ <i>Conistra ardescens</i>	○	○	-	○	-
ナワキリガ <i>C. nawae</i>	○	○	○	○	-
ホシオビキリガ <i>C. albipuncta</i>	○	○	○	-	-
イチゴキリガ <i>Orbona fragariae</i>	-	○	-	-	-
ウスキトガリキリガ <i>Telorta acuminata</i>	-	○	○	-	-
ノコメトガリキリガ <i>T. divergens</i>	○	○	○	-	○
計 24 種	19	21	17	5	6

来数は極端に少なかった。また、2シーズンの調査は赤坂御用地と同じである。赤坂御用地の14回の調査では17種を出しており、35回もの調査を行った皇居2005で19種の出現であるから、多様性の高い場所では、10回前後の調査である程度の種数は出せるものと思われる。この点からも、自然教育園のキリガ類の多様性は、かなり低いものと判断できる。

植生の構成樹種に関しても、コナラ林を少し残してはいても自然教育園がもっとも庭園や里山的な要素を含まない照葉樹林となっていると思われる。その分だけキリガ類の多様性は低くなっているのかもしれない。ノコメトガリキリガは晩秋の蛾で、皇居や赤坂御用地にたくさん飛んでいる。これは本種の幼虫がウメやモモの花を食べるからで、赤坂御用地の梅林にかけたマレーズトラップに成虫が大量に入っていたし（大和田ほか、2005a）、常盤松御用邸でも1個体がかかっていた（大和田ほか、2005b）。自然教育園で本種が採集されなかったのは当然のことかもしれない。このように、植生の違いによる多様性の相違とともに、自然教育園の面積が皇居や赤坂御用地に比べてはるかに狭いことも、多様性の低さの要因に数えられると思う。

落葉広葉樹が主体となる『武蔵野の雑木林』にはヒロバフユエダシヤクが生息しないことを指摘し

たが、そのような雑木林に生息するキリガ類の一部が皇居や赤坂御用地にほとんどいないことも重要視すべきであろう。皇居 2000 でミヤマオビキリガ *Conistra grisescens* とフサヒゲオビキリガの 2 種を挙げた(大和田ほか, 2000) が、後者は皇居 2005 で 1 個体が採集され、皇居にも生息していることが確認された。フサヒゲオビキリガは落葉樹の雑木林に多産することが知られているが(大和田, 1975), この蛾は八王子市高尾山, 神奈川県大磯町高麗山, 東大阪市枚岡公園, 神戸市布引の滝など、常緑広葉樹が多い林でも採集されているので、皇居に生息していても不思議ではないと思われる。

しかし、もう一方のミヤマオビキリガは、これまでの都区部緑地での蛾類調査でまったく採集できなかった。本種が多産する林は東京都狭山丘陵・多摩丘陵, 長野県西箕輪村など典型的な落葉広葉樹林で、カシワオビキリガとともに雑木林の代表的キリガとされている(大和田, 1975)。カシワオビキリガの方は赤坂御用地では採集されていないが、皇居と自然教育園で少数が採集されているので、コナラやクヌギが少し残っていれば、照葉樹林にも生息できるのであろう。赤坂御用地の森には数本のコナラとカシワが孤立してあるが、クヌギは 1 本もなく、雑木林的な要素がもっとも欠落している。一連の都区部の大型緑地の調査で、里山的落葉広葉樹林を代表するキリガがミヤマオビキリガであることが明白になったと考えられる。また、それに次ぐ種はカシワオビキリガとフサヒゲオビキリガで、これに少数しか採集されなかったイチゴキリガとホシオビキリガも含めることができると思う。

皇居の森を特徴づけるキリガ類はどのようなものであろうか。最優先種はヨスジノコメキリガであるが、この蛾は関東地方南部でも優先種の一つに数えられ、落葉広葉樹の雑木林にも、常緑広葉樹が多い自然林にもたくさん飛んでいる。10 年間の都区部の大型緑地の蛾類調査でも、皇居以外に自然教育園、赤坂御用地に出現しているので、当然生息しておかしくない種と考えられる。同様にキバラモクメキリガもすべての緑地で出現し、常盤松御用邸でもマレーズトラップに入っているの、これらをもって都区部の緑地を特徴づけるキリガ類とはいえないであろう。

皇居で、ヨスジノコメキリガに次いで個体数の多いキリガはナワキリガである。本種は落葉広葉樹林に多いミヤマオビキリガやカシワオビキリガと同属の *Conistra* であるが、本種のみが常緑広葉樹林に生息している(大和田, 1975)。本種は赤坂御用地でも優先種ではないが多数が採集されているし、自然教育園ではキリガ類のなかでもっとも多く(5 頭)採集されている。本種は、ヒロバフユエダシヤクと同様に落葉広葉樹だけの雑木林には生息していないので、皇居の森を特徴づけるキリガ類は常緑広葉樹林の蛾といえよう。

常緑広葉樹林に特徴的に出現するキリガ類がとして、*Rhynchaglaea* 属の 2 種、チャマダラキリガとクロチャマダラキリガが挙げられている(大和田, 1975)。日本特産とされていたこの 2 種は近年、相次いで韓国南部で発見された(Kononenko *et al.*, 1998; Sohn *et al.*, 2005)。この両種の国立科学博物館所蔵の全標本データは Owada *et al.* (2006) に出してあるが、そこから両種の分布傾向が異なることを読み取ることができる。すなわち、チャマダラキリガがより強く常緑広葉樹林に依存し、クロチャマダラキリガは落葉広葉樹林でも、常緑広葉樹が侵入している林なら生息が可能である。関東地方南部では、クロチャマダラキリガは茨城県守谷町や、さいたま市の秋ヶ瀬公園など河川敷の林でも採集されているが、チャマダラキリガはそのような環境では発見されていない。また、東京都の狭山丘陵や青梅市のアラカシの混ざる雑木林では、圧倒的にクロチャマダラキリガが優勢である。両種の勢力が拮抗するのは神奈川県大磯町の高麗山で、常緑広葉樹が優先した森である。近畿地方から九州にかけては、落葉広葉樹がどの程度混在するかで両種の関係は決まるように思う。しかし、琉球列島においては明らかにチャマダラキリガが優勢で、奄美大島ではチャマダラキリガが多産するがクロチャマダラキリガはまったく採集されず、沖縄島ではチャマダラキリガはかなり採集されているのにクロチャマダラキリガは少ないし、八重山諸島の西表島ではチャマダラキリガのみを産する(Owada *et al.*, 2006)。皇居ではチャマダラキリガは総計で 6 頭採集され、クロチャマダラキリガは 13 頭でほぼ 2 倍の差があった。また、赤坂御用地では 4 頭対 20 頭で、クロチャマダラキリガが 5 倍の優勢で

あった。この両種の関係は、それぞれの緑地の遷移や管理の違いで、今後とも変化していくものと考えられる。

幼虫がツバキの花を食べるスグタニモンキリガが、皇居で増加していることも重要視しないといけないだろう。1997年12月16日に1♀が吹上御苑で糖蜜に誘引された。その後、2001年12月に1♂が追加されたただけであったが、2005年11月30日には2♂1♀、12月27日にも1♀を採集した。これらのなかには糖蜜に誘引された個体が1頭いたが、ほかはすべてサザンカの花で吸蜜していたもので、採集しなかった個体も数頭を数えている。また、調査時の条件が好適であったこともあるが、赤坂御用地では本種は多産するといってもよく、2シーズンで18頭を採集している。皇居と赤坂御用地の本種の個体数の差は、ツバキ類の植栽量の差ととらえることができるかもしれない。皇居吹上御苑では、大きく成長したヤブツバキが点在するだけであるが、赤坂御用地では庭園の小径にツバキ類が垣根状に植えられている場所もあり、明らかにツバキ類の植栽が多いと思う。

皇居や赤坂御用地、それに自然教育園などは城や大名の下屋敷、庭園や菓草園などに由来しているので庭園木が多いし、元来から樹木が多い場所であったと考えられる。皇居吹上御苑では、庭園的な管理を止め自然の推移に委ねて70年が経過している。赤坂御用地の池と庭園の南側に広がる森や自然教育園の森も、吹上御苑に近い期間、樹木は遷移を進め、現在の常緑広葉樹を主体とした森なのであろう。落葉樹ではサクラ類とカエデ類が多く、常緑樹では庭園に植栽されるモチノキ、ツバキ、サカキ、モッコクなども多い。皇居の森は自然林とはいえないが、東京の中心にあって、孤立しながらも豊に、独自に成長してきたと考えられる。10年間に及ぶ蛾類相のモニタリング調査では、比較できる資料も少なく、その特徴を十分に把握したとはいえないが、この間に自然教育園、赤坂御用地という自然豊かな大型緑地を調査する機会があり、また、常盤松御用邸という小規模な緑地も調べることができた。これら緑地間の蛾類相の比較によって、一応の考察が可能となったことは幸いであった。ある程度の期間をおいて、もう一度これらの緑地を調査する機会があれば、この10年間に行った一連の調査の資料と報告が、再び活用されることになると期待している。

謝 辞

この10年の調査をあたたく見まわれ、気付かれたことなど、お言葉をいただいた天皇皇后両陛下に深く感謝する。また、皇太子殿下、秋篠宮殿下と常陸宮殿下には、本調査と対をなす赤坂御用地と常盤松御用邸の調査の機会をいただいた。紀宮殿下（黒田清子さま）には採集の機会が稀なおオミズアオの資料などを頂戴した。ここに記して、感謝の意を表す。

調査にあたっては、宮内庁庭園課職員、生物学御研究所職員、各宮家宮務官の方がたに大変お世話になった。採集した大蛾類の標本は国立科学博物館の渡辺芳美氏が作製された。東京医科歯科大学の篠永 哲博士は撮影された蛾類生態写真を提供された。江戸川区の斉藤洋一氏と寄居町の南部敏明氏は調査で採集された蛾類標本を提供された。豊島区の増山克男氏には、文京区関口におけるフユシヤクガ類の発生状況をご教示いただいた。資料の同定にあたっては正確を期するため、それぞれのグループの専門家に同定の確認とともに不明種の同定をお願いした。マガリガ上科は大阪府立大学の広渡俊哉博士、ムモンハモグリガ科、ハモグリガ科、コハモグリガ科とカザリバガ科は阪南市の黒子 浩博士、ツヤコガ科を大阪府立大学の李 峰雨博士、ヒロズコガ科は共生科学の坂井 誠博士、ミノガ科の一部は阿賀野市の清野昭夫氏、キバガ上科は鹿児島大学の坂巻祥孝博士と北海道大学の杉島一広氏、ハマキガ科は大阪府農林技術センターの那須義次博士、トリバガ科は矢作川研究所の間野隆裕氏、メイガ科のマダラメイガ亜科の一部を富山市の山中 浩氏、ツトガ科のヤマメイガ亜科を秋田市の佐々木明夫氏、食草の菌類の同定は国立科学博物館の土居祥兌博士にお願いした。国立科学博物館の上野俊一博士には原稿を読んでいただき、ご意見を頂戴した。また、土畑重人、大谷江里、樋口満里、

山崎芳江, 白波瀬亜由実, 新津修平, 慶野志保子, 佐藤真理子, 三田敏治の各氏には調査を手伝っていただいた。ご協力いただいたみなさんに深く感謝する次第である。

Summary

Six hundred and thirty-three moths in 46 families were collected in the Imperial Palace, Tokyo, ca. 115 ha. The survey was carried out from June 2000 to December 2005 by using a light, sugar bait and by ordinary day-time survey of adults and larvae. All the collecting data are given in the list, in which some noteworthy moths are commented in comparison with the records of such green tracts in the urban Tokyo as the Imperial Palace, Tokyo, 1996–2000 (Owada *et al.*, 2000), the garden of the Institute for Nature Study, ca. 20 ha, 1998–2000 (Owada *et al.*, 2001), the Akasaka Imperial Gardens, ca. 51 ha, 2002–2004 (Owada *et al.*, 2005a) and the Tokiwamatsu Imperial Villa, ca. 2 ha, 2002–2004 (Owada *et al.*, 2005b). The comparison of each result is shown in Tables 1 and 2.

During a decade of survey period from 1996 to 2005, we observed the establishment and outbreak of a tortricid moth *Cerace xanthocosma* in the Imperial Palace, Tokyo, and the Akasaka Imperial Gardens (Owada *et al.*, 2000, 2001, 2005a), and the details were summarized in the report of moths of the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo (Owada *et al.*, 2005b). We became aware of the remarkable outbreak in the early spring of 2003, i. e., many nests made by the larvae of this tortricid moth were found on leaves of evergreen trees everywhere in the Imperial Palace and the Akasaka Imperial Gardens, Tokyo. This moth is bivoltine in Tokyo urban forests, adults fly in June–July and September. The outbreak of adult moths was observed in 2003 and 2004, but ended rapidly in the winter of 2004, when hibernating larval nests were mostly disappeared in the Imperial Palace. In 2005, the density level of adult moths backed to that in 2001–2001, a few or no moths were observed in each investigation of its flight periods. We had found and bread larvae of this polyphagous moth on the following 17 evergreen broadleaved trees in 11 families. Araliaceae: *Fatsia japonica*; Aquifoliaceae: *Ilex pedunculosa*; Caprifoliaceae: *Viburnum odoratissimum* var. *awabuki*; Ericaceae: *Pieris japonica*; Euphorbiaceae: *Daphniphyllum himalaense*; Fagaceae: *Castanopsis sieboldii*, *Lithocarpus edulis*; Lardizabalaceae: *Extauntonia hexaphylla*; Lauraceae: *Cinnamomum camphora*, *Cinnamomum japonicum*, *Machilus thunbergii*; Myricaceae: *Myrica rubra*; Oleaceae: *Lingustrum japonicum*; Theaceae: *Camellia japonica*, *Camellia sasanqua*, *Camellia sinensis*, *Cleyera japonica*.

Most of lithosiine moths, Arctiidae, are lichen and algae feeders, and usually very common in any forests and grasslands. In the 1970–1980's, air pollution was very serious in Japan, and lithosiine moths, except for marshy moths of *Pelosia* spp., might have become once extinct in the Tokyo urban areas. From the 1990's onwards, air pollution was eased to some extent, and the flora of lichens and bryophytes began to restore in forests of city areas of Tokyo (Kashiwadani & Thor, 2000; Kashiwadani *et al.*, 2001; Higuchi, 2001). In fact, some lithosiine moths were collected in the Institute for Nature Study, the Akasaka Imperial Gardens and the Tokiwamatsu Imperial Villa in 1998–2004, and they may already settle down in these forests. At the Imperial Palace, Tokyo, we were able to collect a female of *Miltochrista abberans* on 3 June, 2004, but we have collected none in 2005. It is quite likely that lithosiine moths will not settle down in the Imperial Palace grounds, which are the largest and richest the fauna and flora among large green tracts in urban Tokyo. This phenomenon may be one of the evidences of extinction of lithosiine moths in the urban Tokyo. There is a possible barrier, which obstructs the invasion of lithosiine moths to the Imperial Palace, that is, large moats completely surround the Palace. In larger moats, the longest width of water is ca. 100 m, and is ca. 50 m in smaller ones.

引用文献

- Arita, Y. & M. Owada, 2006. A new species of a sedge moth, *Glyphipterix* Hübner (Lepidoptera, Glyphipterigidae), from Japan. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **57**: 1-4.
- 千葉県史料研究財団編, 2002. チョウ目. 千葉県の自然誌, 本編 6, 千葉県の動物 1, 陸と淡水の動物, pp. 574-628. 千葉県.
- 藤沢勝利, 2002. 日本産 *Promalactis* 属 (マルハキバガ科) について. 蛾類通信, (218): 337-350.
- 樋口正信, 2001. 自然教育園のコケ類. 自然教育園報告, (33): 11-20.
- [Higuchi, M., 2001. Bryophytes of the Institute for Nature Study, National Science Museum, Tokyo. *Misc. Rep. Inst. Nature Study, Tokyo*, (33): 11-20.]
- 樋口正信・古木達郎, 2000. 皇居のコケ類. 国立科博専報, (34): 89-114.
- 井上 寛, 1982. ヒトリガ科. 井上 寛, 杉 繁郎, 黒子 浩, 森内 茂, 川辺 湛, 大和田守, 日本産蛾類大図鑑, **1**: 638-659, **2**: pls. 155-162, 347-348. 講談社, 東京.
- 石塚勝己, 1968. 関東地方の低地における *Cucullinae* 若干の記録. 蛾類通信, (54): 600.
- Kashiwadani, H. & G. Thor, 2000. Lichens of the Imperial Palace gardens, Tokyo. *Mem. natn. Sci. Mus., Tokyo*, (34): 171-195.
- 柏谷博之・G. トール・文 光喜, 2001. 自然教育園の地衣類. 自然教育園報告, (33): 21.
- [Kashiwadani, H., G. Thor & K.-H. Moon, 2001. Lichens of the garden of the Institute for Nature Study, Shiroganedai, Tokyo. *Misc. Rep. Inst. Nature Study, Tokyo*, (33): 21.]
- 川辺 湛, 1982. ハマキガ科. 井上 寛, 杉 繁郎, 黒子 浩, 森内 茂, 川辺 湛, 大和田守, 日本産蛾類大図鑑, **1**: 62-151, **2**: pls. 14-30, 227. 講談社, 東京.
- Kemperman, T. C. M. & C. Wilkinson, 1985. Japanese species of the genus *Stigmella* (Nepticulidae: Lepidoptera), with biological notes provided by Hiroshi Kuroko and Tosio Kumata. *Insecta matsum.* (N. S.), (32): 1-107.
- Kononenko, V. S., S. B. Ahn & L. Ronkay, 1998. Illustrated Catalogue of Noctuidae in Korea. In Park, K.-T. (ed.), *Insects of Korea*, (3), 507 pp. Korea.
- Kumata, T., H. Kuroko & V. P. Ermolaev, 1988a. Japanese species of the *Acrocercops*-group (Lepidoptera, Gracillariidae) Part I. *Insecta matsum.* (N. S.), (38): 1-111.
- Kumata, T., H. Kuroko & V. P. Ermolaev, 1988b. Japanese species of the *Acrocercops*-group (Lepidoptera, Gracillariidae) Part II. *Insecta matsum.* (N. S.), (40): 1-133.
- Kuroko, H. & Y.-Q. Liu, 2005. A study of Chinese *Cosmopterix* Hübner (Lepidoptera, Cosmopterigidae), with descriptions of new species. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **56**: 131-144.
- Lee, B.-W., T. Hirowatari, H. Kuroko & Y. Arita, 2006. A new species of the genus *Antispila* Hübner (Lepidoptera, Heliozelidae), feeding on *Cleyera japonica* (Theaceae) from Japan. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **57**: 7-12.
- 増山克男, 1991. 東京都文京区関口でヒロバフユエダシヤク交尾個体を採集. 誘蛾燈, (124): 76.
- 中島秀雄, 1998. 日本産フユシヤクガ類 (鱗翅目, シヤクガ科) の分類学的, 生態学的研究. *Tinea*, **15**(Suppl. 2): 1-246.
- 中島秀雄・山本光人, 2004. チョウ目 (ガ類). 神奈川昆虫誌, pp. 907-1158. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 中村俊彦・杉田久志・井上 浩, 1979. 自然教育園内の蘚苔類のフロラと生態. 自然教育園報告, (9): 61-73.
- 南部敏明, 2006. 皇居の有剣類モニタリング調査. 国立科博専報, (43): 241-254.
- Nieukerken, E. J. van, 1986. Systematics and phylogeny of holarctic genera of Nepticulidae (Lepidoptera, Heteroneura: Monotrypsia). *Zool. Verd., Leiden*, (236): 1-93.
- 奥 俊夫, 2003. 岩手県の小蛾類. 岩手蟲乃會會報特別号, (2): 1-157.
- 奥 俊夫・土井信夫・小川五郎, 1997. 東北地方のハマキガ相に関する知見および関連する他地方からの記録. 岩手蟲乃會會報特別号, (1): 145-152.
- 大和田守, 1975. 雑木林の蛾たち—ヤガ類の糖蜜採集. *Nature Study*, **21**: 43-46.
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣, 2001. 自然教育園の蛾類. 自然教育園報告, (33): 251-280.
- [Owada, M., Y. Arita & U. Jinbo, 2001. Moths of the garden of the Institute for Nature Study, Tokyo. *Misc. Rep. Inst. Nature Study, Tokyo*, (33): 251-280.]
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣・岸田泰則・中島秀雄・池田真澄・新津修平・慶野志保子, 2005a. 赤坂御用地の鱗翅類. 国立科博専報, (39): 55-120.

- [Owada, M., Y. Arita, U. Jinbo, Y. Kishida, H. Nakajima, M. Ikeda, S. Niitsu & S. Keino, 2005a. Moths and butterflies of the Akasaka Imperial Gardens, Tokyo, central Japan. *Mem. natn. Sci. Mus. Tokyo*, (39): 55–120.]
- 大和田守・有田 豊・神保宇嗣・新津修平・慶野志保子, 2005b. 常盤松御用邸の蛾類. 国立科博専報, (39): 121–145.
- [Owada, M., Y. Arita, U. Jinbo, S. Niitsu & S. Keino, 2005b. Moths of the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo, central Japan. *Mem. natn. Sci. Mus. Tokyo*, (39): 121–145.]
- 大和田守・有田 豊・岸田泰則・池田真澄・神保宇嗣, 2000. 皇居の蛾類. 国立科博専報, (36): 115–168.
- [Owada, M., Y. Arita, Y. Kishida, M. Ikeda & U. Jinbo, 2000. Moths of the garden of the Imperial Palace, Tokyo, central Japan. *Mem. natn. Sci. Mus. Tokyo*, (36): 115–168.]
- Owada, M., H. Kobayashi, M. Wang, C.-M. Fu, H.-R. Tzuoo, C. S. Lin, M.-L. Chan, H. T. Ta, L.-s. Chen & H. Yoshimoto, 2006. A study on winter cuculline moths of the genus *Rhynchaglaea* (Lepidoptera, Noctuidae) in East and Southeast Asia. *Mem. natn. Sci. Mus. Tokyo*, (44), in printing.
- Park, K. T., 2004. Lepidoptera (Gelechiidae and Lecithoceridae). *Economic Insects of Korea*, **21**. *Insecta Koreana*, (Suppl. 28), 152 pp.
- Puplesis, R. & A. Diskus, 2003. The Nepticuloidea and Tischerioidea (Lepidoptera)—A Global Review with Strategic Regional Revisions. 512 pp. Apollo Books, Stenstrup.
- Sakamaki, Y. & H. Torikura, 2005. Descriptions of immature stages of Japanese species in the genus *Apatetris* (Lepidoptera, Gelechiidae). *Tinea*, **18**(Suppl. 3): 63–71.
- Sato, H., 1993. *Tischeria* leafminers (Lepidoptera, Tischeriidae) on deciduous oaks from Japan. *Jap. J. Ent.*, **61**: 547–556.
- Sinev, S. Yu., 1999. Family Cosmopterigidae. In Ler, P. A. (ed.), *Key to the Insects of Russian Far East*, **5**(2): 257–286.
- Sohn, J. C., L. Ronkay & S. W. Choi, 2005. First report of five noctuid species (Lepidoptera, Noctuidae) from Korea. *J. Asia-Pacific Ent.*, **8**: 147–152.
- 杉島一広, 2005. ホソキバガ科とエダモグリガ科に関する邦産種記録の整理および *Batrachedra* 属 (ホソキバガ科), *Haplochrois* 属 (エダモグリガ科), *Coleophora* 属 (ツツミノガ科) の解剖に頼らない識別法. 蛾類通信, (232): 120–134.
- Sugisima, K., 2005a. A revision of the *Elachista praelineata*-group (Lepidoptera, Elachistidae) in Japan, with comments on morphology of the pupa in *Elachista*. *Tijdschr. Ent.*, **148**: 1–19.
- Sugisima, K., 2005b. Japanese *Elachista* studied by Parenti (1983) (Lepidoptera, Elachistidae): the subgenus *Apheloseitia* and the *gleichenella*-, *tetragonella*-, and *bifasciella*-groups. *Tijdschr. Ent.*, **148**: 225–246.
- Sugisima, K., 2005c. Japanese species of the *Elachista cingillella*-complex (Lepidoptera, Elachistidae s. str.). *Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo*, (A), **31**: 157–182.
- Sugisima, K., 2006a. A new species of the *Elachista freyerella*-group (Elachistidae s. str.) from Japan. *Trans. lepid. Soc. Japan*, **57**: 70–80.
- Sugisima, K., 2006b. A new species of the genus *Batrachedra* from Japan (Lepidoptera, Coleophoridae s. l.). *Mem. natn. Sci. Mus., Tokyo*, (43): 31–35.
- 鈴木智史, 1995. 福島県各地で採集したコブガ科, フタオガ科, シャクガ科の採集記録. ふくしまの虫, (13): 4–9.
- 氏家 武, 1966. リンゴ樹を加害するシヤクガ科およびヤガ科の種類について (追加 II). 北日本病害虫研究会年報, (17): 85.
- Wu, C., 1997. Lepidoptera Lecithoceridae. In *Fauna Sinica, Insecta*, **7**. 264 pp., 38 pls. (In Chinese with English abstract.) Science Press, Beijing.
- 山本光人, 1987. キアシドクガ. 杉繁郎編, 山本光人・中臣謙太郎・佐藤力夫・中島秀雄・大和田守, 日本産蛾類生態図鑑, p. 175, pl. 83, figs. 1–2. 講談社, 東京.
- Yamanaka, H., 2005. Revision of *Omiodes tristrialis*-complex from Japan, with description of a new species (Pyrallidae, Pyraustinae). *Tinea*, **18**: 283–290.
- 山中 浩, 2006. ニシザワマダラメイガの雄の発見. 蛾類通信, (237): 207–209.
- Yamazaki, K., 1998. Communities of early spring noctuid and thyatirid moths (Lepidoptera) molasses-trapped in secondary forests. *Ent. Sci.*, **1**: 171–178.
- 矢野 亮・桑原香弥美, 2006. 自然教育園におけるキアシドクガの異常発生について. 自然教育園報, (37):

1-8.

保田淑郎, 1969. ピロードハマキ. 一色周知 (監), 六浦 晃・山本義丸・服部伊楚子・黒子 浩・児玉行・保田淑郎・森内 茂・斎藤寿久, 原色日本蛾類幼虫図鑑 (下), pp. 95-96, pl. 46, fig. 184. 保育社, 大阪.

Yoshiyasu, Y., 1985. A systematic study of the Nymphlinae and the Musotiminae of Japan (Lepidoptera: Pyralidae). *Sci. Rep. Kyoto Pref. Univ., (Agr.)*, (37): 1-162.